

第四次

狛江市子ども読書活動推進計画

【令和4年度～令和8年度】



令和4年3月
狛江市教育委員会

－目次－

第1章 計画の策定にあたって	1
1. 計画策定の経緯	1
2. 計画の位置付け	1
3. 計画の期間と対象	2
第2章 狛江市における成果と課題	3
1. 乳幼児期の読書活動	3
2. 小・中学生の読書活動	3
3. 図書館・図書室や地域における読書活動	5
4. 意識調査等と課題	6
第3章 計画の基本的な考え方	10
第4章 計画の内容	12
1. 乳幼児期の読書活動推進	12
(1) 乳幼児期の読書活動	12
(2) 乳幼児期の読書活動推進のための諸条件の整備	14
2. 小・中学生の読書活動推進	16
(1) 小・中学生の読書活動	16
(2) 小・中学生の読書活動推進のための諸条件の整備	18
3. 高校生等の読書活動推進	21
(1) 図書館におけるYAサービスの充実	21
(2) 「こまえ電子図書館」のYA向け電子書籍の充実	21
(3) 都立狛江高等学校と市立図書館の連携	22
(4) 特別な配慮を必要とする青少年とその保護者への読書支援	22
4. 地域における読書活動推進	22
(1) 地域で活動するおはなしグループ、ボランティア団体との連携	23
(2) 子どもと本をつなぐ活動に携わる人の育成	23
(3) 子どもの読書に関する講座等の実施	23
(4) 図書関連施設職員の情報共有	23
5. 普及・啓発	23
(1) 子ども読書啓発事業の取組	24
(2) 「子ども読書の日」に合わせたイベントの開催	24
(3) 家庭における読書活動の推奨	24
(4) 新しい生活様式に対応した各種行事、講座等の実施	24
(5) 読書手帳の配布	25

6. 進捗管理・成果検証	25
7. 新図書館整備に向けて	25
第5章 読書活動実践レポート	26
第6章 資料編	51
○第三次計画における所管部署を対象とした取組状況	51
○第三次計画における関連施設を対象とした取組状況	57
○市立小・中学校に在籍する児童・生徒を対象としたアンケート調査結果	61
○未就学児の保護者を対象としたアンケート調査結果	77
第7章 パブリックコメント及び市民説明会の実施結果について	101
1. 実施概要	101
2. 意見等件数	101
3. 市民説明会の開催結果	101
4. パブリックコメント意見等及び市の取扱方針について	101
5. 市民説明会における本計画への主な意見等及び回答について	106

第1章 計画の策定にあたって

1. 計画策定の経緯

子ども読書活動推進計画は、子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、「その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定」するものです。この法律では基本理念を「子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。」と定めています。

この基本理念に則り、狛江市では、平成15年11月に『狛江市子ども読書活動推進計画』（以下「計画」といいます。）、平成25年3月に第二次計画、平成29年3月に第三次計画を策定して子どもの読書活動に関する取組を推進してきました。この度、現行計画の計画期間が満了することに伴い、ICT^{※1}環境の急速な普及など第三次計画策定以降の子どもの読書活動を取り巻く環境等が大きく変化しつつある状況を踏まえ、図書館を中心に市の関係機関が連携して狛江市における子どもの読書活動を推進していくことを目的として、第四次計画を策定します。

2. 計画の位置付け

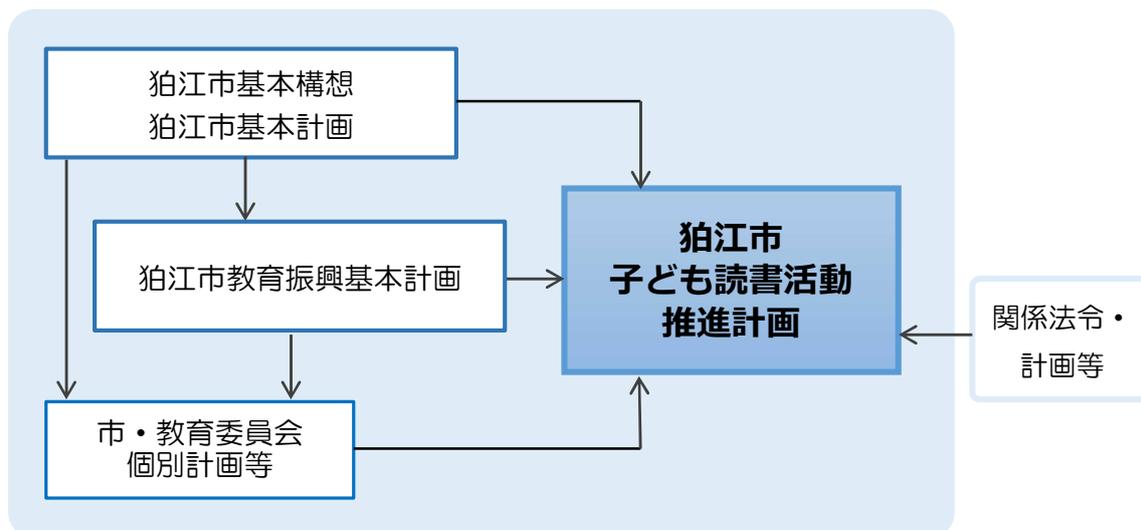
狛江市では、市のまちづくりの基本的な理念であり、市の目指すべき将来像やまちづくりの方向性等を示すものとして、令和2年3月に『狛江市総合基本計画第4次基本構想・前期基本計画（第2期総合戦略）』を策定しました。狛江市の将来都市像を「ともに創る 文化育むまち ～水と緑の狛江～」と定め、地域を支える様々な主体がお互いに連携・協働するとともに、狛江で生まれ受け継がれてきた文化をより一層育み、愛着や誇りを持てる魅力あるまちを創ることなどを目指し、市のあらゆる部門が一丸となって様々な施策を実施しています。

また、狛江市教育委員会では、令和2年3月に『第3期狛江市教育振興基本計画（狛江市教育大綱）』を策定し、教育目標の実現に向けて取り組む方向性を明

※1 Information and Communication Technology（情報通信技術）の略。主に情報技術を用いたコミュニケーションや、それをサポートする応用技術のことを指します。

確にする基本方針を定め、基本方針ごとに取り組むべき施策と担当課における今後の取組の参考となるように施策展開の方向性を明示しました。

本計画は、これらの狛江市・狛江市教育委員会における各基本計画を踏まえるとともに、子どもの読書活動の推進に関する法律の基本理念に則り、また近年の読書環境を取り巻く社会情勢を踏まえつつ、子ども読書活動を推進するための計画を明らかにするものです。



3. 計画の期間と対象

本計画の期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。ただし、今後の社会情勢の変化や法改正、関連する各計画改定の状況等に応じ、必要な見直しを図ります。

本計画の対象は、子どもの読書活動の推進に関する法律において「子ども（おおむね十八歳以下の者をいう）」と定めていることなどから、0歳から18歳までの方を対象とします。

第2章 狛江市における成果と課題

1. 乳幼児期の読書活動

乳幼児期の子どもが読書に親しむためには、家庭や生活の中に読書の習慣があることが大切です。特に幼い頃から、親子が本を交えながら向き合い心触れあう「ひととき」を持つなど、子どもが本と触れ合える時間を多く作る必要があります。このため、家庭の中での読書活動を支援する取組としてブックスタート事業のほか、読書手帳など本を介して親子がコミュニケーションを図ることができる取組の実施、また各施設において職員と地域の方が協力して実施するおはなし会などの活動を行っています。

【取組状況】

- 乳児を対象として絵本を贈呈し、読み聞かせの方法などを伝えるブックスタート事業を行っています。
- 乳幼児とその保護者が本に親しみ、図書館を利用しやすい環境を作るため、推薦図書リストを発行するとともに、各施設で地域のボランティアの方の協力をいただきながら、おはなし会等のイベントを実施しています。
- 絵本をセット包装し題名を伏せて貸出する事業や、貸出した本の履歴を記録できる読書手帳の配布など、家庭の中で本を介して親子がコミュニケーションを図ることができる取組を行っています。
- 乳児や特別な支援を必要とする子どもに有用な「布の絵本」の製作・貸出をしています。
- 図書館による関連施設への団体貸出を実施しています。
- 図書館の除籍・廃棄資料（主に絵本・児童書）を関連施設へ優先配布しています。
- 屋外でのおはなし会を実施するなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底しつつ子どもが本に触れることができる機会の確保に努めています。

2. 小・中学生の読書活動

市立小・中学校においては、従前より学校図書館の蔵書の充実に努めるとともに学校司書を全校に配置してきましたが、学習指導要領の改訂に伴い、学校図書館を計画的に利用し児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実することなどを学校の年間指導計画において定めています。また、よりよい読書環境・

学習環境を整備するため、市立図書館と学校図書館の積極的な連携を図るとともに、図書館から関連施設に対する団体貸出等の支援を実施しています。

【学校での取組状況（一部の学校で実施しているものを含む）】

- 各学校の年間指導計画に学校図書館の資料を使う授業や課題の年間計画を明記し、効率的に学校図書館を活用した学習活動や読書活動を実践しています。
- 各学級に学級文庫を設置し、児童・生徒の身近に本を置くことで読書の習慣付けに繋がる環境を整備しています。また市立小学校ではセカンドブック事業*1で配布した本を使用し、朝読書の実施など読書活動の充実に努めています。
- 学校の授業で学校図書館を使用する際は、学校司書が本の紹介やブックトーク、読み聞かせ、資料収集・提供等を行うことにより、授業への支援に努めています。
- 各校の司書教諭や学校司書が共同し推薦本リストを作成して配布するほか、卒業生に向けて教職員が推薦図書を紹介するなど、児童・生徒が様々な本に出会うことができるよう努めています。

【図書館、市の所管部署等での取組状況】

- 本を贈呈することにより、読書の楽しさを知るきっかけや自発的な読書活動に繋げることを目的として、小学校1年生を対象としたセカンドブック事業、中学校1年生を対象としたサードブック事業*2を行っています。
- 児童・生徒の図書貸出券の学年単位での作成、図書館・図書室の集団利用、職場体験や職場訪問等の取組を学校と協力して行っています。
- 読書週間等の時期に応じて、児童・生徒の読書への関心を高め読書活動の推進に繋がる取組を行っています。
- 発達段階に応じた推薦図書リストの作成や、リストに掲載された本を展示するコーナーを設置するなど、児童・生徒が様々な本に出会うことができるよう努めています。
- 図書館と学校図書館、その関係者が参加する「学校司書・図書館司書連絡会」を実施し、情報交換や連絡調整、専門的事項の相談・助言を行うなど連携の充実を図っています。

※1 「ブックスタート」に続く本に触れ合う機会を持つための事業。各自治体によって異なりますが、狛江市では小学校1年生の児童を対象として実施しており、子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけを作り、読書活動を広げることを目的としています。

※2 「ブックスタート」「セカンドブック」に続く事業。狛江市では中学校に入学する全ての子どもを対象として実施しています。節目を迎える時期に贈呈することで、あらためて本への親しみや興味を持たせることを目的としています。

- 図書館の除籍・廃棄資料（主に絵本・児童書）を関連施設へ優先配布しています。
- 小・中学生が閲覧できる電子書籍閲覧サービスの実施等、外出自粛が求められる状況においても読書や家庭学習を支援する取組を行っています。

3. 図書館・図書室や地域における読書活動

図書館では、市内各図書室と連携し、子どもたちが読書の楽しさや喜びを味わい、読書する力を身に付けるため、子どもの発達段階に応じた資料を選定・収集し提供しています。また、おはなし会をはじめとするイベント事業や各種推薦図書リストの発行、図書に関連する展示のほか、子どもの読書活動を支援する大人へのサービスの実施や、小・中学校や学校図書館、関係部署と連携して子どもの読書活動を推進するための環境整備に努めています。

【取組状況（上記1・2で触れているものを除く）】

- 地域で活動しているおはなしグループ・おはなし会ボランティア等に団体貸出を行い、地域における読書活動の支援に努めています。
- 子ども自身が本を選ぶ手助けをし、読書に関する興味関心を高めるよう工夫した特集展示を実施しています。
- 季節に応じたおはなし会の実施、「科学遊び教室」や「子ども一日図書館員」など、子どもたちが楽しみながら本や図書館に親しみを持つことができるようなイベントを実施しています。
- 推薦図書リストに掲載された本を中心にPOPやブックレビューの募集を行うなど、利用者が参加・発信できる形式のイベントを実施しています。
- 長期休業期間中の課題や自由研究を支援するため、参考図書や作文コンクール課題図書などの専用コーナーを設置し、特別貸出を行っています。
- 市立及び近隣地域における小・中学校からの依頼を受け、集団での施設案内や利用指導、子どもたちからの取材対応、業務体験の事業等を行っています。
- 図書館から各図書室や学校図書館を結ぶ物流ネットワークを整備し、子どもたちがより身近な場所で本に触れることができるよう環境整備に努めています。
- こまえ電子図書館において絵本や児童書を提供し、本に接する機会の拡大・充実を図っています。
- コロナ禍においてもできる限り安心して図書館・室を利用できるよう、外出することなく使用できる「こまえ電子図書館」を開設したことに加え、図書消毒機の設置、返却本の拭き取り消毒等を行っています。

4. 意識調査等と課題

狛江市の各組織・施設における課題、子どもの読書に関する意識や読書状況の実態を把握するため、以下の調査を実施しました。

- 第三次計画における所管部署を対象とした取組状況
- 第三次計画における関連施設を対象とした取組状況
- 市立小・中学校に在籍する児童・生徒を対象としたアンケート調査
- 未就学児の保護者を対象としたアンケート調査

これらの調査結果等から、課題を次のようにまとめました。

●子どもと接する各施設への支援

各所管部署の評価では「現状維持」が多くなっている一方、関連施設の達成状況では「できていない」「どちらともいえない」とされている回答があります。所管部署と各施設の間で子どもの読書に関する課題を整理し、問題意識の統一を図る必要があります。

また、子ども関連施設からは取組方法についての悩みも寄せられていることから、図書館と学校図書館との連携等を参考に、関連施設への読書活動全般に関する支援を充実させることが求められます。

●子どもの読書環境を取り巻く環境変化への対応

児童・生徒を対象としたアンケート調査では、「この3か月間で、学校の授業以外で本（電子書籍を含みます）を読みましたか」の問いに「読んでいない」と回答した割合が12.22%となっており、全国（令和3年）^{※1}や東京都（令和元年）^{※2}で調査された中学生の平均よりも高い数値となっています。その理由としては「興味がない」とされている回答が最も多く、特に小学校6年生から中学生にかけて割合が増加しており、より一層の読書活動の充実が必要です。

また、「この3か月間で、学校の授業以外で学校図書館を利用しましたか」及び「この3か月間で、学校以外の図書館（狛江市や調布市の図書館・地域センターの図書室など）を利用しましたか」の問いに「いいえ」と回答した児童・生徒が「はい」を上回っており、特に小学校5・6年生以上で高い数値となっています。その理由としては「部活、家で過ごす、友達と遊ぶ時間が多い」とする回答が突出して多く、様々な理由で忙しくなるにつれ図書館や読書から離れていく

※1 「第66回学校読書調査報告」学校図書館 2021.11 通巻第853号 より

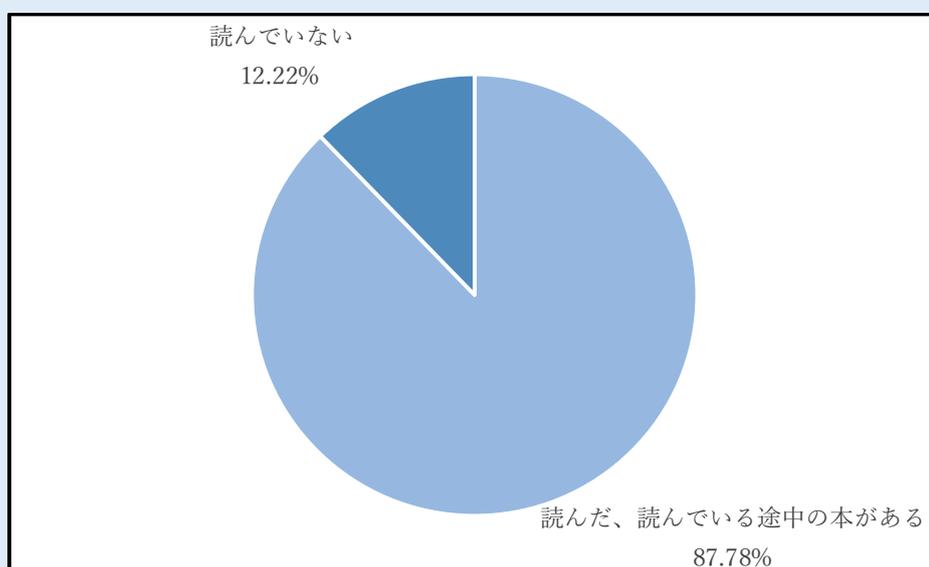
※2 「令和元年度 児童・生徒の読書状況調査」東京都教育委員会 より

傾向が見られます。

令和2年9月には児童・生徒一人ひとりにタブレット端末が配布され、電子図書を閲覧することが可能となっており、調べ学習等もオンライン百科事典等のデジタルコンテンツを活用するなど、読書や学習を取り巻く環境は大きく変化しています。このため、紙の書籍を子どもの身近な場所に充実させることに加え、電子媒体なども活用し子どもたちの興味関心に寄り添いながら読書推進のアプローチに取り組むことが求められます。

【アンケート調査抜粋】

この3か月間で、学校の授業以外で本(電子書籍を含みます)を読みましたか



●学校図書館のさらなる充実

学校図書館が有する読書センター機能や学習・情報センター機能、教員のサポート機能等をさらに充実させるため、学校図書館の運営体制をより一層充実させる必要があります。特に、子どもたちの主体的で深い学びを実現するためには、さらなる授業支援に関わるとともに、子どもたちの興味・関心や知的好奇心の高揚を支えることができる機能が求められます。

特に小学校からは、児童数の増加に伴い全ての学級への授業支援が難しく、体制強化を望む声も寄せられています。デジタルコンテンツを活用した調べ学習等、今後求められる機能に対応するための資質向上等も含め、学校における役割と勤務体制等を整理しさらなる充実に取り組むとともに、教職員の知識・技術の

継承を確実に実施することが望まれます。

狛江市立小・中学校の児童・生徒数(第三次計画記載との比較)

学校名	平成 28 年 11 月	令和3年5月
狛江第一小学校	630	833
狛江第三小学校	440	544
狛江第五小学校	501	641
狛江第六小学校	530	552
和泉小学校	582	541
緑野小学校	564	590
狛江第一中学校	399	410
狛江第二中学校	439	397
狛江第三中学校	244	284
狛江第四中学校	293	274

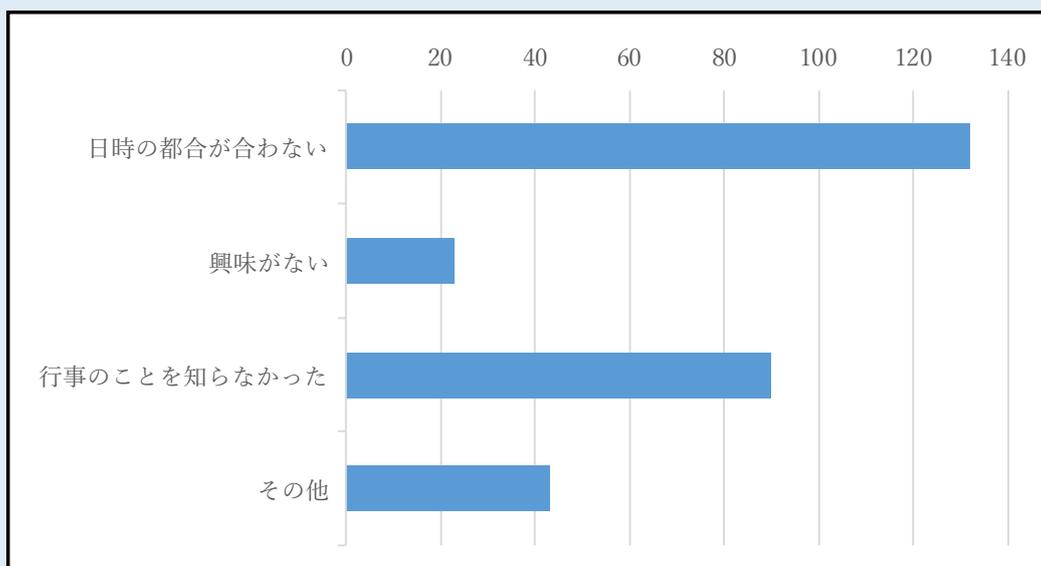
●乳幼児期の読書活動への支援

未就学児の保護者を対象としたアンケート調査では、読書に関する関心は高い一方、絵本や子どもの本を選ぶ際には「書店で探す」とされている回答が最も多く、また子どもが図書館・図書室をよく利用するかについては全体の4割以上が「いいえ」と回答しており、図書館のさらなる利用の促進が課題と捉えられます。特に、「おはなし会」などの子ども読書行事に参加したことがあるとされた回答は全体の3割に満たず、その理由は「日時の都合が合わない」に加え「行事のことを知らなかった」とされた回答が多くなっています。家庭以外での読み聞かせは子どもに対して多様な読書活動を体験する貴重な機会となることに加え、保護者に対しても読み聞かせ方法周知等の支援に繋がることから、多様なライフスタイルに合わせた行事の実施や、より効果的な広報による周知が求められます。

また、ブックスタート事業については、読み聞かせを行う機会・そのきっかけとなったとされた回答は高いものの、図書館を利用する機会・そのきっかけとなったとされた回答は低く、継続的な読書活動の推進を図るためには未就学時期の子どもに対する読書活動への一層の支援が求められます。

【アンケート調査抜粋】

図書館・図書室の「おはなし会」などの子ども読書行事に参加したことがない理由は何ですか ※複数回答



●新しい生活様式に対応した各種行事等の実施

図書館における各種行事や講習会等については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、平成31年度以降は中止や延期を余儀なくされたものがあります。

新しい生活様式に対応しつつも、子どもたちが安心して気軽に図書館を利用できるよう取り組むとともに、興味・関心を喚起して読書活動の推進に繋がる魅力ある行事内容を検討する必要があります。

併せて、子どもの読書活動に関わる人材を育成するための講習会等についても、積極的に取り組むことが求められます。

第3章 計画の基本的な考え方

これまで狛江市では、第三次計画に基づき、あらゆる機会とあらゆる場所において子ども自身が成長や興味に応じて本の楽しさを発見し、豊かに表現する力を育むことができるよう、教育委員会では子ども関連施設を所管する関係部局と連携して取組を進めてきました。特に第三次計画では以下の3つのポイントを掲げ、子どもの読書活動を推進する環境の整備について充実を図ってきました。

【計画のポイント】

●乳幼児期からの読書活動と保護者への支援を推進

…子どもの生活範囲や成長に応じて、読書を十分に提供するため、子ども関連施設での取組を強化します。

●「学びを支える学校図書館」の実現に向けた取組の充実

…小・中学校での読書指導の充実を図るとともに、司書教諭や学校司書をはじめとする全教職員による学校図書館を活用した学習を広く展開します。

●家庭、地域、学校等の連携による行政と市民との協働

…子どもと本を結びつけるために、各機関が協力し、地域の方々との協働により読書活動を推進するとともに、子どもの読書の大切さを家族や子どもの身近にいる大人が理解するための啓発活動を実施します。

第四次計画においてもこの3つのポイントを継承しつつ、第三次計画策定以降の環境の変化等に即して、さらに以下の2つを掲げます。

【計画のポイント（新規追加）】

●新しい生活様式に対応する子どもの読書環境の整備

…新型コロナウイルス感染症拡大防止のための行動指針や、関係団体等のガイドライン等を参考に、安心して安全に読書ができる環境の整備を図ります。

●新図書館への移行期間における図書館事業の継続

…現在議論が進められている新図書館整備基本構想において、子ども読書活動

推進の中心となる図書館は令和5年の中頃から令和7年末にかけて休館する予定となっています。この休館期間においても子ども読書活動推進事業・子ども読書啓発事業等の関連事業を継続し、子ども読書活動を推進していけるよう、子ども関連施設や施設を所管する関係部局との一層の連携の強化を図ります。

第4章 計画の内容

子どもが読書活動に親しむとともに、自らが成長や興味に応じて本の楽しさを発見することによって、豊かな人間性と学び考え生きる力を育むよう、読書活動を推進する環境を整備するためには、それぞれの成長に合わせた取組を行うことが必要です。乳幼児期、小・中学生、青少年の発達段階に即して、家庭をはじめ、市の子ども関連施設や図書館等で、子どもに直接働きかける読書活動と、活動を推進するための諸条件を整備します。また、これを支える地域の活動も大切であることから、活動への支援を行います。

1. 乳幼児期の読書活動推進

乳幼児の心の発達には温かな語りかけが必要です。ぬくもりの中で優しいことばを聞き、人と心を通わせて信頼関係を築くことで成長していきます。

(1) 乳幼児期の読書活動

①これから親になる方への絵本の読み聞かせ案内

【図書館】

絵本の読み聞かせやわらべうたは、親子が触れ合うきっかけを作る役割を果たします。父母やその他の保護者による積極的な語りかけの重要性について広く理解を促し、家庭での実践に繋がるよう努めます。

(ア) 妊娠中の方などに、図書館利用案内や推薦絵本リストを配布します。

(イ) 読み聞かせの意義や推薦絵本リストについて、子ども関連施設等と連携し、これから親になる方に理解が図られるよう努めます。

②ブックスタート事業の継続

【図書館】

乳幼児期から身近に本がある環境を作り、本に親しむ機会がもてるよう努めます。

(ア) 対象の乳児とその保護者に図書館職員等が絵本の読み聞かせを行い、その絵本を1冊贈呈する「ブックスタート事業」を行います。絵本を介して親子が向き合うきっかけを作り、心触れ合うひとときとなるよう努めます。

(イ) 図書館が作成した対象年齢別の絵本リストを配布し、乳幼児の保護者が様々な絵本を手にすることができるよう図書館の絵本を展示します。

(ウ) 保護者向けの図書館利用案内を配布します。

(エ) 希望する保護者と対象の乳児の図書貸出券を作ります。

③各施設による取組

【児童館・児童センター】【子ども家庭支援センター】【各地域センター】 【公民館】

乳幼児関連のイベントを開催し、地域交流の機会がもてるよう努めます。

(ア) おはなし会等の子ども読書関連イベントや講座などの実施に努めます。

(イ) 狛江市子育てポータルサイト「こまえ子育てネット」等を活用し、乳幼児関連イベントのPRを行います。

④保育園における読書活動の充実

【保育園】

乳幼児が日々の生活の中で本に親しむために、保育園における読書活動の充実を図ります。

(ア) 乳幼児の発達に適した蔵書の充実に努めます。

(イ) 図書館の団体貸出を活用します。

(ウ) 保育士は、日常の保育の中で継続して読み聞かせを行います。

(エ) 地域のおはなしグループによる読み聞かせやおはなし会の実施に取り組みます。

(オ) 地域交流（地域の未就学児とその保護者を対象にした行事）において、乳幼児が積極的に本に触れる機会を設けます。

⑤図書館における読書活動の充実

【図書館】

図書館では、乳幼児の好奇心や感性を養うのに有用で、特に長く読み継がれている絵本を中心に、よりよい絵本を選定しその収集と提供に努めます。また、子ども関連施設への団体貸出の充実に努めます。

(ア) 数ある絵本の中から、特に乳幼児向けの作品を集めた「赤ちゃん絵本コーナー」を設置し、手に取る保護者が選びやすい工夫をします。

(イ) 初めて赤ちゃん絵本を選ぶ人にもわかりやすく、月齢に応じた絵本を紹介するリスト「赤ちゃんに贈るファーストブック」の活用を努めます。

(ウ) 年齢別のおはなし会や季節の行事にちなんだおはなし会の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症等の拡大防止対策を徹底し、新しい生活様式に対応した形での実施を工夫して、乳幼児が絵本やわらべうたに親しむ機会を設けます。

(エ) 図書館が作成する絵本リスト「赤ちゃんに贈るファーストブック」「図書

館で会える絵本」に掲載の絵本を中心に、季節やテーマに応じた絵本セットを準備し、子ども関連施設に団体貸出を行います。

- (オ) 外国語を母語とする子どもや帰国子女の支援等のため、外国語の絵本を充実させます。
- (カ) バリアフリー関連資料の収集に努め、市販の点字付き絵本を購入するとともに、布の絵本の製作や絵本点訳に取り組みます。
- (キ) 「こまえ電子図書館」で絵本や児童向けの電子書籍の収集に努めます。

(2) 乳幼児期の読書活動推進のための諸条件の整備

①家庭における読書支援のための取組

【図書館】

- (ア) ブックスタートを経て、その後の読み聞かせ活動を継続して実践できるよう、家庭での取組を支援するフォローアップ事業のあり方について検証します。
- (イ) 乳幼児と一緒に図書館へ来館する保護者のための利用案内を配布し、図書館利用の啓発に努めます。
- (ウ) 上記の利用案内をブックスタート事業や子ども関連施設等で配布するとともに、ホームページに掲載するなど、効果的な周知を図ります。

②読み聞かせに向く絵本のリストの作成・配布

【図書館】

多くの絵本の中から何を選んだらよいか迷う保護者等に向け、絵本の紹介リストを定期的に改訂して配布します。

- (ア) 「赤ちゃんに贈るファーストブック」「図書館で会える絵本」を作成し、必要に応じて改訂を行い、常に魅力ある新鮮な情報を提供します。
- (イ) 上記のリストに掲載した絵本コーナーを設置し、保護者等が様々な絵本を手にすることができるよう努めるとともに、貸出利用を促進します。

③各施設における読書活動の広報

【児童館・児童センター】【各地域センター】【公民館】【図書館】

各関連施設における絵本の読み聞かせ等の読書活動について、保護者の目に留まるような広報に努めます。

- (ア) 各施設の掲示やイベント情報案内、各施設の発行物等で広報し、周知に努めます。

(イ) 各施設のホームページやSNS^{*1}等を活用し、効果的な広報周知が図られるよう検討します。

④保育園における図書の充実と保育士の研修

【保育園】【図書館】

乳幼児が本を身近に親しむために、保育園における図書の充実を図ります。

(ア) 計画的に保育園における図書の充実を図ることに努めます。

(イ) 図書館の団体貸出や配本サービスを活用します。

(ウ) 保育士同士の情報交換や研修の機会を設け、絵本に関する知識向上に努めます。

⑤図書館における乳幼児向け資料の充実と図書館職員の研修

【図書館】

乳幼児と保護者が近隣の図書館や図書室で本と親しむために、図書の充実を図るとともに職員の研修を行います。

(ア) 乳幼児向けの資料について、新しく出版される絵本から適切なものを選書するとともに、長く読み継がれている定番の本を必要に応じて買い替え補充し、利用に供します。

(イ) 都立図書館等の研修の機会を利用し、職員の子どもと本をつなぐ能力の向上に努めます。

⑥保育園への団体貸出と配本サービスの拡充

【図書館】

子ども関連施設の図書の充実を支援するため、図書館からの配本サービスを実施します。

(ア) 図書館が作成する絵本リスト「赤ちゃんに贈るファーストブック」「図書館で会える絵本」に掲載の絵本を中心に、季節やテーマに応じた絵本セットを準備し、子ども関連施設に団体貸出を行います。

⑦全ての子どもとその保護者のための読書相談及び資料の収集と提供

【図書館】

特別な配慮を必要とする子どもとその保護者へ、それぞれのケースに応じた読書活動の支援を行います。

^{*}1 Social Networking Service の略。登録された会員同士が社会的なネットワークを構築するためのサービス。狛江市では Facebook・Twitter 等を活用して情報発信を行っています。

- (ア) 「布の絵本」や「絵本点訳」の製作グループによる活動を支援し、図書館資料として所蔵することで提供と普及に努めます。
- (イ) 外国語の絵本を収集するなど、日本語を母語としない子どもの読書活動の支援に努めます。
- (ウ) 「こまえ電子図書館」で読み上げ機能がある電子書籍の収集に努めます。
- (エ) 利用支援サービス*1において、希望図書の音訳を行います。
- (オ) DAISY（デイジー）図書*2を活用した読書活動の支援を行います。
- (カ) 利用支援サービスの情報発信に努めます。

2. 小・中学生の読書活動推進

小学生になり学年が上がるにつれて、読書量や本に対する関心の差が大きく開いていく傾向にあります。さらに、中学生になると学校図書館に足を運ぶ時間も限られてきます。小学校の取組によって培われた読書力や読書体験を途切れさせることなく、中学校で継続させるための取組の工夫が求められます。学校図書館の蔵書や設備を充実させるとともに、運営体制を強化し、学校図書館の利活用を推進していきます。

(1) 小・中学生の読書活動

①児童・生徒の読書活動のさらなる展開

【小・中学校】【指導室】

各学校の特色に応じた読書活動の充実と展開を図ります。

- (ア) 「狛江本の森 学校図書館活用ノート」や「ようこそ本の世界へ」等を活用します。
- (イ) 児童・生徒が読書する時間の確保に努め、一冊を読み通す達成感を体験させるための読書イベント等を企画実施します。
- (ウ) 児童・生徒の興味・関心や発達段階に応じて、自ら本を選び読書の幅を広げるための展示や掲示を工夫します。
- (エ) 自ら友達や同世代に向けて読書の楽しさを発信するビブリオバトル等の活動を通じ、児童・生徒同士が交流できるよう取り組みます。

※1 図書館への来館や読書に困難を感じる方を支援するサービス。録音・点字資料の他、誰でも読書が楽しめるよう工夫して作られたLLブック、大きな活字で書かれた大活字本などを収集・提供しています。

※2 Digital Accessible Information System（アクセシブルな情報システム）の略。視覚障がい者や普通の印刷物を読むことが困難な人が使用するデジタル録音図書。識字障がいや学習障がい等のために音声・テキスト・画像・データなどを再生するマルチメディア DAISY も普及してきています。

(オ) 委員会活動等の機会を通じ、校内において学校図書館が身近な学びの場であることが伝わる活動に取り組みます。

②資料を使った課題解決の支援

【小・中学校】【指導室】【図書館】

児童・生徒が楽しく読書するだけでなく、各教科・領域や総合的な学習の時間に活用できる学校図書館を目指すと共に、令和2年9月に児童・生徒へ1人1台配布されたタブレット端末を利用したデジタルコンテンツの利活用に努めます。

(ア) 児童・生徒が課題を解決するための手助けとなるような資料の収集に努め、資料の使い方など、必要な指導や助言を行います。

(イ) 学校の夏季休業期間中の課題や自由研究を支援するための資料収集と提供に努めます。

(ウ) 情報検索ツールの一つとして、オンライン百科事典を活用します。

③図書館見学・職場体験の受入れ

【図書館】

学年に応じた施設見学や図書館の仕事を体験することで、より一層本や図書館に親しみをもつことができるよう、内容の充実に努めるとともに積極的に受入れを行います。

(ア) 小学生の校外学習の一環として、集団での施設案内や利用指導を行う機会をつくります。

(イ) 中学生の職場体験を受入れ、図書館の仕事を体験する機会をつくります。

(ウ) 夏季休業期間に小学生を募集し、「子ども図書館員」として図書館の仕事を体験する機会をつくります。

(エ) 小・中学生からの取材依頼等を受入れ、図書館や本に親しみをもつことができる機会の充実に努めます。

④児童館・児童センター・学童クラブにおける読書活動の推進

【児童館・児童センター】【学童クラブ】

小・中学生が身近なところで本と親しむことができるよう、児童館・児童センター・学童クラブでの読書活動の充実に図ります。

(ア) 児童館・児童センター・学童クラブでは、職員等による読み聞かせの時間をもつとともに、地域のおはなしグループによるおはなし会の実施に努めます。

(イ) 図書館の団体貸出を活用し、資料の充実に図ります。

(2) 小・中学生の読書活動推進のための諸条件の整備

①学校図書館の蔵書構成及び更新

【小・中学校】【指導室】

児童・生徒が身近な場所で本と親しむとともに、各教科・領域や総合的な学習の時間に利用しやすい蔵書構成を目指した蔵書の充実と更新を図ります。

- (ア) 児童・生徒の読書への意欲をかきたてる資料を研究し、計画的に資料を整備します。
- (イ) 各教科や領域の学びを広げ深めるための資料の研究や収集に努めます。
- (ウ) 学級文庫用図書の実に努めます。
- (エ) 不必要になった資料の定期的な払い出しや除籍を行い、蔵書の更新・補充に努めます。また、そのための除籍の基準を検討します。

②学校図書館システムの運用

【小・中学校】【指導室】

学校図書館システムの運用により、貸出・返却・予約・統計・蔵書点検等の業務を円滑に行います。

- (ア) 学校司書や司書教諭が児童・生徒と接する時間を確保できるよう、円滑な業務遂行ができる環境を整備します。
- (イ) 学校司書や司書教諭への操作研修を実施し、円滑な学校図書館運営に努めます。
- (ウ) 学校図書館の運営に各種統計を参照するため、分類等の共通化を図ります。

③学校図書館設備の充実

【小・中学校】【指導室】

学校図書館が、児童・生徒にとって安全で親しみやすく心の居場所となることできるよう、学習や読書活動に役立つ環境整備を図ります。

- (ア) 児童・生徒の利用動線に配慮し、書架配置や必要に応じて案内表示を工夫します。
- (イ) 空間の確保、椅子・本棚等の不足や老朽化への対応に努めます。
- (ウ) 児童への読み聞かせスペース、生徒が集中して学習できる机の配置等の工夫に努めます。
- (エ) 児童・生徒が自ら蔵書を検索できる環境を整備します。
- (オ) 新しい生活様式に対応した利用ができるよう、環境の整備等に努めます。

④学校図書館連絡協議会の開催、研修の実施

【小・中学校】【指導室】

学校図書館の運営には、利用指導計画を立案し実践する司書教諭と、それをサポートする学校司書の連絡調整が欠かせません。司書教諭の資質と能力の向上を図り、専門的な知識・経験を深めるための実務研修を行います。また、校長は司書教諭や学校司書と協力し、学校図書館の業務が円滑に行われるよう努めます。

- (ア) 校内に学校図書館活用委員会を設置し、学校全体で学校図書館を活用します。
- (イ) 学校図書館の運営に必要な能力を司書教諭が身に付けるための研修を実施します。
- (ウ) 小・中学校の司書教諭と学校司書が、連携を図るための合同連絡協議会を開催します。
- (エ) 学校図書館の校内運営及び学校間の連携のあり方について協議し、共有ガイドラインを作成します。

⑤学校図書館と市立図書館の情報共有

【小・中学校】【指導室】【図書館】

小・中学生の読書活動の推進を図るため、学校図書館と市立図書館は情報を共有し、サービスの充実に取り組みます。また、学校図書館の運営が円滑に行われるよう、学校図書館と市立図書館の連絡体制を整備するとともに実務に必要な研修を実施します。

- (ア) 学校図書館連絡協議会へ図書館職員が参加し、情報共有を行います。
- (イ) 小・中学校の学校司書と図書館職員が、連携を図るための学校司書・図書館司書連絡会を開催します。
- (ウ) 図書館ホームページ上の掲示板を、各学校図書館と市立図書館の情報共有に活用します。
- (エ) 業務を円滑に行うための、学校図書館実務マニュアルの作成を進めるとともに、必要に応じて見直します。
- (オ) 効率的に業務を行うために研鑽が図れるよう、実務研修を実施します。

⑥市立図書館における小・中学生向け資料の充実

【図書館】

小・中学生が図書館で本と親しみ、本を通じて学ぶことができるよう、資料の充実を図ります。

- (ア) 小・中学生向けの資料について、新しく出版された本から適切な選書を

するとともに、長く読み継がれている本を点検・必要に応じて買い替え補充し、利用に供します。

- (イ) 小・中学生のさまざまな興味に応えられるよう、各分野の資料を揃えます。
- (ウ) 郷土学習に関連する地域資料を積極的に収集します。
- (エ) 「こまえ電子図書館」で小・中学生向けの電子書籍の収集に努めます。

⑦市立図書館による学校図書館の支援

【図書館】

小・中学生が身近な学校図書館で本と親しみ、学習することができるよう、学校図書館の取組を支援します。

- (ア) 市立図書館から学校への配送便を定期的に運行し、学校図書館から要望のあった資料の貸出を行います。
- (イ) 学習テーマに応じた資料セットや郷土学習資料セットのほか、一斉指導や集団読書用に図鑑や絵本・読み物の複本を揃え、効果的な支援の実施に努めます。
- (ウ) 学級文庫用図書を準備し、必要に応じて配本します。

⑧市立図書館ホームページ「こどもページ」の活用

【図書館】

市立図書館ホームページでは、子どもが自ら図書館の蔵書検索をできる仕組みを整備しましたが、引き続き子どもの読書活動推進のための情報発信に努めます。

- (ア) 子どもの読書活動に関する取組の情報を掲載し、情報発信に努めます。
- (イ) 学校図書館の支援に関する取組の情報を掲載し、情報発信に努めます。

⑨児童館・児童センター・学童クラブにおける図書の充実

【児童館・児童センター】【学童クラブ】【図書館】

小・中学生が身近なところで本と親しむために、児童館・児童センター・学童クラブでの図書の充実を図ります。

- (ア) 児童館・児童センター・学童クラブでは、計画的に図書の充実を図ることに努めます。
- (イ) 図書館では、児童館・児童センター・学童クラブへ団体貸出を行います。

⑩全ての児童・生徒とその保護者のための読書相談及び資料の収集と提供

【小・中学校】【指導室】【図書館】

特別な配慮を必要とする児童・生徒とその保護者へ、それぞれのケースに応じた読書活動の支援を行います。

- (ア) 学校図書館では、読書補助用具^{*1}を備え、読みへの抵抗を和らげる手立てを検討し、設備の充実を図ります。
- (イ) 学校図書館では、館内掲示を大きくし、手順をわかりやすく表示するためピクトグラム^{*2}を添えるなど、文字だけに頼らない工夫をします。
- (ウ) 学校図書館では、特別支援学級^{*3}の読書活動を支援する取組に努めます。
- (エ) 市立図書館では、バリアフリー関連資料の収集と提供に努めます。
- (オ) 市立図書館では、利用支援サービスの案内・周知に努めます。
- (カ) 市立図書館では、特別支援学級に在籍する児童・生徒の施設案内のための来館に対応するとともに、特別な支援を必要とする生徒の職場体験を積極的に受入れます。
- (キ) 日本語を母語としない児童・生徒の読書活動の支援に努めます。

3. 高校生等の読書活動推進

義務教育後のヤングアダルト（以下「YA」といいます。）^{*4}世代の読書活動では、自ら考え判断し進学や就職などこれからの進路に向き合うとき、本を活用することが望まれます。また、同世代と読書を通じて繋がる活動や、周囲へ発信する活動を推進します。

(1) 図書館におけるYAサービスの充実

【図書館】

高校生等が図書館で本と親しみ、本を通じて学ぶことができるよう、図書館におけるYA資料の充実を図ります。

- (ア) YA世代のさまざまな興味に応えられるよう、各分野の資料を揃えます。また、対象者向けの新着図書などを特集コーナーで積極的に紹介します。

(2) 「こまえ電子図書館」のYA向け電子書籍の充実

【図書館（新規）】

※1 そのままの活字では読書しにくい人を補助する用具。ルーペ・拡大読書器・リーディングトラッカー等をいいます。
※2 「絵文字」とも呼ばれます。意味するものの形状を単純な構図で表し、情報や注意を理解させるために表示される視覚記号（サイン）のこと。
※3 子どもが個に応じた教育を受けることができるよう、教育上特別な支援を必要とする児童・生徒のために開設される学級のことをいいます。
※4 児童書と一般書の間、思春期から成人前後の読者層を想定したカテゴリーのことを指します。

刊行頻度が高いライトノベルや記述式のページがある問題集など、紙の本では積極的に収集していない種類について電子書籍の収集・提供を検討します。また、世代特有の悩みなどセンシティブなテーマを扱った本は、電子図書館でも備えることで他人に知られることなく利用することができるなど、世代特有の環境に配慮した資料提供に努めます。

(ア) 「こまえ電子図書館」では、YA世代に向けた電子書籍の収集と提供に努めます。

(3) 都立狛江高等学校と市立図書館の連携

【図書館】

都立狛江高等学校では、市外から通う生徒が多いため、生徒が狛江市の図書館について知る機会をつくり、連携のあり方を検討します。

(ア) 引き続き都立狛江高等学校へ、図書館の利用案内や推薦図書リストを配布します。

(イ) 引き続きイベントのお知らせや「図書館だより」などを配布します。

(4) 特別な配慮を必要とする青少年とその保護者への読書支援

【図書館】

特別な配慮を必要とする青少年とその保護者へ、それぞれのケースに応じた読書活動の支援を行います。

(ア) バリアフリー関連資料の収集と提供に努めます。

(イ) 外国語の絵本を収集します。

(ウ) 「こまえ電子図書館」で読み上げ機能がある電子書籍の収集に努めます。

(エ) 利用支援サービスにおいて、希望図書の音訳を行います。

(オ) DAISY図書を活用した読書活動の支援を行います。

(カ) 利用支援サービスの情報発信に努めます。

(キ) 日本語を母語としない青少年の読書活動の支援に努めます。

4. 地域における読書活動推進

子どもの読書活動の推進には、地域の方々の活動も不可欠です。読書が子どもの成長に欠かすことのできないものであることを理解し、子どもと本をつなぐ活動に携わる多くの大人の協力が必要です。地域で活動する方々が連携することで、新たに子どもの読書活動に携わる人材を育成することを目指します。

(1) 地域で活動するおはなしグループ、ボランティア団体との連携

【図書館】

地域で子どもへの読み聞かせやストーリーテリングなどの読書活動に取り組む団体との連携を図ります。

- (ア) 地域の団体の活動の把握に努め、近隣の子ども関連施設等に情報が届く仕組みを検討します。
- (イ) 地域の団体と情報交換を行い、連携のあり方を検討します。

(2) 子どもと本をつなぐ活動に携わる人の育成

【図書館】

子どもが身近で本と出会える機会をつくるため、地域において、子どもと本をつなぐ活動に携わる人を育成します。

- (ア) 子どもの読書に関心のある方を対象に「児童行事実技講座」を実施します。
- (イ) 「児童行事実技講座」受講者を対象に、地域で活躍していただける仕組みを検討します。

(3) 子どもの読書に関する講座等の実施

【地域センター】【公民館】【図書館】

子どもの読書活動に関する市民の要望に応えた講座や講演会を実施します。

- (ア) 図書館では、子ども関連施設や公民館・地域センターと連携し、市民のニーズや今日的課題に応えた講座・講演会を実施します。

(4) 図書関連施設職員の情報共有

【地域センター】【公民館】【図書館】

(ア) 地域センターでは、図書館と連携して図書室を運営し、子どもの本の充実を図るとともに、地域での取組について情報を共有します。

- (イ) 西河原公民館では、図書館と連携して図書室を運営し、子どもの本の充実を図るとともに、定期的なおはなし会の開催を継続します。

5. 普及・啓発

子どもの読書活動の大切さについて、広く市民の関心と理解を深めるための普及・啓発に努めます。

(1) 子ども読書啓発事業の取組

【図書館】

平成15年度に開始したブックスタート事業に続き、子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけをつくり自発的な読書活動につなげるための取組として、平成25年からセカンドブック事業、平成29年にはサードブック事業を開始しています。配布方法については、小・中学校と連携して行います。

- (ア) 引き続き乳児を対象に、絵本を贈呈するブックスタートに取り組みます。
- (イ) 引き続き市立小学校と協力するなど、新小学1年生を対象に、本を贈呈するセカンドブックに取り組みます。
- (ウ) 引き続き市立中学校と協力するなど、新中学1年生を対象に、本を贈呈するサードブックに取り組みます。

(2) 「子ども読書の日」に合わせたイベントの開催

【図書館】

子どもの読書活動の大切さについて、広く市民の関心と理解を深めるため、国の定めた「子ども読書の日」の趣旨に沿ったイベントを開催します。

- (ア) 4月23日～5月12日の「こどもの読書週間」に合わせ、子どもの読書に関するイベントを開催します。

(3) 家庭における読書活動の推奨

【図書館】

子どもの読書活動を習慣づけるためには、乳幼児期をはじめとして、最も身近な場所である家庭で本に親しむことが有効です。家庭における読書を推奨します。

- (ア) 乳幼児の保護者に向けて、図書館の利用案内を配布します。
- (イ) 読み聞かせに向く絵本のリストを作成し、配布します。

(4) 新しい生活様式に対応した各種行事、講座等の実施

【図書館（新規）】

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等を念頭に置き、新しい生活様式に対応しつつ、より子どもたちの興味関心に寄り添った形での行事イベントや講座等の実施を工夫します。

- (ア) 「児童行事实技講座」等の講座・講演会を実施するに際しては、基本的な感染予防対策を徹底します。
- (イ) 子どもたちが密にならず、自分のタイミングで参加できるようなブックレビュー等の設置型のイベントや屋外でのおはなし会を企画します。

(ウ) 先進的事例等の情報収集に努め、各施設の取組とも連携し、より子どもたちの読書意欲を喚起する取組を検討します。

(5) 読書手帳の配布

【図書館（新規）】

子どもが読んだ本の情報を書き記すことで自身の読書傾向を把握し、さらなる読書意欲を喚起させる取組として、「読書手帳」を配布します。

(ア) 中学生以下の子どもを対象に、貸出中の本の情報をシール印刷して貼付することができる「読書手帳」を配布します。

6. 進捗管理・成果検証

【図書館】

子どもの読書活動の定期的な実態把握に努めるとともに、図書館協議会へ計画に掲げた取組の進捗状況を毎年度報告し、取組の成果検証や必要な対策を関連組織と連携して検討します。

7. 新図書館整備に向けて

【図書館】

新図書館整備基本構想については、今回策定した第四次計画の内容も踏まえ、検討を進めます。

第5章 読書活動実践レポート

本章では、狛江市の子ども読書に関わる施設や団体より、特色ある読書活動を紹介していただいたものを掲載しています。

- P. 27 駒井保育園
- P. 28 駄倉保育園
- P. 29 藤塚保育園
- P. 30 三島保育園
- P. 31 社会福祉法人雲柱社 虹のひかり保育園
- P. 32 子鹿幼稚園母の会サークル おはなしやさん
- P. 33 狛江第一小学校
- P. 34 狛江第三小学校
- P. 35 狛江第五小学校
- P. 36 狛江第六小学校
- P. 37 和泉小学校
- P. 38 緑野小学校
- P. 39 こまっこ小学生クラブ
- P. 40 和泉児童館
- P. 41 狛江第一中学校
- P. 42 狛江第二中学校
- P. 43 狛江第三中学校
- P. 44 狛江第四中学校
- P. 45 西河原公民館図書室
- P. 46 野川地域センター図書室
- P. 47 上和泉地域センター図書室
- P. 48 南部地域センター図書室
- P. 49 福祉ネット「ナナの家」グループ
- P. 50 狛江おはなしの会くーすけ

(敬称略)

保育園での読書活動について

～駒井保育園の取組～

心を豊かにしてくれる本(絵本・童話・図鑑・紙芝居等)は、保育に欠かせないものです。

保育園では、各保育室に本がありますが、それらは園で購入したもの、リサイクル図書、図書館の配本サービスでお借りしているもの、市民の方より寄付されたもの等です。それから、上記以外にも職員がぜひ子どもたちに読みたいと思う本を用意することもあります。

毎日の保育の中で、どのクラスも担任が選んだり、子どもたちのリクエストに応えたりしながら読み聞かせをしています。4,5歳児クラスになると、長めの物語を少しずつ読み進め、話の続きを期待しながら想像し、イメージを広げる力を育てるようにしています。

他にも、「絵本と食事」というテーマでいろいろな絵本にちなみ栄養士が献立を考えた給食を、みんなで美味しく楽しく食べることによって、絵本をより身近に感じたり、興味や関心を深めていく取組もしています。

これからも様々な方法で、子どもたちに本の魅力を伝えていきたいと思っています。



＜ブックスタンドの本＞

絵本と子どもたち

～駄倉保育園の取組～

駄倉保育園では年齢や子どもたちの興味に合った絵本、紙芝居を常時お部屋に用意しています。

乳児クラスでは保育士が最初は1対1で読み、次第に数人で見て、そのうちほぼ全員が見ているというように変化していきます。お気に入りの絵本があり、何回も読んでもらっている姿も見られます。

幼児クラスでは好きな時に自由に絵本を手にとることができるように、絵本コーナーを設けています。シリーズ物や、図鑑、迷路などは人気ですね。また、お昼寝の前には「聞くお話」として、読み聞かせや素話も行っています。少し長いお話を聞きながら想像して楽しんでいます。そして子どもたちはなぜかお化けの話も大好き。「怖い話して」とねだられることもしばしばあります。

クラスからのお便りにも今子どもたちに人気の本や担任おすすめの本などを紹介して、ご家庭での親子の会話のきっかけづくり役に立っているようです。

小さいころに読んでもらった本、自分が大好きだった本はいつまでも記憶に残っています。思い出の一冊を大切にしてほしいですね。



わくわく♡配本サービス

～藤塚保育園の取組～

狛江市配本サービスにより、季節に応じた絵本を届けていただいております。

それぞれの保育室にある絵本や、担任が図書館などで選んだ絵本とはまた一味違ったものがあり、おとなも子どもも楽しみにしております。

夏のある日の2歳児室でのこと、すいか割りで見たり触ったりした丸ごとのすいか、汁をこぼしながらほおばったあのすいかと、身近なありが繰り返す「ありとすいか」の世界に、子どもたちはありの気分？で見入っているようでした。その後の「すいか」の製作では、種となる黒いシールを思い思いに無心に貼り付けていました。黒い縞模様も力強く描いていました。「すいか」の印象がより心に残ったことでしょう。

ある日の3歳児室の給食前のひととき。クラスにある人気の「おすし」のおもちゃに因んで「おすし」の絵本の読み聞かせ中でのこと、「これ(魚の切り身)泳いでる魚なんだよね!」「ぼく、かんぱち食べたことある!」などなど、個々の経験からイメージしたり思いついたことを、盛んに発言していました。

4歳児の担任は、「相手の気持ち」に気付くきっかけになれば、という思いから選んだ絵本「わらう」。あることをきっかけに、いつもむっつりとした表情をしている主人公。

「お友だちがこんな顔していたらどうかな?」と投げかけると、「しんぱいになっちゃう。」

「わらってるほうがいいんだね。」と子どもたちから返ってきました。

絵本を通して興味を抱いたり、考える機会になったりと、保育園の子どもの一日に欠かせないものとなっています。



<2歳児の制作「すいか」>



<図書館の配本セット>

季節に合わせた絵本が
コンテナケースで届きます

えほん通信

～三島保育園の取組～

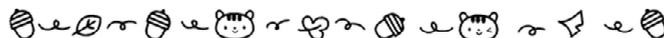
子ども達は大人に本を読んでもう「読み聞かせ」はもちろん、自分で本を選んで本を手にとり読んだり見たりすること、どちらも大好きです。

保育園には0歳児～5歳児の子ども達が通っています。1歳児クラス以上のお部屋には絵本棚があり、並んでいる本は担当が、季節やその時の子ども達の興味に合わせて並べています。定期的に絵本を入れ替えることで、絵本を選ぶことが楽しいようにと工夫しています。0歳児クラスの子も絵本を手に取り「読んで」と持ってきたり、大人の優しい心地よい声で安定した気持ちの中で絵本を楽しんでいます。

また、保育園では職員の中で図書係がいて、図書館から借りている本の管理のほか異年齢の子ども達が使う部屋の本の入れ替えをしています。

年に数回「えほん通信」を作成し、保護者の方に絵本をとおしての子ども達の様子をお伝えしたり、絵本選びの参考になればと人気の絵本を紹介するなどの工夫をしています。子ども達一人ひとりにお気に入りの絵本との出会い、おもしろいな、と思えるストーリーとの出会いがあるように願っています。

『えほん通信』 R3年度 秋号 発行者：川崎 吉重



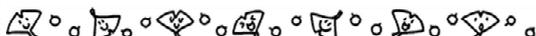
朝晩、肌寒さを感じる季節になりました。

今年は秋の訪れものんびりでしたね。

秋といえば、どんぐりやおいも、柿、かぼちゃの美味しい食べ物からお月さま、紅葉、落ち葉、ハロウィンなどの

季節を感じられる絵本がたくさんありますね。

是非、絵本を通してお子さんといろいろな秋を探してください！



【クラスで人気の絵本を紹介します】

品さくらんぼぐみ

『だるまさんが』

「だるまさんが」に合わせて体を横に揺らしたり、だるまさんと同じポーズや表情をしてたのしんでいます。

『どっちの手に入ってるか』

『どうぶついろいろかくれんぼ』



ぬいごぐみ

『おおきなかぶ』

「うんとこしょ どっこいしょ かぶはまだまだぬけません」

ページをめくるたびに一緒に声を出して楽しんでいます。

『くらいくらい』

『あかたろうの1、2、3、の3、4、5』

♡りんごぐみ

『となりのたぬき』

出会えばいつもケンカをしていた、たぬきとうさぎ。

「ぶっとばしてやる」「べっちゃんこにしてやる」と少し乱暴な言い回しもあり、子どもたちも一瞬驚くのですが、最後はホッとした表情になり和んでいます。

🍊みかんぐみ

『どうそのいす』

かわいいうりとりがある絵本です。何度も「読んで」と言われます。

『ぼくはきょうりゅう麗なぬのはやしのいいにおい』一男の子に人気です。

『ラアンツェル』一女の子に人気です。

🍷とまとぐみ

『さゆうきゆうぼこ』

けがの手当てを勉強する本です。

だんごぶや鼻血など、絵を見ながら「痛そう・・・」と顔をしかめながらも興味深そうに手当ての方法を学んでいます。

🐞ぶどうぐみ

『かいけつゾロリ』シリーズ

上手に字が読めるようになった年長さんに人気です。

絵が隠れていたり、仕掛けが多く、友達同士で見つけあっています。



子どもたちの笑顔が集まる場所「ひかりのこぶんこ」

～社会福祉法人雲柱社 虹のひかり保育園の取組～

虹のひかり保育園には絵本コーナーがあり、「ひかりのこぶんこ」と呼んでいます。ここには0歳から読める絵本から紙芝居まで様々なものがあります。普段は3歳から5歳の幼児クラスの子どもたちが絵本を見に集まって来ていて、園の中でも人気スポットです♪ もちろん0歳から2歳の子どもたちも遊びに来ています！ コーナー内には椅子もあるので、子どもたちが座って集中して読んでいる姿も。「絵本きれいにする!」と言って子どもたちが整理してくれています。

また毎月絵本が入れ替わるコーナーもあり、子どもたちの楽しみのひとつです。職員がその月にあった絵本を図書館から借りてきており、保育園にはない絵本を読むことができます。このコーナーがあることで子どもたちの絵本への関心が深まり、これまで絵本に興味のなかった子たちも集まってくるようになりました。

お友達と一緒に絵本を楽しむ子どもたちはみんなとてもいい表情をしており、笑顔が集まる場所、それが「ひかりのこぶんこ」です。



<絵本コーナー「ひかりのこぶんこ」の様子>

おはなしを子どもたちへ

～子鹿幼稚園母の会サークル おはなしやさんの取組～

子鹿幼稚園おはなしやさんは、現在、園児のお母さん達8名で活動しています。主な活動内容として、月に一度のおはなし会「おはなしやさん」を開催し、2か月毎に中央図書館で各クラス向けの絵本を借りています。

「おはなしやさん」のある朝は、「これからおはなしやさんをはじめます」と放送すると、園ホールに子どもたちがぞくぞくと集まってきます。「おはなしやさん」の歌と一緒に歌うことから始まり、おはなしを2つ、間に手遊びをいれながら、約20分間、子どもたちとおはなしの時間を楽しんでいます。

クラス用の絵本は、先生と子どもたちのおはなし時間に活用してもらっています。各クラス10冊程度ですが、子どもの年齢や季節にあったもの、長く読み継がれてきている絵本や昔話、かがく絵本などいろいろなジャンルから選ぶことを心がけています。

おはなしやさんの活動を続けることで、子どもたちと「おはなしって楽しいね」と思えるような時間を共有したり、好きな絵本に出会える機会になればいいなと思っています。

<12月のおはなしやさん>



－プログラム－

♪おはなしやさんのうた♪

－紙芝居－

『ふうちゃんのそり』

神沢利子/脚本 梅田俊作/絵
童心社

手遊び♪はじまるよ♪

－大型絵本－

『まどから☆おくりもの』

五味太郎 偕成社

「本の世界よ、こんにちは」本の紹介カード

～狛江第一小学校の取組～

秋の読書月間には、一番印象に残った作品とその感想を文や絵で紹介する「本の紹介カード」を全校児童がかく取組をしています。カードに書かれたおすすめの本を学級に置いておくと、とても興味を持って手に取ることが多く、それをきっかけに会話も弾んでいる様子が見られます。1学期は図書委員からの本の紹介カード、3学期には先生たちからの本の紹介カードを掲示し、年間を通じていろいろなジャンルや作者の本を読んでもらえるような取組となっています。

本校では1年間を通じて、低学年は『100冊チャレンジ読書』、高学年は『10,000 ページ読書マラソン』に取り組んでいます。本の紹介カードだけでなく、「読書月間ビンゴ」、「本の色おみくじ」、「読み聞かせ動画配信」など、楽しんで読書に取り組み、結果として目標達成できるような仕掛けを図書委員の児童が中心となって考え、積極的に発信しています。



〈秋の読書月間「本の紹介カード」〉

学校中の掲示板に掲示して
みんなが見られるようにしています。



〈読書月間ビンゴ・本の色おみくじ〉

本に興味のある子はもちろん、普段
休み時間にはなかなか図書室に来ない子も
一緒に楽しんでいます！！

図書クイズビンゴに挑戦!

～狛江第三小学校の取組～

令和3年の読書旬間に図書委員会が企画したのは、「図書クイズビンゴに挑戦!」です。図書委員会が低学年・中学年・高学年それぞれに8～9冊のおすすめの本を選びました。三小図書館の前に本を並べ、子供たちは本を読んで問題を解きます。正解しビンゴが3つ完成したら「貸出が1冊増えるチケット」が貰えます。校内にポスターを貼り、朝会で案内し、放送で呼びかけをしたため、初日からたくさんの児童が本とビンゴ用紙を手にとってクイズに挑戦する姿が見られました。

本の選定や問題の作成に当たっては東京都立図書館に利用許諾を得て「ほん・本・ごほんクイズ」を参考に問題を作りました。たくさんの本が紹介されていて、その中から本を選ぶ作業も図書委員会が行いました。児童にとって実りのある読書旬間になりました。



<令和3年 読書旬間での図書クイズビンゴに挑戦!>

読書郵便

～狛江第五小学校の取組～

狛江第五小学校の主な読書活動は、二つあります。一つは「本の森」の完読です。完読した児童には年度末に賞状を渡し表彰します。

もう一つは、二学期の読書月間の時に行われる読書郵便です。図工専科の山野井指導教諭が作った魅力あるポストに、自分の好きな本の紹介文と絵をかいたはがきを投函し、友達や教員に送ります。そして、友達からもらったはがきを5枚集めると、図書委員手作りのしおりがもらえる取組です。友達からはがきが届く喜びと集めるとしおりがもらえる楽しさで、児童は夢中になって本を読み、はがきを書いています。また友達から紹介された本を手に取り、読んでいる姿も、各学級でも見られます。各クラスの担任からも、児童が2学期の読書月間によく本を借りて読んでいたと意見が出ていました。



<読書郵便のはがき>



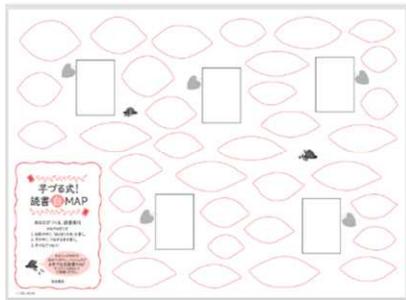
<山野井先生 手作りのポスト>

芋づる式読書（実りの秋は？）

～狛江第六小学校の取組～

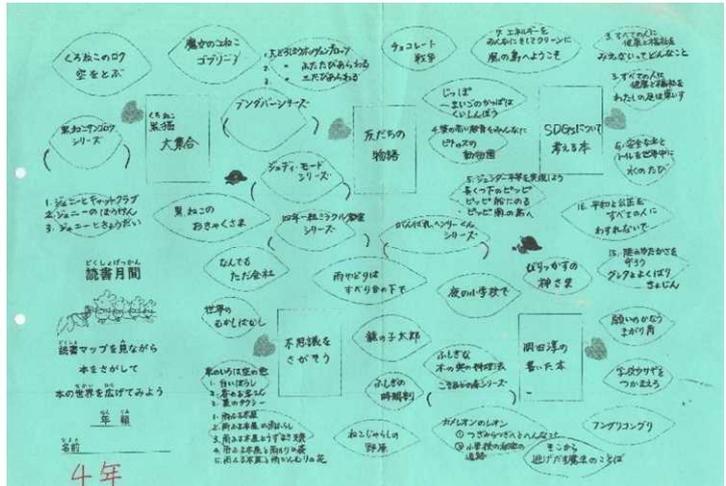
コロナ時代の読書月間において三密を避けて楽しめるものとして、岩波書店が2019年に始めた「芋づる式!読書MAP」の白地図版を1～4年生用にアレンジして、「実りの秋、読書マップを見ながら、本を探してたくさんのおいもを見つけよう。」という取組を読書月間に実施しました。

「芋づる式!読書MAP」のおもしろいところは、最初の一冊から次の本、そしてまた次の本へと続けられるところです。1～4年生用の読書マップでは、□のところにテーマになる言葉を書きました。1年生用には「いぬのえほん」「ねこのえほん」「のりものでくるえほん」「おじさん・おばさんのえほん」「ねずみのえほん」として、□をとりまくおいもには絵本の題名やシリーズ名を書き込み、絵本を読んだらそのおいもに色を塗っていきました。



↑上・<岩波書店が配信の「芋づる式!読書MAP」>

→右・<学校司書が作成した4年生向けのサンプル>



5・6年生は国語の学習を広げてみました。

5年生は国語の「本は友達 作家で広げるわたしたちの読書」を受けて「作家に注目して、読み広げよう。」と声をかけて、上2つの四角には、教科書にある重松清、さくらももこを書き入れ、芋の形には、それぞれの作品名を書き入れました。残る3つの四角の二つは今まで読んだ本の中で、お気に入りの作者名を入れ、残る1つは友達と情報交換して、読んだことのない作者名を入れ、読書月間中に読んでみることにしました。



6年生は「本は友達 私と本」を受けて、「本のテーマに着目して、読み広げよう。」として、上3つの四角には教科書にあるテーマの例「福祉・共生社会」「平和」「自然・生命」を入れ、した2つは自分で各自の読書歴からテーマをを考えて書き入れて、まわりのお芋の中には読んだものやこれから読みたい作品名を入れていきました。



<テーマごとに本を集めて閲覧機の上に並べた。>

ビブリオバトルに挑戦！

～和泉小学校の取組～

和泉小学校では各クラス週1回の図書の時間に、狛江市学校図書館活用ノート「本の森」を利用して読書指導・図書館利用指導・図書資料及び電子百科事典利用指導を担当と学校司書が連携して進めています。

年2回の読書週間では「おうちの人への+1さつ」貸出、「おうちで読もう、いっしょに読もう」など校内のみならずご家庭の協力を得て様々な読書推進活動を行っています。

今年度は4年生が学年で「ビブリオバトル」に挑戦しました。ビブリオバトルの「人を通して本を知る。本を通して人を知る」のキャッチコピーの示す如く本選びから、原稿づくり、発表の工夫など友人と支え合いながら多くの本を知りそして、友だち同士の関係を深めました。

＜ビブリオバトル4年生学年大会（令和3年12月17日）＞



①プレゼンタイム
(3分)



②ディスカッションタイム
(1分30秒)



③ジャッジタイム
(1分)



④最後の投票

タブレット（フォーム）を使って投票するのですぐに結果が出ます。



⑤結果発表

1位と2位に選ばれた人が発表されました。

図書委員会による読書旬間イベント 「本を読んでしおりをもらおう！」

～緑野小学校の取組～

秋の読書旬間では、図書委員会の子供たちも関わって積極的な読書活動が行われています。「おすすめの本を読んだ人たちに、手作りのしおりを配ったら喜んでもらえるし、もっとたくさん本を読んでもらえるのではないかな。」と委員会のメンバーから声が上がリ、一学期後半から早速準備に取りかかりました。

まず本の選定です。図書委員会の児童が、低学年・中学年・高学年の子供たちに読んでほしいおすすめの本をピックアップしました。読んでほしい本を表にして、委員のメンバーと共有します。この本を読んだら1枚しおりを渡すのですが、「読んだことをどうやって確認する?」「クイズを出す?」「図書委員が全部チェックできる?」「一言感想を言ってもらったらどうだろう。」など話し合いをしながら、一つ一つ決めていきました。

しおりは、「もらったときにうれしくなるようなすてきなものを」と考えていくつかの図案を印刷し、夏休みも使って丁寧に色塗りをしました。パウチをして切り抜き、けがをしないように縁も丸く切りました。

いよいよ読書旬間が始まりました。事前にテレビ放送を通して告知をしていたので、全校児童が図書館を利用してくれました。

図書委員会からの提案で始まった今回のイベント。自分たちでやりきったという満足感でいっぱいの子供たちでした。またこうした形で、「たくさん本を読んでほしい。」という私たちと委員会の子供たちの願いが叶うイベントができるといいと思います。



読書キャンペーン 本一覧表

中学年	高学年
おかしな名探偵	劇団16年2組
ふりかえりは名探偵	ぼくらの恐竜パン
それいけスゴク3人組	殺し屋のふ
男子弁当部	DIVE!!
鶴とペダル2	怪人+面相
やまのおぼけずかん	十年屋2
しやくんおぼけずかん	闇の守り人
インナー	三国志
なんでもいっしょ	ハルヒノート
かいぞくポケット	クラスメイト 前期
なすのてから島	ハリポタと賢者の石
	そして誰いなくなった
	雨ふる茶屋
	西遊記
	虹色の地図

<図書委員が作った「しおり」と「本のリスト」>

長期休み特別活動「読書マラソン」

～こまっこ小学生クラブの取組～

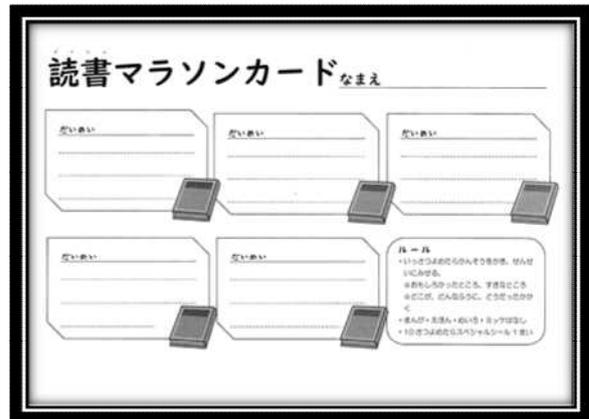
読書マラソンとは、長期休暇期間に行っている活動です。本を1冊読むとシールが1枚もらえてゴールを目指してシールを集めていきます。本を読んだらカードに題名と感想を記入して先生に見せます。先生は感想をしっかりとチェックをしてからシールを渡します。

また、たくさん読書をする、長期休み後に行われる特別企画「おやつバイキング」でより多くおやつをもらうことができるようになります。カードを2枚クリアするごとにオリジナルの100円券をもらうことができ、おやつの内容によって値段が変わるので、子どもたちはおやつの内容を楽しみにしながら、取り組んでいます。おやつバイキングでは普段おやつで出さないような駄菓子やジュースを出すのでより一層読書への意欲が高まっている姿が見られます。この活動をきっかけに子どもたちは本に親しみをもち、その後も読書が続いています。



＜おやつバイキング＞

おやつを選ぶ子どもたちの様子。



＜読書マラソンカード＞

本を一冊読んだら題名と感想を書いて、先生からシールをもらいます。

いろいろな本があります・・・

～和泉児童館の取組～

小さな図書室と、プレイルーム(遊戯室)の一部に本棚があります。乳幼児さん向けの絵本や、小学生向けの児童書、また少しですがマンガなどもあります。学校や図書館に比べると、はるかに小さいです。月に1～2回ほど、乳幼児向けにも、また小学生向けにも、読み聞かせの会(おはなし会)を行っています(小学生は、主に小学生クラブ/学童クラブが対象です)。学校や図書館に比べると、こじんまりとした場所ですが、その中でできることを、ゆっくりとですが進めてきています。



<図書室>



<プレイルームの本棚>

【市立中学校の読書活動実践レポート】

七夕の会・クリスマス会 形を変えて継続中!録画配信の試み

～狛江第一中学校の取組～

第三次読書活動推進計画で紹介いたしました「七夕の会・クリスマス会」は2019年が最後の開催となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で図書館の利用や委員会活動は大きく変化しました。ウイルスが猛威を振っていた頃は館内で本の閲覧をすることはできず、人数制限しながら本の貸出・返却のみ受付けていました。委員会活動も縮小していた中、何とか今までの「七夕の会・クリスマス会」の代わりになるものを開催できないかと考えていたところ、前任の副校長のアドバイスもあり紙芝居を学年ごとに録画し、朝読書の時間に配信する方法にたどり着き、委員会の先生方の協力のもと、紙芝居の録画配信を行っています。上手に録画できたと思い試しに見てみたら、声が全然聞こえなかったり、チャイムの音が入っていたり、何度か撮り直したこともありました。見に来てくれる友達の歓迎ムードの中で演じるのとは違う緊張感もあったと思います。その場にいる全員で楽しむということができなくなりましたが、一斉に配信することで、生徒全員に見てもらえるようになったところは良かったと思いました。

また、今年度は校外の活動にも積極的に参加しました。中央図書館で発行している「Enjoy Reading!」に掲載されている本のポップ募集に応募したり、「ひとこと Book レビュー募集」に数名の図書委員が作品を提出したりしました。できなくなったことを嘆くばかりでなく、何ができるかを考え工夫することの大切さを感じました。とはいえ、安心して集まることができる状況になった時には再び「七夕の会・クリスマス会」を開催できたらと考えております。



＜図書委員による紙芝居実演の様子＞

読書月間 図書委員会

～狛江第二中学校の取組～

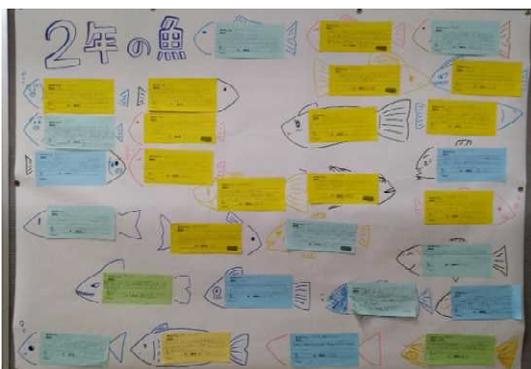
2学期の期末テストが終わると、二中の読書月間が始まります。特別貸出し期間なので、ひとり10冊まで借りられます。生徒たちは冬休み中に読む本をこの期間に借りておきます。

読書月間の図書委員会の取組は、主に2つあります。ひとつは、「学年のおすすめ本」のコーナーを設置することです。今年度は、1年生と3年生は「おすすめの本棚」、2年生は「おすすめの本棚」です。朝学活でクラスに呼びかけ、おすすめの本棚のカードを書いてもらって図書館前の台紙に貼っていきます。友だちや先輩がどんな本を紹介しているのか、コーナーを見に来る生徒もたくさんいます。

もう一つは「先生方がすすめる本」の紹介です。図書委員が先生に本のカードの記入をお願いします。本に添えられるメッセージには、先生方の熱い思いがこめられているので円形のカードをめくってみるのも楽しみです。毎年実施しているためカードが何枚も重なっている先生もいらっしゃいます。先生方がすすめてくださった本は図書館で購入し、読書月間中には館内にコーナーを設け貸出もしています。

<おすすめ本を紹介したカードの掲示>

学年ごとに貼り出し、2年生はカードの周りに魚の絵を描いて装飾している。



<先生方のおすすめ本を展示した様子>



ビブリオバトル 本を通して人を知る・本の世界は自由だ!

～狛江第三中学校の取組～

1年生の国語の授業で、2学期のまとめとしてビブリオバトルを行いました。ビブリオバトルはねらいの一つに「本を通して人を知る」と掲げています。自分が今まで読んだ本を一冊、5分間で紹介することで本の魅力を伝えるだけでなく、一人一人のものの捉え方や感じ方を知ることができる、とてもよい機会になりました。

準備段階は、決して楽なものではありませんでした。ビブリオバトルはそもそも発表原稿を作らずに、5分間、ライブ感をもって「生きた言葉」で語っていくものなので、原稿を書かないということに多くの生徒は戸惑います。しかし、構成や話す内容はしっかり考え、練り上げます。その上で、5分間をどう使うか試行錯誤の連続です。また、今回はパフォーマンス、内容ともにどちらか一方を頑張るのではなく、どちらもレベルを上げていこう!と目標を掲げたので、実際の5分間の練習では生徒達は気合い十分でした。特に、今年の1年生は発表やパフォーマンスを得意とする生徒が多いのでとても良い雰囲気で行うことができました。

本番は、まずはクラスの班ごとのビブリオバトル。その中でチャンプ本に選ばれた生徒はクラスの代表戦、そして、最終的には学年のチャンプ本まで選ぶところまで行いました。準備をしっかり行い臨んだビブリオバトルだったので、本番は楽しく取り組むことができました。何より、バトルのあとに紹介した本を読み合い、談笑する姿がそれぞれの班で自然と行われた姿に感動しました。

本を通して自分の言葉で語る子どもたちを見て、ビブリオバトルの様々な可能性を感じました。毎年の恒例行事に出来たらと、密かに検討中です。これを機会に本の魅力を感じた生徒が一人でも多くなり、図書館の利用にもつながっていければと期待しています。



＜クラスの班ごとに実践する1年生の様子＞

「TOSHO オリンピック 2021」 & 「ノーベル読書賞」

～狛江第四中学校の取組～

図書委員会では、図書室の本をたくさん借りて、読んでもらおうという取組をしています。今年度前期は、各クラスの目標冊数を200冊にして、「TOSHO オリンピック 2021」という取組をしました。聖火ランナーが走るコースに見立てた絵を作り、10冊ごとに各クラスが聖火ランナーを進めて、200冊のゴールを目指すというものです。前期は3クラスが目標に達しました。後期は、各クラスが目標200冊を目指して、「ノーベル読書賞」という取組をしています。クラスごとの図書貸し出し数を毎月掲示して、目標冊数に達したクラスに、「ノーベル読書賞」の賞状を授与する予定です。どの取組も、図書委員の生徒が考えて、レイアウトをして廊下に掲示しています。また、途中経過の冊数は、図書委員会発行の図書だよりも全校に知らせて、読書の呼びかけをしています。

また、1年生の生徒が作ったポップを、図書室前に掲示して、生徒による本の紹介も行っています。



おはなし会、本の紹介コーナー

～西河原公民館図書室の取組～

西河原公民館図書室では、子どもたちが本に親しみ、楽しさを味わえるよう、毎週木曜日の午後に「おはなし会」を行っています。図書室の担当職員が紙芝居や語り、絵本の読み聞かせ、折り紙、工作など、さまざまなプログラムで取り組んでいます。

また、図書室内に本の紹介コーナーを3つ設け、季節ごとの本や、中央図書館で発行する冊子「このほんしってる?」「図書館であえる本」「読書のみちしるべ」に掲載された本を紹介しています。特に季節ごとの本は、「今月の絵本コーナー」を作り、1月は「十二支の絵本」「冬の絵本」、2月は「節分の絵本」「もうすぐ春」、3月は「春の絵本」「入園・入学おめでとう」など、毎月20～30冊を入れ替え、子どもたちだけでなく、来室された皆様に楽しんでもらえるように工夫しています。



<おはなし会>



<「このほんしってる?」コーナー>



<今月の絵本コーナー>

12月は、最初はクリスマスの本を中心に紹介し、徐々にお正月の本と入れ替えていきます。

地域の身近な図書室として

～野川地域センター図書室の取組～

野川図書室では、当施設の利用団体の方々の協力をいただいて、七夕おはなし会・仮装で楽しむおはなし会・クリスマスおはなし会を行っています。

幼児と保護者の方に歌とリズムを盛り込んで紙芝居や絵本の読み聞かせを楽しんでもらえるように取り組んでいます。おはなし会の内容に沿った工作を親子で実施しお持ち帰りいただき大好評です。

夏休みには、児童対象に一日図書室員を行い図書室の業務に親しんでいただけるように取り組んでいます。

図書室内には、図書室の担当職員がひと月ごとに季節にあったテーマを決め、本を選び紹介するコーナーがあります。図書室を訪れるこどもたちや保護者の方が、必ず足を運ぶ場所となっています。



<七夕おはなし会>



<一日図書室員 配送便のお手伝い>



<図書展示コーナー>

【図書室の読書活動実践レポート】

地域の小学校と連携した取組 緑野文庫の常設展示

～上和泉地域センター図書室の取組～

「緑野文庫」とは、緑野小学校の司書の先生が推薦する本で、詩や日本・外国の物語、ノンフィクション等、様々なジャンルの本が各学年20冊以上あります。上和泉地域センター図書室は近隣小学校である緑野小学校児童の利用も多く、緑野文庫の常設展示を行っています。本の背表紙には緑野文庫シール貼付し、児童にもわかりやすく、そして手に取りやすい場所に配架しています。また、学年ごとに推薦本がまとめられているので、当図書室職員も一般利用者への案内時に活用しています。

今年度はコロナ禍の利用ということ、子どもの読書スペースの制限をせざるを得ない時期がありました。再開すると、決められたルールを守って熱心に本を読んでいる子ども達の姿を見ることができ、職員も嬉しく感じております。学校で活用している緑野文庫を利用する際に図書室で新たな本との出会いを楽しんでもらえたらと考えています。今後も地域小学校との連携を継続し、子どもたちが本と触れ合う機会を大切にしていきたいと思っております。



<高学年の本：棚の上段に配置>

木のイラストを背景に
学年と緑野文庫の表示を
したラベルシール。



<低学年の本：棚の下段に配置>



【図書室の読書活動実践レポート】

なんぶおはなし会と季節の行事

～南部地域センター図書室の取組～

【なんぶ親子で楽しむおはなし会】

入園前の乳幼児を対象とし、月 1 回午前中に開催されるおはなし会です。以前、図書室で勤務していた経験と、長年にわたり、乳幼児の教室に携わっていた方が読み手として行われています。図書室職員、運営協議会委員の方がサポートし、保護者の方といっしょに楽しめるようなプログラムです。

大型絵本やパネルシアターを中心とし、その他に図書室で所蔵している本の紹介をかねた読み聞かせなど盛りだくさんです。

工作は、乳幼児対象なので、あらかじめ作っておいた折り紙やシールなどを台紙に貼り、完成させます。簡単に楽しく季節感あふれる作品ができるよう工夫されています。

小さなお子さんが対象なので、飽きないように手遊びや軽い運動なども盛り込まれ、とても和やかな時間を親子で体験してもらえます。



【七夕会・なんぶこどもクリスマス会】

七夕会・なんぶこどもクリスマス会は人形劇のサークルの方に依頼し開催しています。普段あまり目にする事のない大仕掛けの舞台の演目です。会場に一步入ると、いつもと違う雰囲気の子どもたちの目はキラキラと輝いています。

<七夕会>

七夕のおはなしをパネルシアターで紹介し、帰りには短冊に願い事を書いてセンターの笹に飾ってもらいます。



<なんぶこどもクリスマス会>

大人気のため、午前（2回）・午後の合計3回の公演を開催しています。サンタクロースから、一人ずつに小さなプレゼントを渡しています。

障がいのある子どもたちの世界を広げる読書活動

～福祉ネット「ナナの家」グループの取組～

福祉ネット「ナナの家」グループの放課後等デイサービスには、小学生から高校生までの障がいのある子どもたちが放課後毎日元気に通ってきています。本のストーリーを楽しむ子どももいれば、絵本の色や言葉のリズムを楽しむ子どもも。楽しみ方はそれぞれですが、子どもたちは本が大好き。ナナの家の実践を報告します。

☆くーすけおはなし会☆

毎月1回、くーすけのみなさんがおはなし会を開いてくださっています。なかなか集中がもたなかったり、興味をもつものが少なかったりする子ども達に対して、「どうしたら楽しめるか」と手遊び・歌を入れたり、本の選び方を考えたり……工夫を重ねていただいています。

子ども達にとって本の世界だけでなく、地域の人とつながる大切な機会になっています。



☆活動の中で本に触れる☆

活動の始まりや、帰る前などに読み聞かせの時間を設けています。CDと一緒に大型絵本は子ども達のお気に入り。繰り返していくことで、みんなが静かにじっと絵本を見つめるようになりました。時には子ども達が前に出て本をめくることも。前に出るお兄さん、お姉さんの役が子ども達にとって憧れにもなっています。個別の「まなびや」や「言語療法」の時間にも好きな絵本を先生と読むのを楽しみにする子どももいます。



☆読書スペース☆

子ども達が自然と集まる読書スペースをつくっています。それぞれの好きな本を手にとって集中しています。支援員と一緒に本を読む子どももいれば、いつものお気に入りを読んで自分で読む子どももいます。気持ちを落ち着けたいとき、読書スペースに行って、本を読む子どももいます。



おはなしの世界をたくさんの方に

～狛江おはなしの会くーすけの取組～

狛江おはなしの会くーすけは、多摩川の昔話「かっぱのクー助」に由来し、絵本や語りの楽しさを地域の方々と共有する活動を長年に渡り続けています。中央図書館での「親子で楽しむおはなし会」や「子どもおはなし会」への協力が主な活動ですが、狛江第三小学校の読書週間に合わせて各クラスにおはなしを届ける活動も10年を越えました。また地域の団体や施設からの依頼で出張おはなし会をおこなうこともあり、西野川のcomarch(こまち)、和泉多摩川のよしこさん家では定期的におはなし会をしています。大人向けのおはなし会も大切にしている活動です。

中央図書館のおはなし会では、語りとともに、楽しい絵本、ぜひ出会ってほしい絵本を選んで、手遊びなども交えて楽しい時間になるようにしています。いつも子どもたちの笑顔に支えられて、私たちにとっても楽しい時間です。

毎月の定例会では、絵本や語りについての情報交換や勉強会をおこない、年齢に応じたおはなし会ができるよう学んでいます。これからもたくさんの方におはなしの持つ楽しさと素晴らしさを伝えていきたいと思えます。

<ある日のプログラム(2～3歳向け)>

絵本『さくよ さくよ』
齋藤模 (福音館書店)

♪蚊がさした (手遊び歌)

絵本『かごにのって』
とよたかずひこ (アリス館)

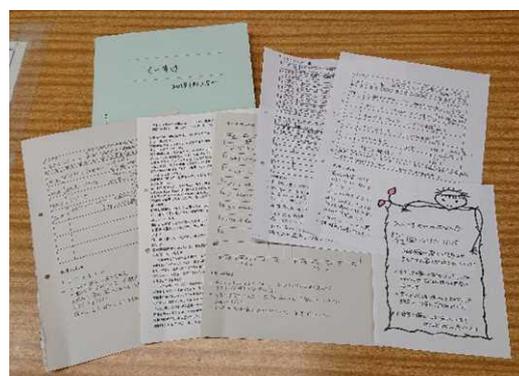
♪にゅうめんそうめん (手遊び歌)

絵本『かえるとカレーライス』
長新太 (福音館書店)

♪くだもの (手遊び歌)

絵本『じゃぐちをあけると』
しんぐうすすむ (福音館書店)

♪ペンギンさん (手遊び歌)



<おはなし会や勉強会の記録>

実践した内容は記録し、定例会などで情報を共有して振り返りの機会をもつことも大事にしている。

第6章 資料編

○第三次計画における所管部署を対象とした取組状況

第三次計画の具体的取組を主に所管する部署により、取組の自己評価とその取組内容をまとめました。

計画の内容	取組の方向性	第三次計画上の具体的取組	評価	取組内容 (H29年度～R3年度)	主な所管	
1 乳幼児期の読書活動推進	①これから親になる方への絵本の読み聞かせ案内	絵本の読み聞かせやわらべうたは、親子がふれあうきっかけを作る役割を果たします。父母やその他の保護者による積極的な語りかけの重要性について広く理解を促し家庭での実践につながるよう努めます。	ア. 妊娠中の方や「ママパパ学級」の参加者に、図書館利用案内や推薦絵本リストを配布します。	B: 現状維持	・利用案内及び推薦絵本リストの配布に努めたことに加え、推薦絵本リスト「赤ちゃんに贈るファーストブック」「図書館で会える絵本」「このほんしってる？」の改訂を行い、内容の充実を図った。 ・「赤ちゃんに贈るファーストブック」では赤ちゃんに絵本を読むことの意義や方法なども記載し、保護者への理解の促進を図った。	図書館
	②ブックスタート事業の継続	乳幼児期から身近に本のある環境を作り、本に親しむ機会がもてるよう努めます。	ア. 3・4か月児健康診査の会場で、図書館職員が絵本の読み聞かせを行い、その絵本を1冊贈呈します。 イ. 図書館が作成した対象年齢別の絵本リストを配布し、健康診査の会場で手に取れるよう、図書館の絵本を展示します。 ウ. 保護者向けの図書館利用案内を配布します。 エ. 健康診査の会場で、希望する保護者と対象のお子さんの図書貸出券を作ります。	B: 現状維持	・従来通りの取組を進めてきたが、コロナ禍の状況下では、郵送での絵本贈呈、図書館において感染症対策を施した環境下での読み聞かせを行うなど、事業の継続に努めた。	図書館
	③各施設による取組み	乳幼児関連のイベントを開催し、地域交流の機会がもてるよう努めます。	ア. 地域のおはなしグループによるおはなし会などを積極的にを行います。 イ. 乳幼児の保護者を対象とした講座や講演会を企画します。	B: 現状維持	・児童館・児童センターでは地域のおはなしグループ等によるおはなし会を毎月実施し、地域交流の機会の確保に努めた。 ・子ども家庭支援センターにおいて絵本タイム内で絵本の読み聞かせを行い、本に親しむ環境の充実を図った。 ・地域センター図書室では乳幼児向けのおはなし会や季節のイベントに合わせたおはなし会を実施した。 ・西河原図書室の子どもと保護者を対象とした「おはなし会」では、絵本の読み聞かせだけでなく、紙芝居や折り紙、季節の工作など多彩なプログラムを実施しており、平成29年度から平成31年度までの参加者数は毎年度増加している。	児童育成課 子ども発達支援課 地域活性課 公民館
	④保育園における読書活動の充実	乳幼児が日々の生活の中で本に親しむために、保育園における読書活動の充実を図ります。	ア. 乳幼児の発達に適切な蔵書の充実に努めます。 イ. 図書館の団体貸出を活用します。 ウ. 保育士は、日常の保育の中で継続して読み聞かせを行います。 エ. 地域のおはなしグループによる読み聞かせやおはなし会を企画します。 オ. 地域交流(地域の未就学児とその保護者を対象にした行事)において、積極的に乳幼児が本に触れる機会を設けます。	B: 現状維持	・散歩の際等に、図書館を訪れ、団体貸出を利用している。 ・園の図書及び団体貸出の図書または職員が用意した絵本等を活用し、毎日読み聞かせを行っている。 ・保育園に貸出コーナーを設け絵本の貸し出しを行っていた。	児童育成課
	⑤図書館における読書活動の充実	図書館では、乳幼児の好奇心や感性を養うのに有用で、特に長く読み継がれている絵本を中心に、より良い絵本を選定しその収集と提供に努めます。また、子ども関連施設への団体貸出を充実します。	ア. 数ある絵本の中から、特に乳幼児向けの作品を集めた「赤ちゃん絵本コーナー」を設置し、手に取る保護者が選びやすい工夫をします。 イ. 初めて赤ちゃん絵本を選ぶ人にもわかりやすく、月齢に応じた絵本を紹介するリスト「赤ちゃんに贈るファーストブック」の活用を努めます。 ウ. 年齢別のおはなし会や季節の行事にちなんだおはなし会、ゲストを招いた特別おはなし会を実施し、乳幼児が絵本やわらべうたに親しむ機会を設けます。 エ. 図書館が作成する絵本リスト「赤ちゃんに贈るファーストブック」「図書館で会える絵本」に掲載の絵本を中心に、季節やテーマに応じた年齢ごとの絵本セットを準備し、子ども関連施設に団体貸出を行います。 オ. 外国語を母語とする子どもや帰国児童の支援のため、外国語の絵本を充実させます。 カ. バリアフリー関連資料の収集に努め、市販の点字付き絵本を購入するとともに、布の絵本の製作や絵本点訳に取り組みます。	A: 充実・進展した	・赤ちゃん絵本コーナーの設置に加え、付近の育児図書を集積したコーナーに読書法や絵本についての図書を設置するなど、保護者の理解啓発に繋がる書籍配置の工夫を図った。 ・各種推薦図書リストの改訂を行うとともに、「赤ちゃんに贈るファーストブック」では赤ちゃんに絵本を読むことの意義や方法なども記載し、保護者への理解の促進を図った。 ・各種おはなし会を実施するとともに、人材養成のための実技講座を実施し、ボランティア活動の拡充を図った。 ・子ども関連施設への団体貸出の実施、リサイクル図書の配布等、施設への支援を行った。 ・外国語の絵本、布の絵本及び点訳絵本を購入・製作し、資料の充実にも努めた。	図書館

計画の内容		取組の方向性	第三次計画上の具体的取組	評価	取組内容 (H29年度～R3年度)	主な所管
1 乳幼児期の 読書活動推 進	(2)乳幼児 期の読書活 動推進のた めの諸条件 の整備	①家庭にお ける読書支 援のための 取組みの 整備	ア. ブックスタートを経て、その後の読み聞 かせ活動を継続して実践できるよう、1歳 半を過ぎる頃までの家庭での取組を支援 するフォローアップ事業のあり方について 検証します。 イ. 乳幼児と一緒に図書館を来館する保護 者のための利用案内を作成します。 ウ. 上記の利用案内をブックスタート事業 や子ども関連施設で配布します。	A: 充実・ 進展した	・家庭における読書活動の意義や方法、 乳幼児の親子での図書館利用方法等に關 する案内を作成し、ブックスタート事業等 での配布及び周知を図った。	図書館
		②読み聞か せに向く絵 本のリスト の作成・配 布	ア. 「赤ちゃんに贈るファーストブック」「図 書館で会える絵本」を作成し、必要に応じ て見直しを行い、常に魅力ある新鮮な情報 を提供します。 イ. 上記のリストに掲載した絵本コーナーを 設置し、貸出利用を促進します。 ウ. 読み聞かせの記録を付ける読書ノート の作成・配布を検討します。	A: 充実・ 進展した	・各種推薦図書リストの改訂を行うととも に、リストに掲載したコーナーの設置により 利用の促進を図った。 ・読書手帳を作成、配布するとともに、館内 での手帳貼付用シールプリンタを設置する など設備の整備を進めた。	図書館
		③各施設に おける読書 活動の広報	ア. 狛江市子育てポータルサイト「こまえ 子育てねっと」を活用します。 イ. 各施設のイベント情報案内等、図書館 の「図書館だより」及び図書館ホームペ ージで広報を行います。	B: 現状 維持	・図書館では、「こまえ子育てねっと」、市 の公式ホームページ及び図書館ホーム ページ等による情報発信に加え、広報誌 やポスター掲示、チラシ配布、「暮らしのガ イド」等市が発行している印刷物にも関連 情報を掲載し、広報周知を図った。 ・各施設では、広報誌やポスター・チラシ・ 各施設で作成している案内等で周知を 行った。	児童育成課 地域活性化課 公民館 図書館
		④保育園に おける図書 の充実と保 育士の研修	ア. 乳幼児が身近なところで本と親しむた めに、図書の充実を図り、職 員の研修を行います。	A: 充実・ 進展した	・子ども関連施設への団体貸出の実施、リ サイクル図書の配布等を行った。 ・コロナ禍により図書館の来館が困難な際 にも、配本サービスの実施により効果的な 支援に努めた。	児童育成課 図書館
		⑤図書館に おける乳幼 児向け資料 の充実と図 書館職員の 研修	ア. 乳幼児と保護者が近 隣の図書館や図書室 で本と親しむために、 図書の充実を図ると ともに職員研修を行 います。	B: 現状 維持	・見計りやブックフェア等を活用して新規発 行図書の把握に努め、計画的に図書の補 充と充実を行った。 ・都立図書館等の各種研修への参加に加 え、主催した児童行事実技講座に担当職 員が参加するなどし、職員の能力向上に 努めた。	図書館
		⑥保育園へ の団体貸出 と配本サー ビスの拡充	ア. 図書館が作成する絵本リスト「赤ちゃん に贈るファーストブック」「図書館で会える絵 本」に掲載の絵本を中心に、季節やテーマ に応じた年齢ごとの絵本セットを準備し、子 ども関連施設に団体貸出を行います。	A: 充実・ 進展した	・子ども関連施設への団体貸出の実施、リ サイクル図書の配布に加え、定期的な絵 本セットの貸出を行った。	図書館
		⑦全ての子 どもとその 保護者のた めの読書相 談及び資料 の収集と提 供	ア. 「布の絵本」や「絵本点訳」の製作グ ループによる活動を支援し、図書館資料と して所蔵することで提供と普及に努めま す。 イ. 外国語の絵本を収集します。 ウ. 希望図書の音訳を行います。 エ. DAISY（テイジー）図書を活用します。 オ. 利用支援サービス（障がい者サービ ス）の案内書を作成し、保育園や狛江市市 民活動支援センター「こまえくぼ1234」等 に配布します。	A: 充実・ 進展した	・点訳講習会等の実施による協力者の拡 充及び支援を行うとともに、外国語の絵 本、布の絵本及び点訳絵本を購入・製作 し、資料の充実を図った。 ・相互貸借等により、音が出る絵本や DAISY図書を活用して、提供する資料の充 実を図った。	図書館
2 小・中学生 の読書活動 推進	(1)小・中学 生の読書活 動	①児童・生 徒の読書活 動のさらな る展開	ア. 「狛江 本の森 学校図書館活用ノート」 や「ようこそ本の世界へ」等を活用します。 イ. 児童・生徒が読書する時間の確保に努 め、一冊を読み通す達成感を体験させるた めの読書イベント等を企画実施します。 ウ. 児童・生徒の興味関心や発達段階に 応じて、自ら本を選び読書の幅を広げるた めの展示や掲示を工夫します。 エ. 自ら友達や同世代に向けて読書の楽 しさを発信する活動を通じ、児童・生徒同士 が交流できるような取組みます。 オ. 委員会活動では、校内において学校 図書館が身近な学びの場であることが伝 わる活動に取り組めます。	B: 現状 維持	・「狛江 本の森 学校図書館活用ノート」と 「ようこそ本の世界へ」の活用推進のため、 児童・生徒の実態に応じて適宜更新を行っ ている。 ・各小中学校の教育課程に学校図書館の 活用について各校ごとに明記するよう指導 し、全校で取組の記載が行われている。 ・令和3年度から「ようこそ本の世界へ」の PDF版を各学校に配布し、GIGAスクール 構想に合わせて利用の促進に努めた。	指導室

計画の内容	取組の方向性	第三次計画上の具体的な取組	評価	取組内容 (H29年度～R3年度)	主な所管		
2 小・中学生 の読書活動 推進	(1)小・中学生の読書活動	②資料を使った課題解決の支援	児童・生徒が楽しく読書するだけでなく、各教科・領域や総合的な学習の時間に活用できる学校図書館を目指します。	ア. 児童・生徒が課題を解決するための手助けとなるような資料を揃え、資料の使い方など、必要な指導や助言を行います。 イ. 学校の夏季休業期間中の宿題や自由研究を支援します。	A: 充実・進展した	・令和2年度に柏江市学校図書館活用資料集「ようこそ本の世界へ」を改訂し、児童・生徒の学習に二層活用できるようにした。また令和3年度から「ようこそ本の世界へ」のPDF版を各学校に配布し、GIGAスクール構想に合わせて利用の促進に努めた。 ・児童・生徒が課題を解決するために、小学校では令和2年11月からインターネット百科事典ポプリアディアネットを導入している。中学校では令和3年度からブリタニカ国際百科事典を導入した。 ・「学校司書・図書館司書連絡会」等により図書館と学校図書館の連携を推進し、長期休業期間及び学校行事における課題や必要な図書に関する情報を共有して支援を行った。	指導室 図書館
		③図書館見学・職場体験の受入れ	図書館の仕事体験することで、より一層、本や図書館に親しみをもつことができるよう、積極的に受入れを行います。	ア. 小学生の校外学習の一環として、集団での施設案内や利用指導を行う機会をつくります。 イ. 中学生の職場体験を受入れ、図書館の仕事体験する機会をつくります。 ウ. 夏季休業期間に小学生を募集し、「子ども図書館員」として図書館の仕事体験する機会をつくります。	B: 現状維持	・市内小中学校や近隣の中学校と連携して図書館見学及び職場体験等を積極的に受け入れ、図書館の事業や活動の紹介に加え、図書館に親しみをもつことができる環境を提供した。	図書館
		④児童館・学童クラブにおける読書活動の推進	小・中学生が身近なところで本と親しむために、児童館・学童クラブでの読書活動の充実を図ります。	ア. 児童館・学童クラブでは、職員等による読み聞かせの時間をもつとともに、地域のおはなしグループによるおはなし会を企画します。 イ. 図書館の団体貸出を活用します。	B: 現状維持	・児童館においては地域のおはなしグループ等によるおはなし会を毎月実施するなど、読書活動の充実へ努めた。 ・学童クラブにおいては、職員等による読み聞かせを行った。	児童育成課
	(2)小・中学生の読書活動推進のための諸条件の整備	①学校図書館の蔵書構成及び更新	児童・生徒が身近な場所で本と親しむとともに、各教科・領域や総合的な学習の時間に利用しやすい蔵書構成を目指した蔵書の充実と更新を図ります。	ア. 児童・生徒の読書意欲をかきたてる資料を揃えるため、資料の購入費を確保し、計画的な購入に努めます。 イ. 各教科や総合的な学習の時間に利用するための資料の選択・収集に努めます。 ウ. 学級文庫用図書の充実へ努めます。 エ. 不必要になった資料の定期的な払い出しや除籍を行い、蔵書の更新・補充に努めます。また、そのための除籍の基準を検討します。	B: 現状維持	・学校図書館の蔵書構成を把握するために毎年蔵書点検を行ない、分類別の冊数を把握して適切に蔵書の更新・補充を行っている。点検した内容は「学校図書館の現状に関する調査」として東京都へ提出している。	指導室
		②学校図書館システムの運用	学校図書館システムの運用により、貸出・返却・予約・統計・蔵書点検等の業務を円滑に行います。	ア. 学校司書や司書教諭への操作研修を実施します。 イ. 学校図書館の運営に各種統計を参照するため、分類等の共通化に努めます。	B: 現状維持	・指導室にて蔵書点検用の機器を準備し、各校に貸し出すことにより蔵書点検の効率化を図っている。	指導室
		③学校図書館設備の充実	学校図書館が、児童・生徒にとって安全で親しみやすい心の居場所であるとともに、学習や読書活動に役立つ環境整備を図ります。	ア. 児童・生徒の利用動線に配慮し、書架配置や案内表示の見直しを行います。 イ. 空間の確保、椅子・本棚等の不足や老朽化への対応に努めます。 ウ. 児童への読み聞かせスペース、生徒が集中して学習できる机の配置等の工夫に努めます。 エ. 児童・生徒が自ら蔵書を検索できるOPAC端末等の設置を検討します。	B: 現状維持	・毎年各学校から提出される、学校図書館活用全体計画を確認し、必要に応じて指導を行っている。	指導室
		④学校図書館連絡協議会の開催、研修の実施	学校図書館の運営には、利用指導計画を立案し実践する司書教諭と、それをサポートする学校司書の連絡調整が欠かせません。司書教諭の資質と能力の向上に取組み、専門的な知識・経験を深めるための実務研修を行います。また、校長は司書教諭や学校司書と協力し、学校図書館の業務が円滑に行われるよう努めます。	ア. 校内に学校図書館活用委員会を設置し、学校全体で学校図書館を活用します。 イ. 学校図書館の運営に必要な能力を司書教諭が身につけるための研修の機会をつくります。 ウ. 小・中学校の司書教諭と学校司書が、連携を図るための合同連絡協議会を開催します。 エ. 学校図書館の校内運営及び学校間の連携のあり方について協議し、共有ガイドラインを作成します。	B: 現状維持	・学校図書館連絡協議会を年間4回程度開催し、小・中学校の司書教諭と学校司書が、連携を図るための機会を設定している。	指導室

計画の内容		取組の方向性	第三次計画上の具体的取組	評価	取組内容 (H29年度～R3年度)	主な所管	
2 小・中学生 の読書活動 推進	(2)小・中学生の読書活動推進のための諸条件の整備	⑤学校図書館と市立図書館の情報共有	小・中学生の読書活動の推進を図るため、学校図書館と市立図書館は情報を共有します。 また、学校図書館の運営が円滑に行われるよう、学校図書館及び図書館との連絡体制を整備するとともに実務に必要な研修を実施します。	ア. 学校図書館連絡協議会へ図書館職員が参加し、情報共有を行います。 イ. 小・中学校の学校司書と図書館職員が、連携を図るための学校司書・図書館司書連絡会を開催します。 ウ. 図書館ホームページ上の掲示板を、各学校図書館及び図書館との情報共有に活用します。 エ. 業務を円滑に行うための、学校図書館実務マニュアルの作成をします。 オ. 業務を行うために必要なことを学べるような実務研修を実施します。	B:現状維持	・学校図書館連絡協議会の中学校部会では、本の紹介として「ようこそ本の世界へ」を4年ぶりに大幅に改訂を行った。その改訂をする際に、図書館職員と連携して「ようこそ本の世界へ」を作成した。 ・「学校司書・図書館司書連絡会」等により図書館と学校図書館の連携を推進するとともに、図書館ホームページを活用した情報共有、学校図書館実務マニュアルの作成による運営支援等を行った。 ・コロナ禍における資料の取り扱いに関する情報を提供するなど、学校図書館運営に必要な情報の共有を図った。	指導室 図書館
		⑥市立図書館における小・中学生向け資料の充実	小・中学生が市立図書館で本と親しみ、本を通じて学ぶことができるよう、資料の充実を図ります。	ア. 小・中学生向けの資料について、新しく出版された本から適切なものを選書するとともに、長く読み継がれている本を必要に応じて買い替え補充し、利用に供します。 イ. 小・中学生のさまざまな興味に応えられるよう、各分野の資料を揃えます。 ウ. 郷土学習に関連する地域資料を積極的に収集します。	B:現状維持	・見計りやブックフェア等を活用して新規発行図書の把握に努め、計画的に図書の補充と充実を行った。 ・各分野の資料を積極的に収集するとともに、市役所の各部署と連携して郷土資料の収集と充実を図った。	図書館
		⑦市立図書館による学校図書館の支援	小・中学生が身近な学校図書館で本と親しみ、学習することができるよう、学校図書館の取組を支援します。	ア. 図書館から学校への配送便を週2回運行し、学校図書館から要望のあった資料の貸出を行います。 イ. 学習テーマに応じた資料セットや郷土学習資料セットのほか、一斉指導や集団読書用に図鑑や絵本・読み物の複本を揃えます。 ウ. 学級文庫用図書を準備し、必要に応じて配本します。	A:充実・進展した	・配送便の運行及び貸出用資料の充実に加え、システムの連携により学校図書館における検索環境を拡充した。 ・令和3年度にはセカンドブックを小学校で配布し、学校における読書指導に活用できるようにするなど、子どもが早期から読書に親しむ環境の充実を図った。	図書館
		⑧市立図書館ホームページ「こどもページ」の活用	子どもの読書活動を支援するための取組について、図書館ホームページで情報を発信します。	ア. 子どもが自分で図書館の蔵書検索ができるようにします。 イ. 子どもの読書活動に関する取組の情報を掲載します。 ウ. 学校図書館の支援に関する取組の情報を掲載します。	B:現状維持	・図書館ホームページ、館内OPACとも子ども用の検索メニューを用意し、子どもが自ら検索できる環境を整備した。 ・図書館ホームページには子ども読書活動推進の取組や学校図書館支援に関する取組について掲載し、情報の発信に努めた。	図書館
		⑨児童館・学童クラブにおける図書の充実	小・中学生が身近なところへ児童館・学童クラブでの図書の充実を図ります。	ア. 児童館・学童クラブでは、計画的に図書の充実を図ることに努めます。 イ. 図書館では、児童館・学童クラブへ団体貸出を行います。	B:現状維持	・児童館・学童クラブでは、新しい図書の購入や図書館のリサイクル図書を配置するなど、随時更新を行った。 ・図書館では、児童館及び学童クラブ等への団体貸出の実施、リサイクル図書の配布等を行った。	児童育成課 図書館
		⑩東京オリンピック・パラリンピック教育「に基づく読書活動」を見据えた読書活動の支援	東京都が推進する「東京オリンピック・パラリンピック教育」に基づく読書活動を支援します。	ア. オリンピック・パラリンピックを理解するための資料の充実を努めます。 イ. 異文化を理解するための資料の充実を図ります。 ウ. 日本の伝統文化が理解できる資料の充実を図ります。	B:現状維持	・学校と連携し、世界ともだちプロジェクトにおける対象の国・地域等の資料の収集と団体貸出を行うなど、オリンピック・パラリンピック教育の推進に資するための支援を行った。	指導室 図書館
		⑪全ての児童・生徒とその保護者へ、それぞれの読書相談及び資料の収集と提供	特別な配慮を必要とする児童・生徒とその保護者へ、それぞれの読書相談及び資料の収集と提供	ア. 学校図書館では、読書補助用具を備え、読みへの抵抗を和らげる手立てを考えます。 イ. 学校図書館では、館内掲示を大きくし、手順をわかりやすく表示するためピクトグラムを添えるなど、文字だけに頼らない工夫をします。 ウ. 学校図書館では、特別支援学級(固定学級)の読書活動を支援する取組に努めます。 エ. 図書館では、バリアフリー関連資料の収集と提供に努めます。 オ. 図書館では、利用支援サービス(障がい者サービス)の案内書を作成し、小・中学校や狛江市市民活動支援センター「こまえくぼ1234」等に配布します。 カ. 図書館では、特別支援学級(固定学級)の施設案内のための来館に対応するとともに、特別な支援を必要とする児童・生徒の職場体験を受入れます。	B:現状維持	・バリアフリーや障がい者理解教育に関する資料を収集するとともに、印刷物や図書館ホームページ等も活用して利用支援サービスについての広報周知を行った。 ・特別支援学級の児童・生徒について、通常学級と併せての施設見学受入を行った。	指導室 図書館

計画の内容			取組の方向性	第三次計画上の具体的取組	評価	取組内容 (H29年度～R3年度)	主な所管
2 小・中学生の読書活動推進	(2)小・中学生の読書活動推進のための諸条件の整備	⑫小・中学生の読書活動の状況調査	狛江市の小・中学生の読書活動の状況を定期的に確認することによって、現状の把握に努めるとともに、読書活動推進を図る取組みの成果を検証します。	ア. 小・中学生の読書活動の状況を調査し、小・中学生の読書活動推進を図る取組の見直しを検討します。	B: 現状維持	・東京都教育委員会が毎年行っている「学校図書館の現状に関する調査」により、貸出冊数や、授業内での活用状況を確認すると共に全国学力・学習状況調査で読書量等の調査を実施し授業等の改善に活用した。	指導室 図書館
3 高校生等の読書活動推進	(1)図書館におけるヤングアダルト(YA)サービスの充実		高校生等が市立図書館で本と親しみ、本を通して学ぶことができるよう、YA 資料の充実を図ります。	ア. YA 世代のさまざまな興味に応えられるよう、各分野の資料を揃えます。また、対象者向けの新着図書などを特集コーナーで積極的に紹介します。	A: 充実・進展した	・アクセスしやすい児童書と一般書の中間となる場所にYA資料コーナーを設置し、各分野の資料について収集及び提供に努めた。 ・中高生にすすめる本を紹介する推薦図書リスト「Enjoy Reading！」を令和2年3月に新規作成し、中高生の身近にあるテーマを中心に選定した資料の紹介を行った。	図書館
	(2)都立狛江高等学校と市立図書館の連携		都立狛江高等学校では、市外から通う生徒も多いため、まず狛江市の図書館について知る機会をつくり、連携のあり方を検討します。	ア. 都立狛江高等学校へ、市立図書館の利用案内を配布します。 イ. イベントのお知らせや「図書館だより」などを配布します。	B: 現状維持	・利用案内や図書館だより、事業報告の配布に加え、高校生を対象とする募集事業等の周知について協力を依頼した。	図書館
	(3)東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた読書活動の支援		東京都が推進する「東京オリンピック・パラリンピック教育」に基づく読書活動を支援します。	ア. オリンピック・パラリンピックを理解するための資料を揃え、提供します。 イ. 異文化を理解するための資料の充実を図ります。 ウ. 日本の伝統文化が理解できる資料の充実を図ります。	B: 現状維持	・オリンピック・パラリンピック教育の推進に関する資料の収集と貸出を行った。 ・一般書展示コーナーにおいて各国別のテーマを定めた展示を行うなど、広範囲の関連資料に接することができるよう努めた。	図書館
	(4)特別な配慮を必要とする青少年とその保護者への読書支援		特別な配慮を必要とする青少年とその保護者へ、それぞれのケースに応じた読書活動の支援を行います。	ア. 図書館では、バリアフリー関連資料の収集と提供に努めます。 イ. 図書館では、利用者支援サービス(障がい者サービス)の案内書を作成し、高等学校や狛江市市民活動支援センター「こまえくぼ1234」等に配布します。	B: 現状維持	・バリアフリーや障がい者理解教育に関する資料を収集するとともに、印刷物や図書館ホームページ等も活用して利用者支援サービスについての広報周知を行った。	図書館
4 地域における読書活動推進	(1)地域で活動するおはなしグループ、ボランティア団体との連携		地域で子どもへの読み聞かせやストーリーテリングなどの読書活動に取り組んでいる団体との連携を図ります。	ア. 地域の団体の活動の把握に努め、近隣の子ども関連施設等に紹介します。 イ. 地域の団体と情報交換を行い、連携のあり方を検討します。	B: 現状維持	・地域の団体の情報を新設された関連施設に周知するなど、交流の促進を図った。 ・図書館活動を支援していただいている地域の団体と定期的な情報交換を行い、連携の推進に努めた。	図書館
4 地域における読書活動推進	(2)子どもと本をつなぐ活動に携わる人の育成		子どもが身近で本と出合える機会をつくるため、地域において、子どもと本をつなぐ活動に携わる人を育成します。	ア. 子どもの読書に関心のある方を対象に「児童行事実技講座」を実施します。 イ. 「児童行事実技講座」受講者を対象に、地域で活躍していただける仕組みを検討します。	A: 充実・進展した	・児童行事実技講座を実施し、おはなし会の作り方や紙芝居の演じ方についての講習を通しておはなし会に携わる人材の養成に努めた。	図書館
	(3)子どもの読書に関する講座等の実施		子どもの読書活動に関する市民の要望に応えた講座や講演会を実施します。	ア. 中央公民館では、「子どもの広場」などで図書館と協力して、積極的にはなし会に参加します。 イ. 図書館では、子ども関連施設や公民館・地域センターと連携し、市民の要望に応えた講座・講演会を実施します。	B: 現状維持	・図書館の特別おはなし会について、「子どもの広場」と協同して参加者の充実を図った。 ・地域センター図書室では子ども1日図書室員を実施し、図書室業務に触れることで図書・読書への活動推進を図った。 ・公民館では、平成30年度まで実施していた「子どもの広場」を廃止し、小・中学生を対象とした数理実験を行う「子どもの実験教室」を実施している。	地域活性課 公民館 図書館
	(4)図書館関連施設職員の情報共有		ア. 地域センターでは、図書館と連携して図書室を運営し、子どもの本を充実するとともに、地域での取組について情報を共有します。 イ. 西河原公民館では、図書館と連携して図書室を運営し、子どもの本を充実するとともに定期的なおはなし会の開催を継続します。	ア. 地域センターでは、図書館と連携して図書室を運営し、子どもの本を充実するとともに、地域での取組について情報を共有します。 イ. 西河原公民館では、図書館と連携して図書室を運営し、子どもの本を充実するとともに定期的なおはなし会の開催を継続します。	B: 現状維持	・「図書館・図書室連絡会」を実施し、図書館と各図書室間の情報共有と課題解決のための連携の充実を図った。 ・各図書室では、図書館と時期を合わせてセカンドブック・サードブック事業対象図書を展示するなど、連携して事業の推進に努めた。 ・西河原図書室においては、絵本の読み聞かせに加えて紙芝居や折り紙、季節の工作など多彩なプログラムを実施しており、平成29年度から平成31年度までの参加者数は毎年度増加している。	地域活性課 公民館 図書館

計画の内容		取組の方向性	第三次計画上の具体的取組	評価	取組内容 (H29年度～R3年度)	主な所管
5 普及・啓発	(1)子ども 読書啓発事 業の取組み	平成15年度に開始したブックスタート事業に続き、子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけをつくり自発的な読書活動につなげるための取組みとして、平成25年4月から、セカンドブック事業を開始しています。	ア. 3・4か月児健康診査の対象者に、ブックスタートを実施します。 イ. 新小学1年生の子どもを対象に、本を贈呈するセカンドブックを実施します。 ウ. 平成29年4月に中学校へ入学する子どもを対象として、新たにサードブック事業を実施します。	A: 充実・ 進展した	・ブックスタート、セカンド・サードブックの各事業を実施したことに加え、令和3年度からセカンドブックを小学校で配布し学校における読書指導に活用できるようにするなど、子どもが早期から読書に親しむ環境の充実を図った。	図書館
	(2)「子ども 読書の日」 に合わせた イベントの 開催	子どもの読書活動の大切さについて、広く市民の関心と理解を深めるため、国の定めた「子ども読書の日」の趣旨にふさわしいイベントを開催します。	ア. 4月23日の「子ども読書の日」にちなみ、子どもの読書に関するイベントを開催します。	A: 充実・ 進展した	・3冊の絵本を中身がわからないよう梱包して貸出をする「ひみつのこづつみ」の実施、来館が困難な期間にはPOPやブックレビューの募集事業を実施するなど、子ども読書活動の推進に繋がる各種事業を実施した。	図書館
	(3)家庭に おける読書 活動の推奨	子どもの読書活動を習慣づけるためには、乳幼児期をはじめとして、最も身近な場所である家庭で本に親しむことが有効です。家庭における読書を推奨します。	ア. 乳幼児の保護者に向けて、図書館の利用案内を配布します。 イ. 読み聞かせに向く絵本のリストを作成し、配布します。 ウ. 「児童行事実技講座」等の講座・講演会を実施します。	B: 現状 維持	・乳幼児の親子での図書館利用方法等に関する案内の配布、各種推薦図書リストの配布により、家庭における読書活動の支援に努めた。 ・ブックスタートや児童行事実技講座において、絵本の読み聞かせ方法や紙芝居の演じ方についての周知啓発を図った。	図書館

○第三次計画における関連施設を対象とした取組状況

狛江市の子ども関連施設（小・中学校、公立保育園、児童センター・児童館、学童保育所、子ども家庭支援センター、各地域センター・公民館）において、第三次に掲げる取組の達成状況を【できている／どちらともいえない／できていない】の三段階で調査しました。

計画の内容	取組の方向性	第三次計画上の具体的取組	取組の達成状況（回答施設数）			取組施設		
			できている	どちらともいえない	できていない			
1 乳幼児期の読書活動推進	③各施設による取組み	乳幼児関連のイベントを開催し、地域交流の機会がもてるよう努めます。	ア. 地域のおはなしグループによるおはなし会などを積極的にを行います。	6	1	2	児童センター・児童館 子ども家庭支援センター 各地域センター 公民館	
			イ. 乳幼児の保護者を対象とした講座や講演会を企画します。	1	1	7		
		④保育園における読書活動の充実	乳幼児が日々の生活の中で本に親しむために、保育園における読書活動の充実を図ります。	ア. 乳幼児の発達に適した蔵書の充実に努めます。	1	2		保育園
				イ. 図書館の団体貸出を活用します。	4			
				ウ. 保育士は、日常の保育の中で継続して読み聞かせを行います。	4			
	エ. 地域のおはなしグループによる読み聞かせやおはなし会を企画します。		1	3				
	オ. 地域交流(地域の未就学児とその保護者を対象にした行事)において、積極的に乳幼児が本に触れる機会を設けます。		2	2				
	(2)乳幼児期の読書活動推進のための諸条件の整備	③各施設における読書活動の広報	各関連施設における絵本の読み聞かせ等の読書活動について、保護者の目に留まるような広報に努めます。	ア. 狛江市子育てポータルサイト「こまえ子育てねっと」を活用します。		1	7	児童センター・児童館 各地域センター 公民館
				イ. 各施設のイベント情報案内等で広報を行います。	6		2	
		④保育園における図書の実と保育士の研修	乳幼児が身近なところで本と親しむために、図書の充実を図り、職員との研修を行います。	ア. 計画的に図書の充実を図ることに努めます。	1	3		保育園
イ. 図書館の団体貸出や配本サービスを活用します。				4				
ウ. 保育士同士の情報交換や研修の機会を設けます。				1	2	1		
2 小・中学生の読書活動推進	①児童・生徒の読書活動のさらなる展開	各学校の特色に応じた読書活動の充実と展開を図ります。	ア. 「狛江 本の森 学校図書館活用ノート」や「ようこそ本の世界へ」等を活用します。	7	3		小・中学校	
			イ. 児童・生徒が読書する時間の確保に努め、一冊を読み通す達成感を体験させるための読書イベント等を企画実施します。	9	1			
			ウ. 児童・生徒の興味関心や発達段階に応じて、自ら本を選び読書の幅を広げるための展示や掲示を工夫します。	10				
			エ. 自ら友達や同世代に向けて読書の楽しさを発信する活動を通じ、児童・生徒同士が交流できるよう取り組みます。	10				
			オ. 委員会活動では、校内において学校図書館が身近な学びの場であることが伝わる活動に取り組みます。	9	1			

計画の内容		取組の方向性	第三次計画上の具体的取組	取組の達成状況（回答施設数）			取組施設	
				できている	どちらともいえない	できていない		
2 小・中学生 の読書活動 推進	(1)小・中 学生の読 書活動 推進	②資料を 使った課題 解決の支 援	児童・生徒が楽しく 読書するだけでなく、各教科・領域や 総合的な学習の時間 に活用できる学校 図書館を目指し ます。	ア. 児童・生徒が課題を解決 するための手助けとなるよう な資料を揃え、資料の使い 方など、必要な指導や助言 を行います。	10			小・中学校
			イ. 学校の夏季休業期間中 の宿題や自由研究を支援し ます。	10				
		④児童館・ 学童保育 所におけ る読書活 動の推進	小・中学生が身近 なところで本と親し むために、児童館・ 学童保育所での読 書活動の充実を図 ります。	ア. 児童館・学童保育所 では、職員等による読み聞か せの時間をもつとともに、地 域のおはなしグループによる おはなし会を企画します。	2	3	3	児童センター・児童館 学童クラブ
			イ. 図書館の団体貸出を活 用します。	1	3	4		
	(2)小・中 学生の読 書活動推 進のため の諸条件 の整備	①学校図 書館の蔵 書構成及 び更新	児童・生徒が身近 な場所で本と親し むとともに、各教 科・領域や総合的 な学習の時間に利 用しやすい蔵書構 成を目指した蔵書 の充実と更新を図 ります。	ア. 児童・生徒の読書意欲を かきたてる資料を揃えるた め、資料の購入費を確保し、 計画的な購入に努めます。	10			小・中学校
				イ. 各教科や総合的な学習 の時間に利用するための資料 の選択・収集に努めます。	10			
				ウ. 学級文庫用図書の実 施に努めます。	7	2	1	
				エ. 不必要になった資料の定 期的な払い出しや除籍を行 い、蔵書の更新・補充に努め ます。また、そのための除籍 の基準を検討します。	10			
		②学校図 書館シス テムの運 用	学校図書館シス テムの運用により、 貸出・返却・予約・ 統計・蔵書点検等 の業務を円滑に行 います。	ア. 学校司書や司書教諭へ の操作研修を実施します。	3	6	1	小・中学校
				イ. 学校図書館の運営に各 種統計を参照するため、分 類等の共通化に努めます。	9	1		
	③学校図 書館設 備の充 実	学校図書館が、児 童・生徒にとって安 全で親しみやすく 心の居場所である とともに、学習や読 書活動に役立つ 環境整備を図りま す。	ア. 児童・生徒の利用動線に 配慮し、書架配置や案内表 示の見直しを行います。	10			小・中学校	
			イ. 空間の確保、椅子・本棚 等の不足や老朽化への対応 に努めます。	7	3			
ウ. 児童への読み聞かせス ペース、生徒が集中して学習 できる机の配置等の工夫に 努めます。			8	2				
エ. 児童・生徒が自ら蔵書を 検索できるOPAC端末等の 設置を検討します。			1		9			
④学校図 書館連 絡協 会の開 催、研 修の 実施	学校図書館の運 営には、利用指導計 画を立案し実践す る司書教諭と、そ れをサポートする 学校司書の連絡調 整が欠かせませ ん。司書教諭の資 質と能力の向上に 取組み、専門的な 知識・経験を深め るための実務研修 を行います。また、 校長は司書教諭や 学校司書と協力 し、学校図書館の 業務が円滑に行わ れるよう努めます。	ア. 校内に学校図書館活用 委員会を設置し、学校全体で 学校図書館を活用します。	4	2	4	小・中学校		
		イ. 学校図書館の運営に必 要な能力を司書教諭が身に つけるための研修の機会を つくります。	2	2	6			
		ウ. 小・中学校の司書教諭と 学校司書が、連携を図るた めの合同連絡協議会を開 催します。	8	1	1			
		エ. 学校図書館の校内運 営及び学校間の連携のあり 方について協議し、共有ガイ ドラインを作成します。	1	4	4			

計画の内容	取組の方向性	第三次計画上の具体的取組	取組の達成状況（回答施設数）			取組施設	
			できている	どちらともいえない	できていない		
2 小・中学生の読書活動推進	⑤学校図書館と市立図書館の情報共有	小・中学生の読書活動の推進を図るため、学校図書館と市立図書館は情報を共有します。また、学校図書館の運営が円滑に行われるよう、学校図書館及び図書館との連絡体制を整備するとともに実務に必要な研修を実施します。	ア. 学校図書館連絡協議会へ図書館職員が参加し、情報共有を行います。	4	3	3	小・中学校
			イ. 小・中学校の学校司書と図書館職員が、連携を図るための学校司書・図書館司書連絡会を開催します。	5	2	2	
			ウ. 図書館ホームページ上の掲示板を、各学校図書館及び図書館との情報共有に活用します。	2	3	5	
			エ. 業務を円滑に行うための、学校図書館実務マニュアルの作成をします。	2	4	4	
			オ. 業務を行うために必要なことを学べるような実務研修を実施します。	1	2	6	
			⑩東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた読書活動の支援	東京都が推進する「東京オリンピック・パラリンピック教育」に基づく読書活動を支援します。	ア. オリンピック・パラリンピックを理解するための資料の充実に努めます。	10	
	イ. 異文化を理解するための資料の充実に努めます。	10					
	ウ. 日本の伝統文化が理解できる資料の充実に努めます。	10					
	⑪全ての児童・生徒とその保護者のための読書相談及び資料の収集と提供	特別な配慮を必要とする児童・生徒とその保護者へ、それぞれのケースに応じた読書活動の支援を行います。	ア. 学校図書館では、読書補助用具を備え、読みへの抵抗を和らげる手立てを考えます。	4	2	4	小・中学校
			イ. 学校図書館では、館内掲示を大きくし、手順をわかりやすく表示するためビクトグラムを添えるなど、文字だけに頼らない工夫をします。	4	4	2	
			ウ. 学校図書館では、特別支援学級（固定学級）の読書活動を支援する取組に努めます。	3	5	1	
	4 地域における読書活動推進	(3)子どもの読書に関する講座等の実施	ア. 中央公民館では、「子どもの広場」などで図書館と協力して、積極的におはなし会に参加します。			1	公民館
イ. 図書館では、子ども関連施設や公民館・地域センターと連携し、市民の要望に応えた講座・講演会を実施します。				2	3	各地域センター 公民館	
(4)図書関連施設職員の情報共有			ア. 地域センターでは、図書館と連携して図書室を運営し、子どもの本を充実するとともに、地域での取組について情報を共有します。	4	1		各地域センター 公民館

※ その他、各施設よりご意見が寄せられた子どもの読書活動の推進に対する課題・問題点等（自由記述）

- ・ 子どもの絵本購入のための予算が少額。廃棄図書をクラスに置いている。ありがたいことではあるが、選べる環境ではない。（保育園）
- ・ 図書の充実については、毎年の絵本購入のための予算が足りないため、引き続き配本サービスを活用したり、予算増額について課と相談させていきたい。（保育園）
- ・ 図書についての情報交換は常に行っているが、研修については日中はなかなか参加させられる体制が取りにくい現状がある。（保育園）

- ・ 予算に限りがあるため、十分に本を購入することができない。(児童センター)
- ・ 子どもたちが本を読みたいと、より本に興味をもってもらうにはどう取り組みればよいのか悩んでいる。(児童センター)
- ・ 児童が各自好きな本を好きな時間に読んでいるため読み聞かせの時間は作っていない。(学童保育所)
- ・ 進められる本などがあつたら進めたり紹介する時間を作っていきたい。(学童保育所)
- ・ 団体貸出しの取り組みを引き続きお願いしていただけるとありがたいです。(学童保育所)
- ・ 中・高学年が好む本がほとんどない。予算では足りない。貸出でも足りない、量が多くなり管理が難しい。(学童保育所)
- ・ 不要な中・高学年向きの本を優先でいただけるとありがたいと思っております。(学童保育所)
- ・ 廃棄図書を優先的に譲っていただきありがとうございます。本を購入する予算がないため助かっています。(学童保育所)
- ・ 週一回水曜日閉館しているので、クラス数の多い本校では図書室の割り当てで司書さんと連携できないクラスが出てしまう。クラス数など学校規模を考慮した司書さんの勤務体制を整えてほしいです。(学校)
- ・ 学校図書館活用ノート本の森を学年と協同で学習の中に更に活かすことが出来るよう工夫が必要だと思います。(学校)
- ・ 2(2)④イ・エ、⑤イ・エ等、市内学校司書共通の研修の場やマニュアルガイドラインが無いため、各校蔵書、廃棄基準等かなりのバラつきが予想されます。(学校)
- ・ 各学校図書館の運営が個人の資質や努力に負っている部分が多いと感じています。(学校)
- ・ 特別支援学級の児童を含め、読書が苦手な児童に対して細やかな支援を行いたいが、時間やマンパワーが伴わない。(学校)
- ・ 特別支援学級の担当教員と司書の間で連携をとれるよう、連絡会など持ちたいが難しい。(学校)
- ・ 小学校高学年～中学生・高校生の利用が少ないので、利用を増やしたいなと思います。(地域センター)
- ・ 年に一度図書室の本を利用しながら夏休み子ども教室を開催しています。季節の行事の本や乳幼児向けの本のコーナーで積極的に展示もしています。おはなし会・講座等は、本図書室は狭く、また定期的にセンターの部屋を確保するのは難しい状況で開催していません。(地域センター)
- ・ 落ちついて読書するスペースを設けることがむずかしい。中高生の利用がとても少ない。(地域センター)

○市立小・中学校に在籍する児童・生徒を対象としたアンケート調査結果

小・中学生が日ごろどのように読書や図書館について接しているのかを把握するために、下記のとおりアンケート調査を実施しました。

【有効回答総数：2,044件（対象者数4,405人 有効回答率46.40%）】

※ 狛江市立小・中学校に在籍する【小学校2年生から中学校3年生までの児童・生徒】を対象として実施

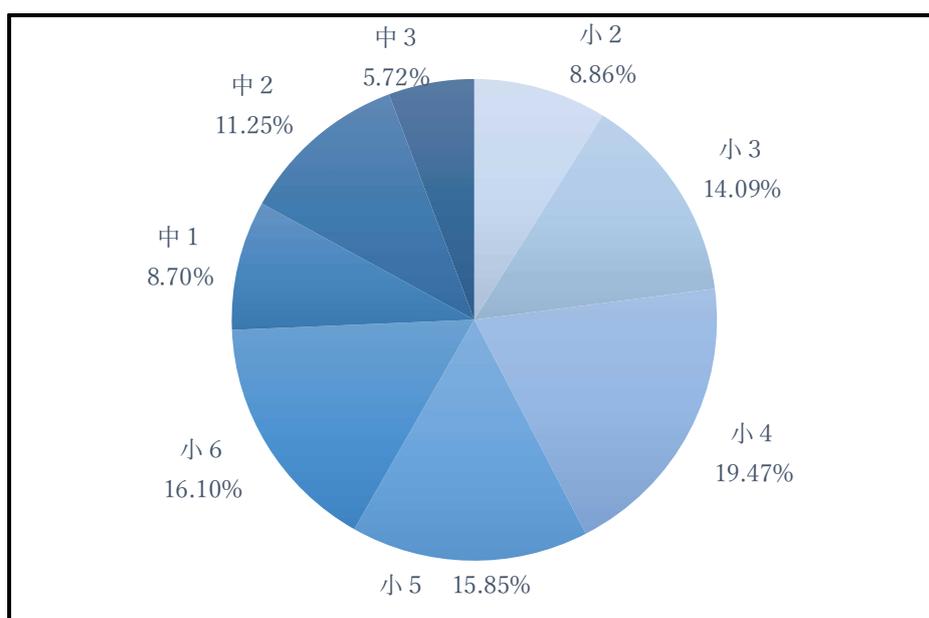
※ 調査期間は令和3年10月12日から10月31日まで

※ 上記対象者数は令和3年5月1日時点の児童生徒数（小2～中3）で算出

※ グラフ中の割合（%）は四捨五入しているため合計が100%にならないことがある

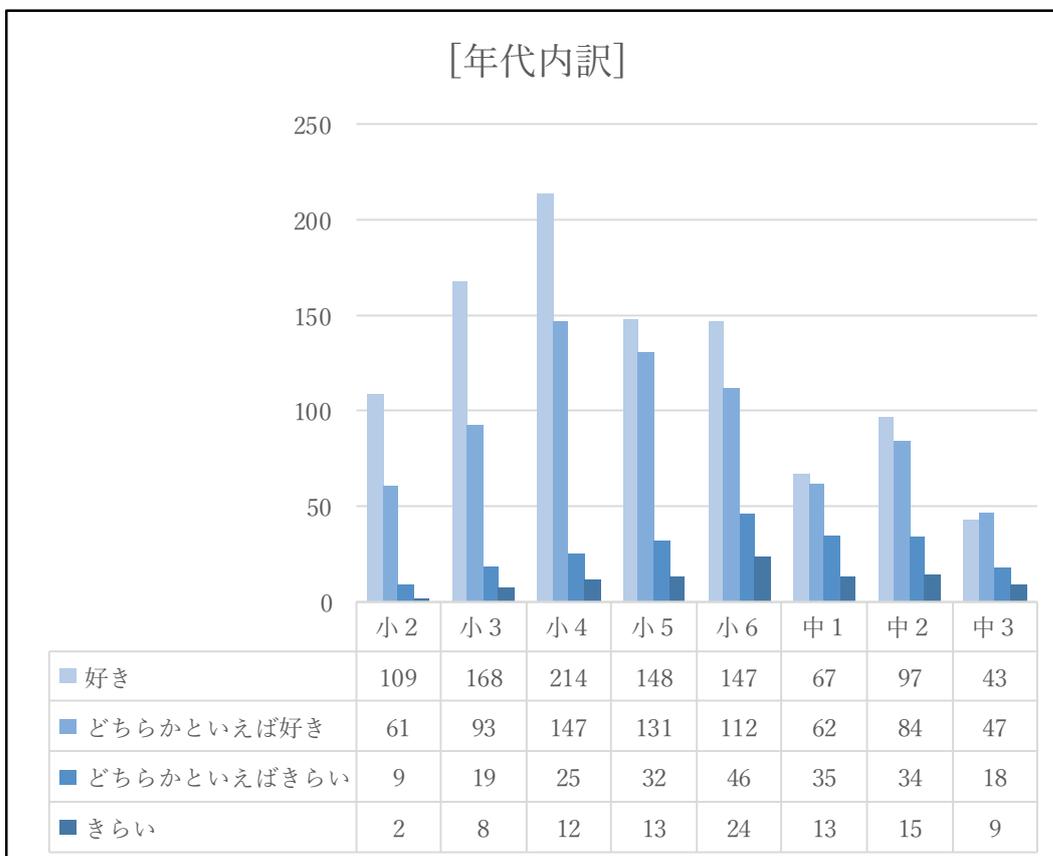
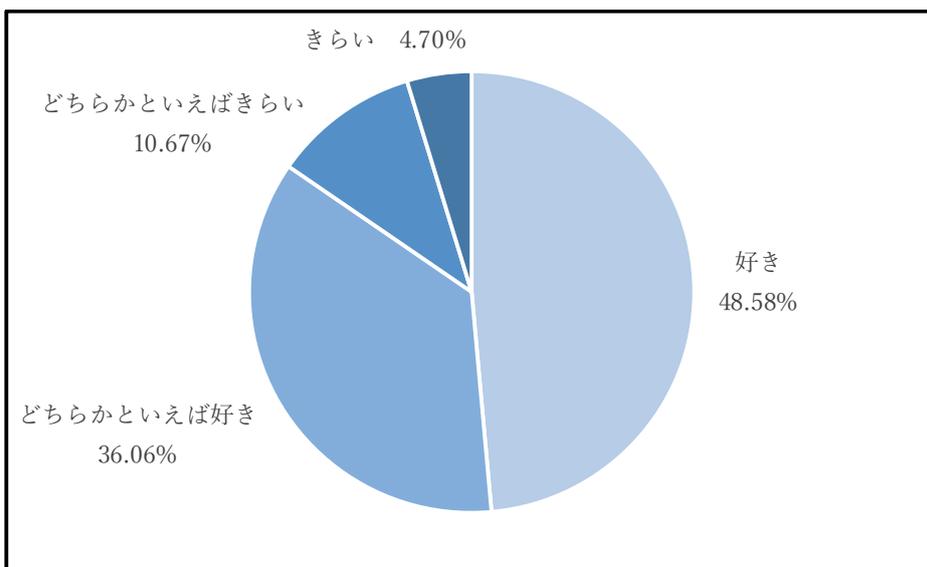
①あなたは何年生ですか

- ・小学校2年 **181件**
- ・小学校3年 **288件**
- ・小学校4年 **398件**
- ・小学校5年 **324件**
- ・小学校6年 **329件**
- ・中学校1年 **177件**
- ・中学校2年 **230件**
- ・中学校3年 **117件**



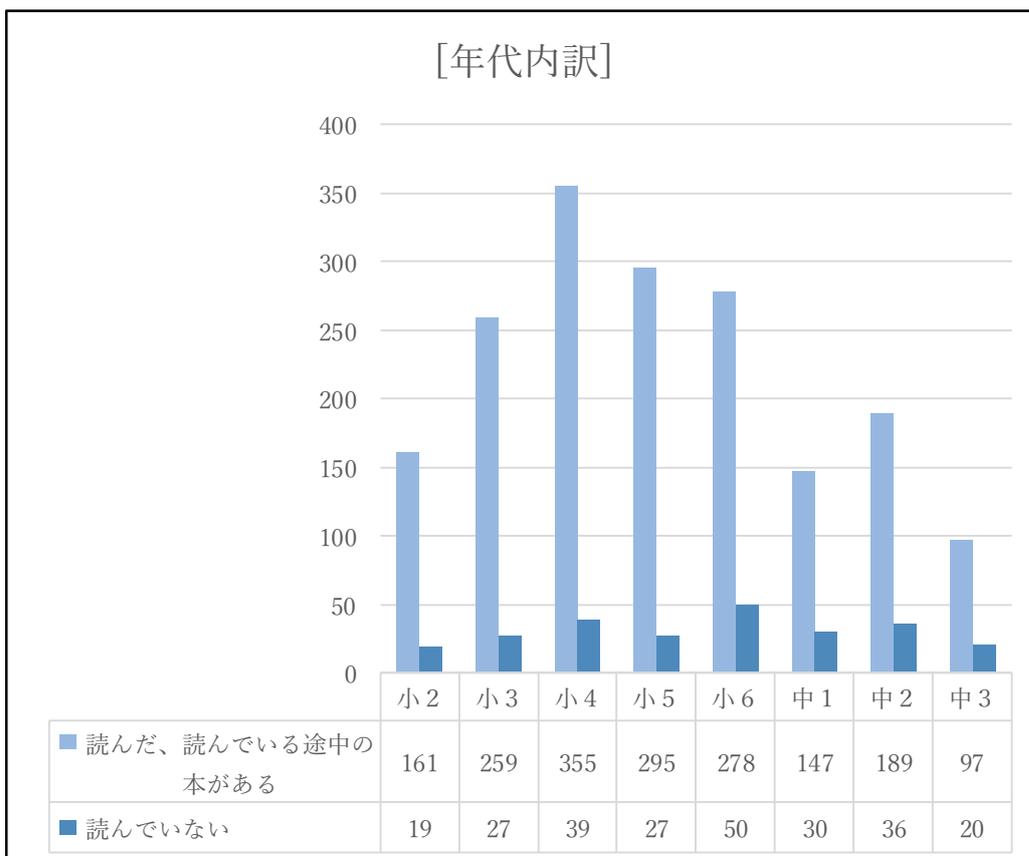
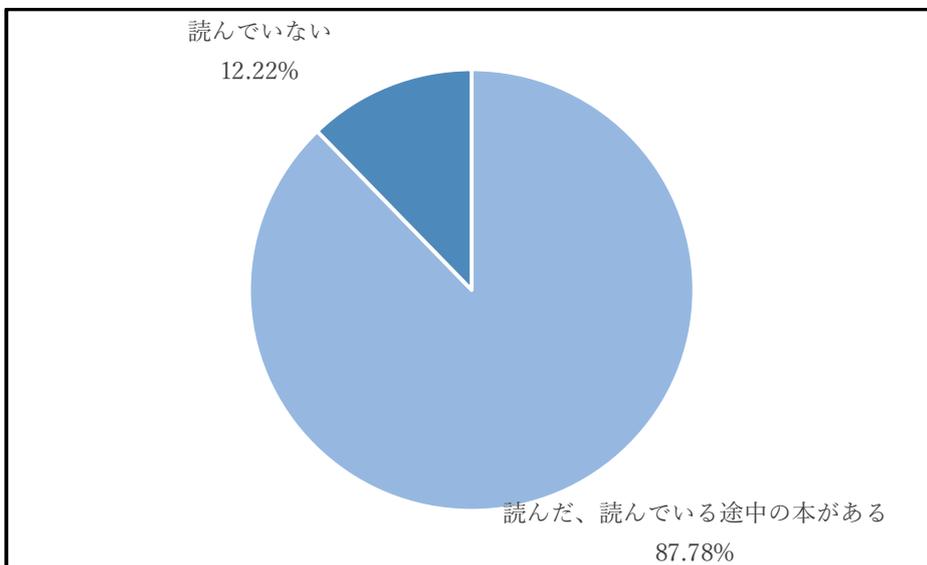
②本を読むことは好きですか

- ・好き 993件
- ・どちらかといえば好き 737件
- ・どちらかといえばきらい 218件
- ・きらい 96件



③この3か月間で、学校の授業以外で本（電子書籍を含みます）を読みましたか

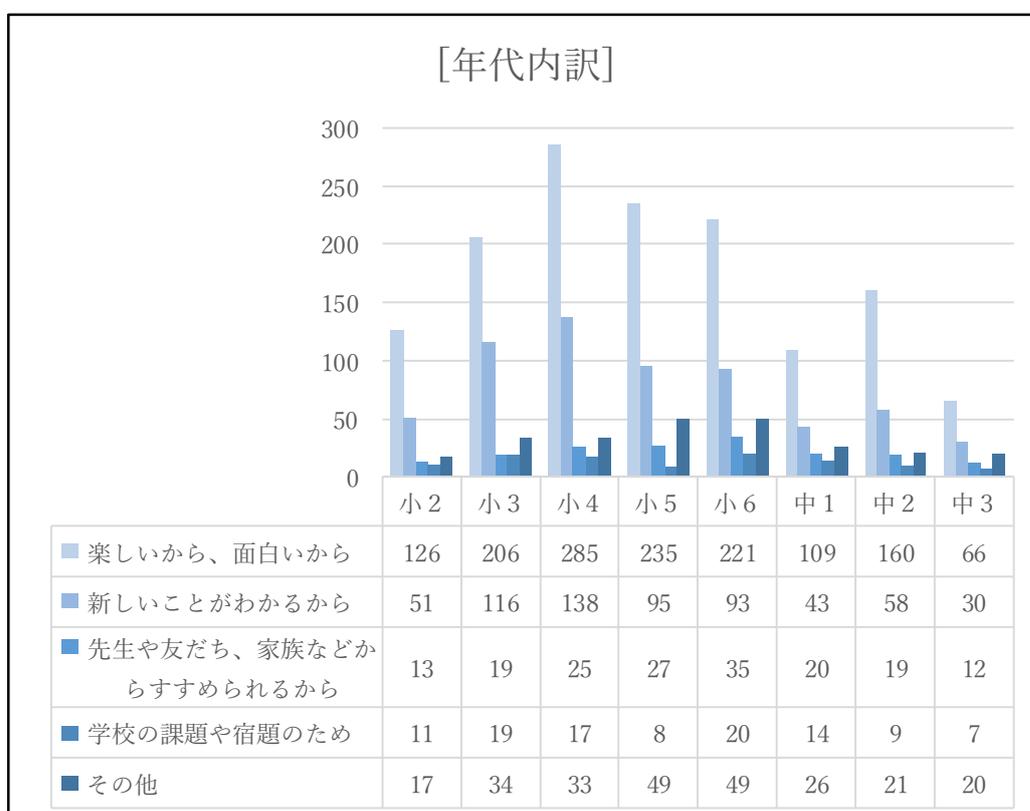
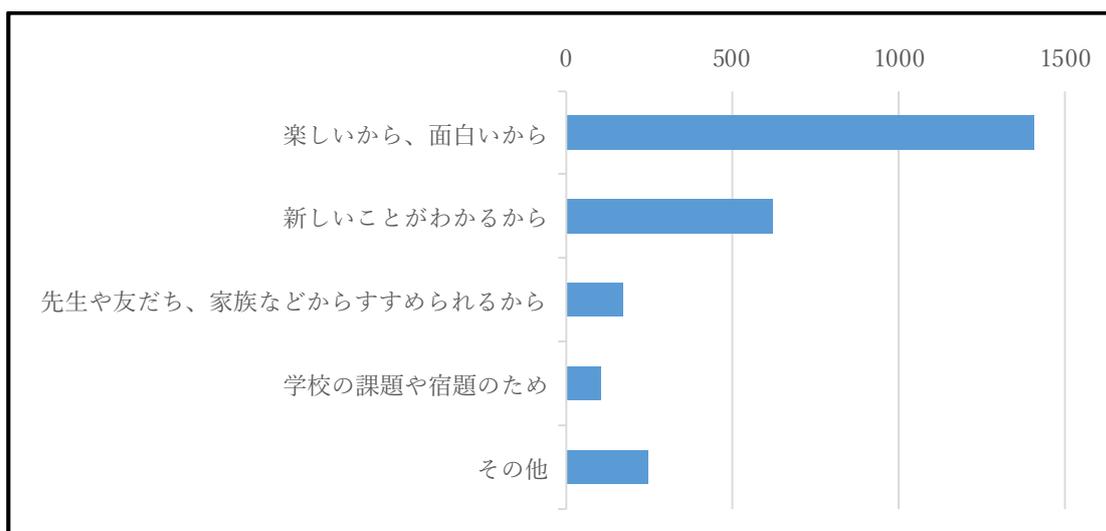
- ・ 読んだ、読んでいる途中の本がある 1,781 件
- ・ 読んでいない 248 件



④ (③で「読んだ、読んでいる途中の本がある」の場合)

あなたが本を読む理由は何ですか ※複数回答

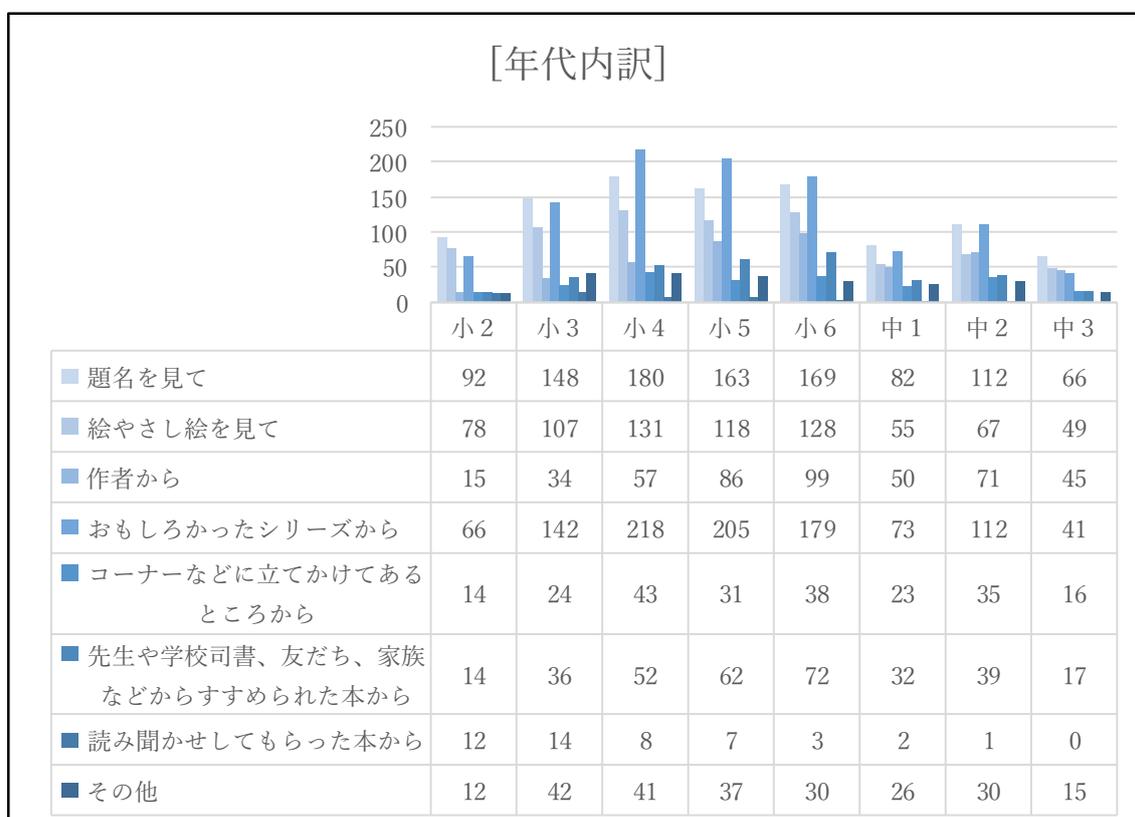
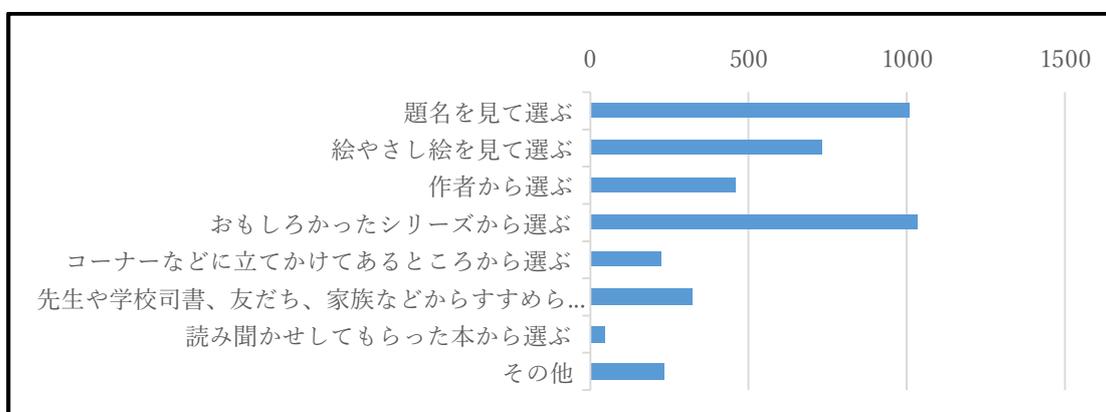
- 楽しいから、面白いから **1,408 件**
- 新しいことがわかるから **624 件**
- 先生や友だち、家族などからすすめられるから **170 件**
- 学校の課題や宿題のため **105 件**
- その他 **249 件**



⑤ (③で「読んだ、読んでいる途中の本がある」の場合)

あなたは本を選ぶときどうしていますか ※複数回答

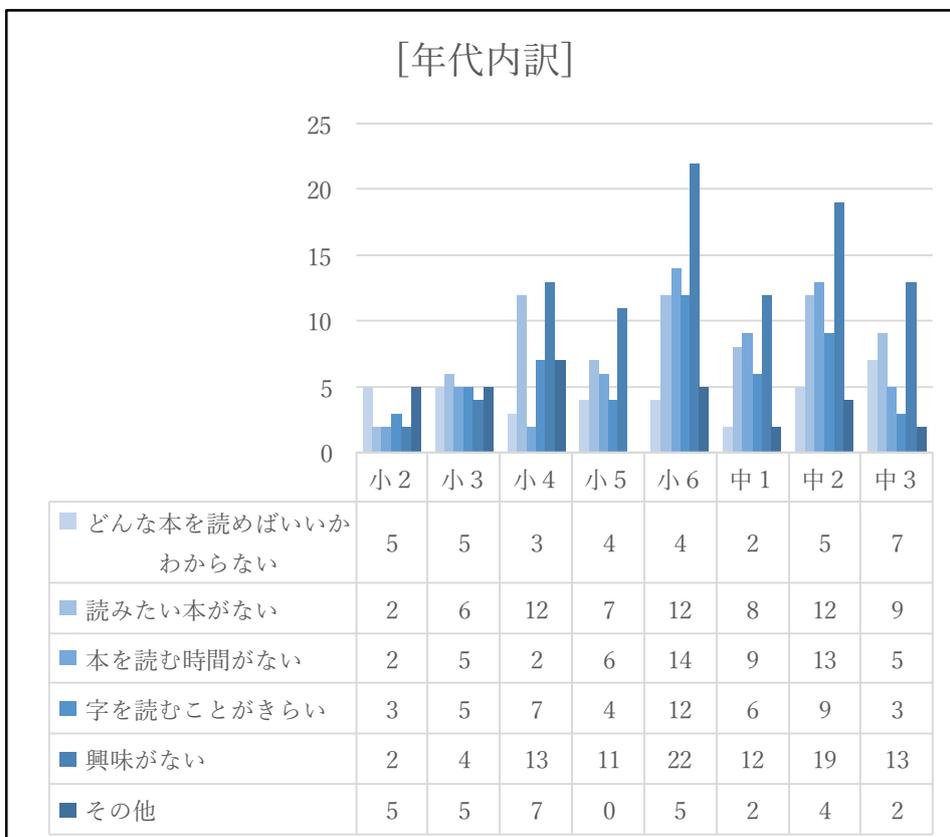
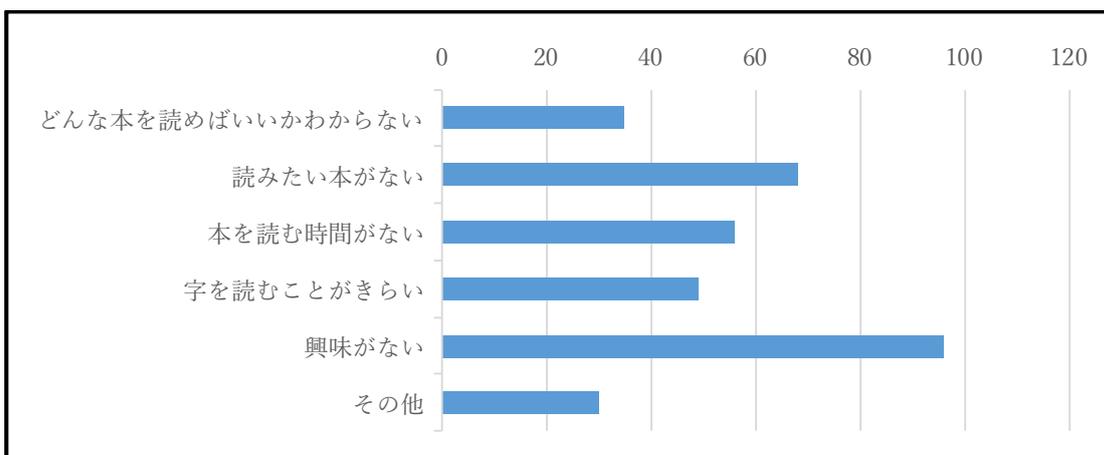
- 題名を見て選ぶ **1,012 件**
- 絵やさし絵を見て選ぶ **733 件**
- 作者から選ぶ **457 件**
- おもしろかったシリーズから選ぶ **1,036 件**
- コーナーなどに立てかけてあるところから選ぶ **224 件**
- 先生や学校司書、友だち、家族などからすすめられた本から選ぶ **324 件**
- 読み聞かせしてもらった本から選ぶ **47 件**
- その他 **233 件**



⑥ (③で「読んでいない」の場合)

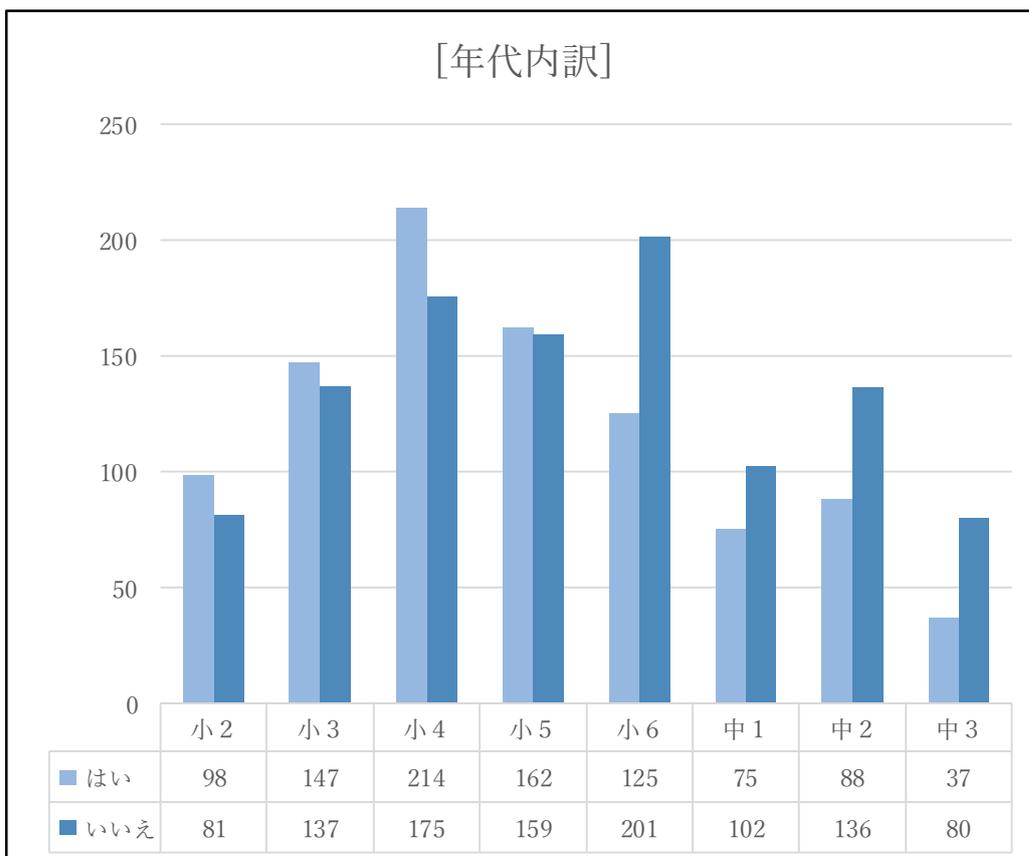
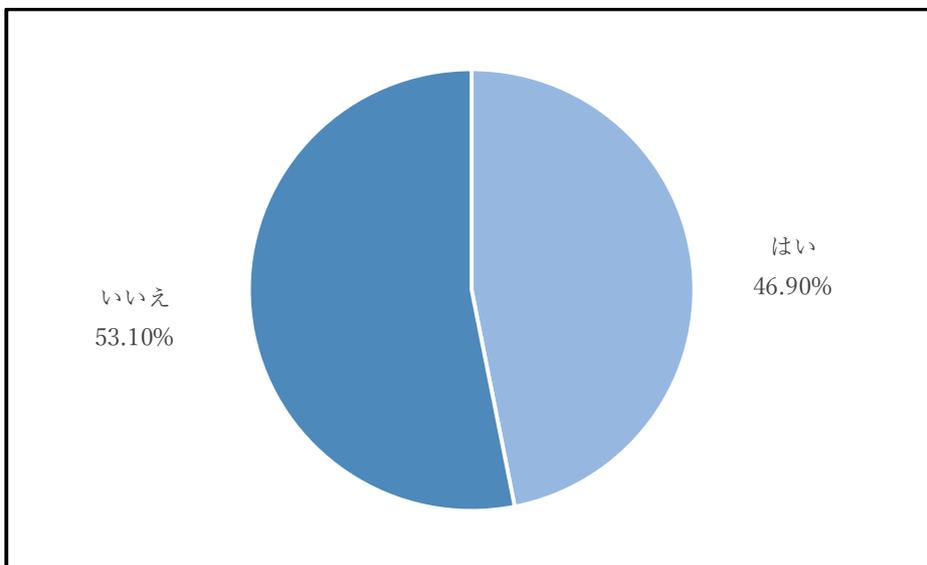
本を読んでいない理由は何ですか ※複数回答

- どんな本を読めばいいかわからない 35件
- 読みたい本がない 68件
- 本を読む時間がない 56件
- 字を読むことがきらい 49件
- 興味がない 96件
- その他 30件



⑦この3か月間で、学校の授業以外で学校図書館を利用しましたか

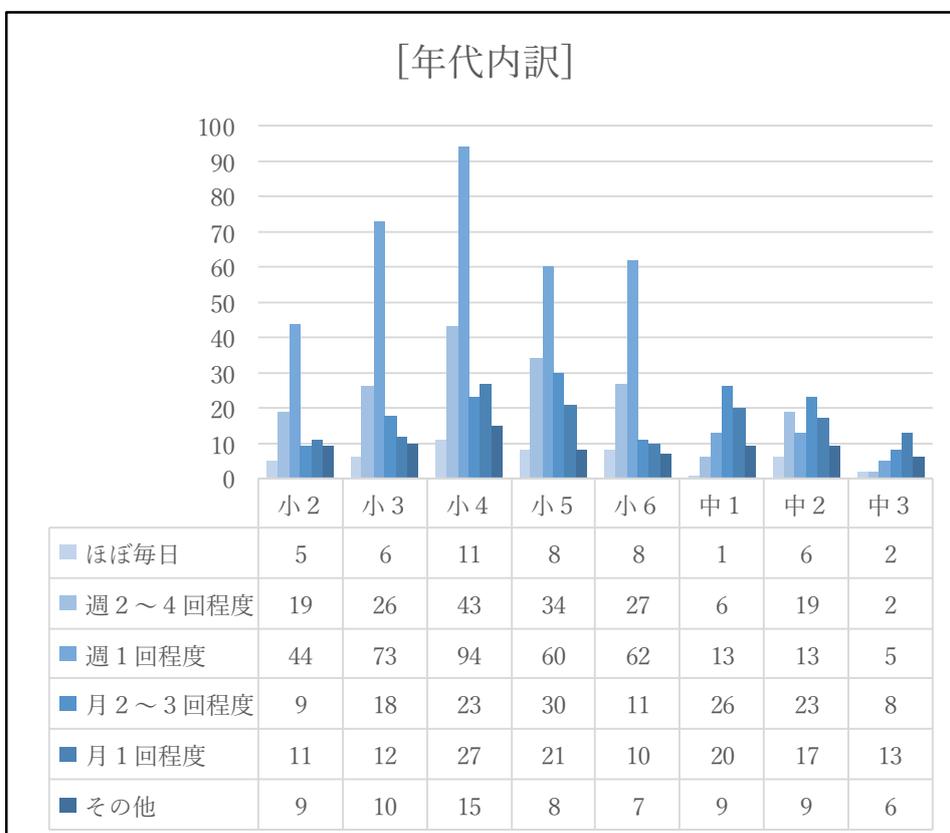
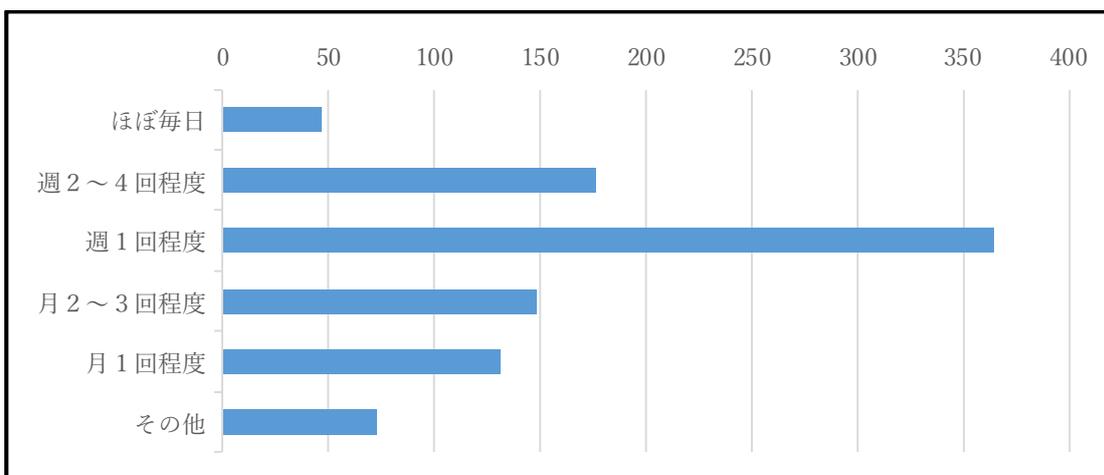
- ・はい 946件
- ・いいえ 1,071件



⑧ (⑦で「はい」の場合)

学校図書館をどのくらい利用しますか

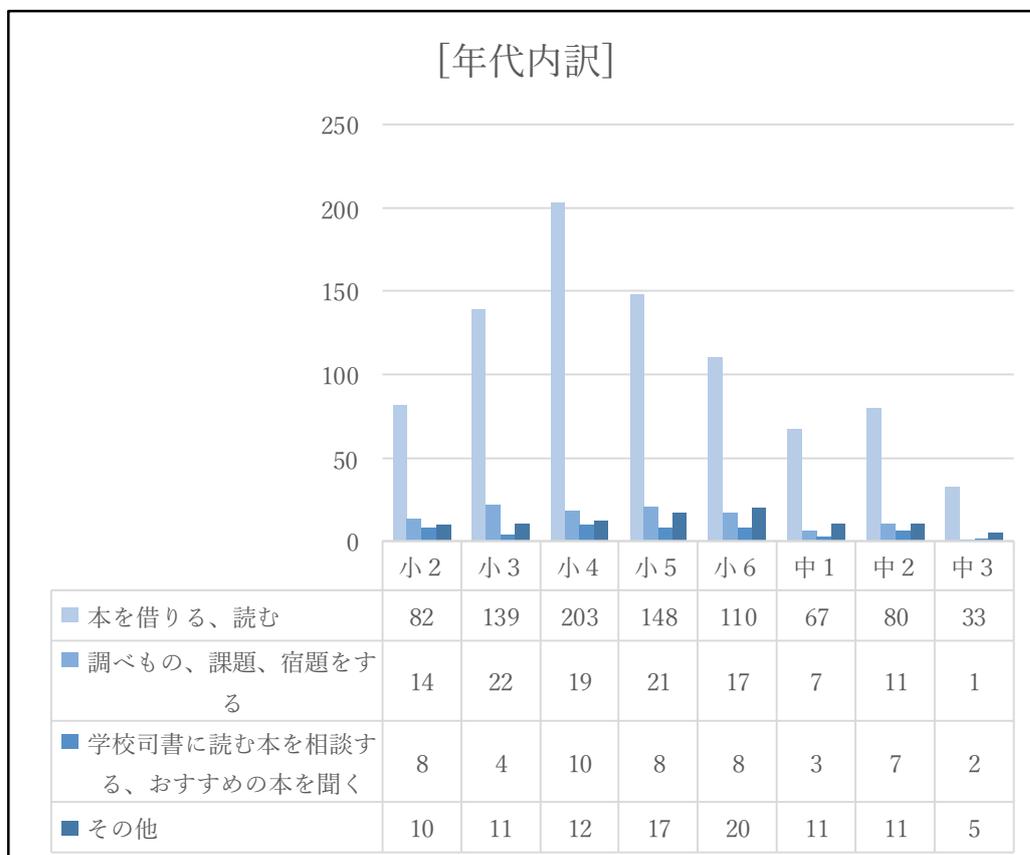
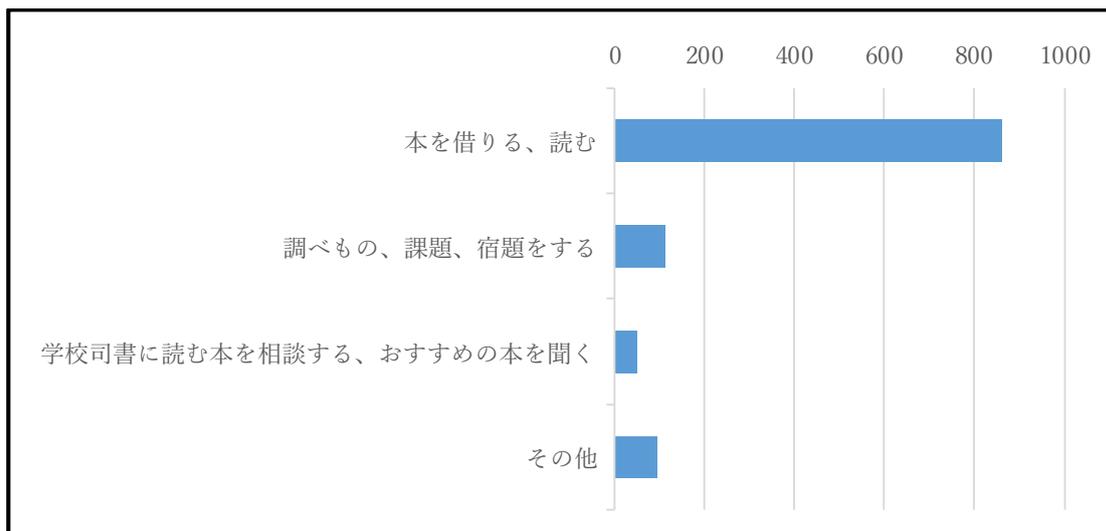
- ・ほぼ毎日 47件
- ・週2～4回程度 176件
- ・週1回程度 364件
- ・月2～3回程度 148件
- ・月1回程度 131件
- ・その他 73件



⑨ (⑦で「はい」の場合)

学校図書館でどのような利用をしますか ※複数回答

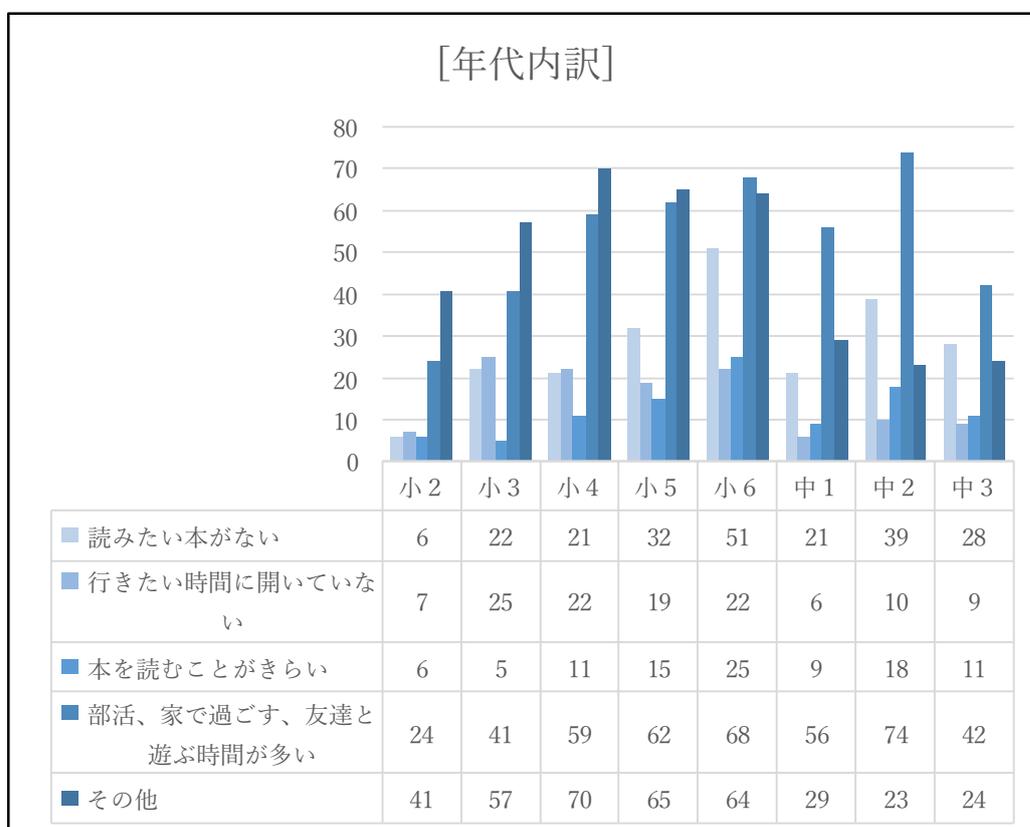
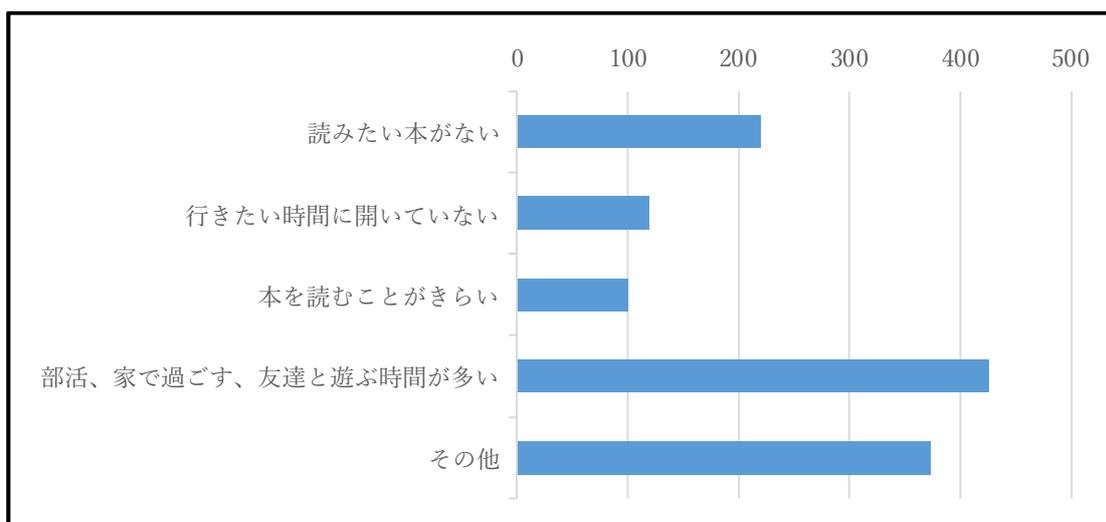
- 本を借りる、読む **862件**
- 調べもの、課題、宿題をする **112件**
- 学校司書に読む本を相談する、おすすめの本を聞く **50件**
- その他 **97件**



⑩ (⑦で「いいえ」の場合)

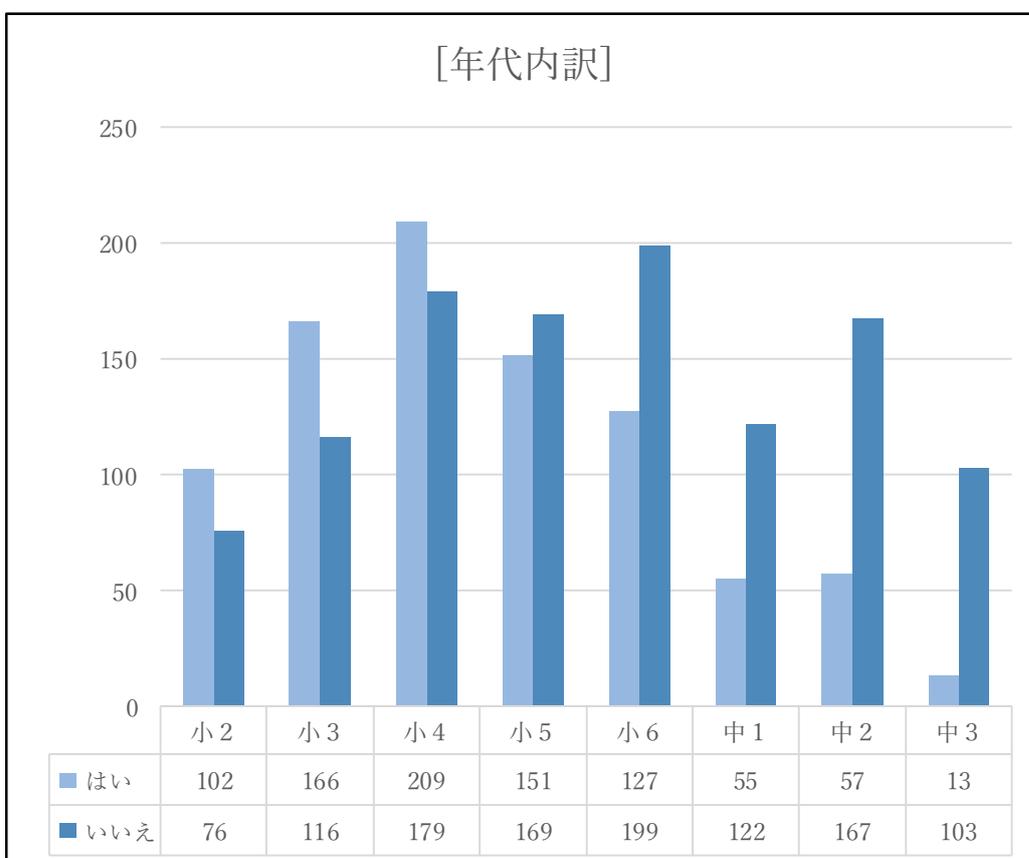
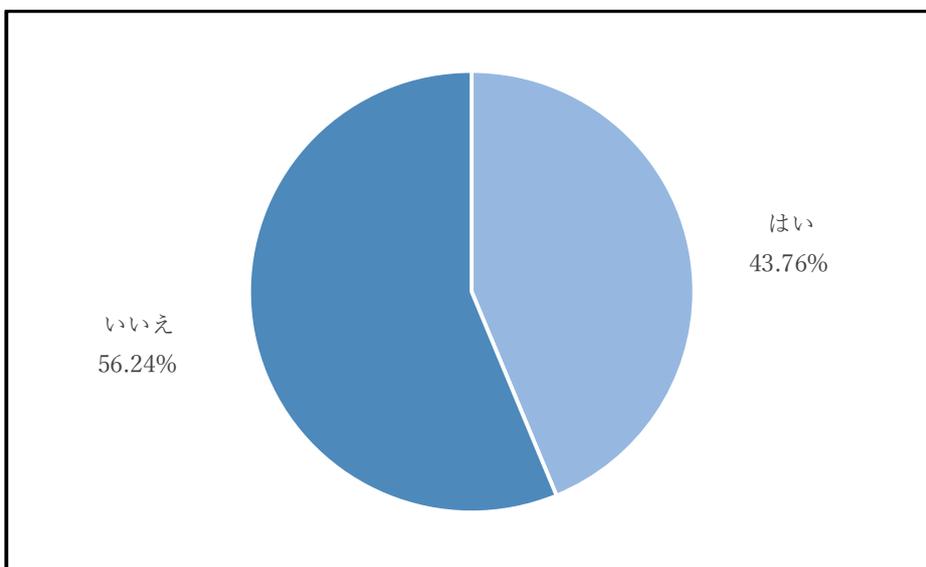
学校図書館を利用しない理由は何ですか ※複数回答

- 読みたい本がない **220件**
- 行きたい時間にかいていない **120件**
- 本を読むことがきらい **100件**
- 部活、家で過ごす、友達と遊ぶ時間が多い **426件**
- その他 **373件**



⑩この3か月間で、学校以外の図書館（狛江市や調布市の図書館・地域センターの図書室など）を利用しましたか

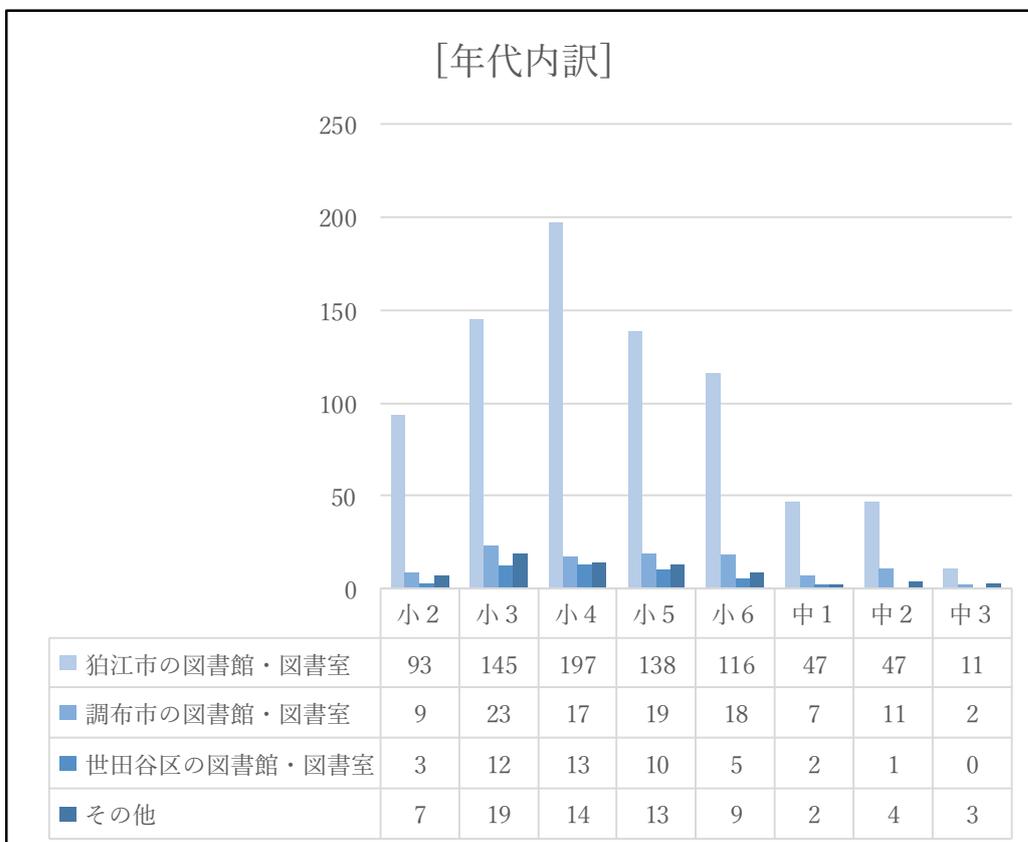
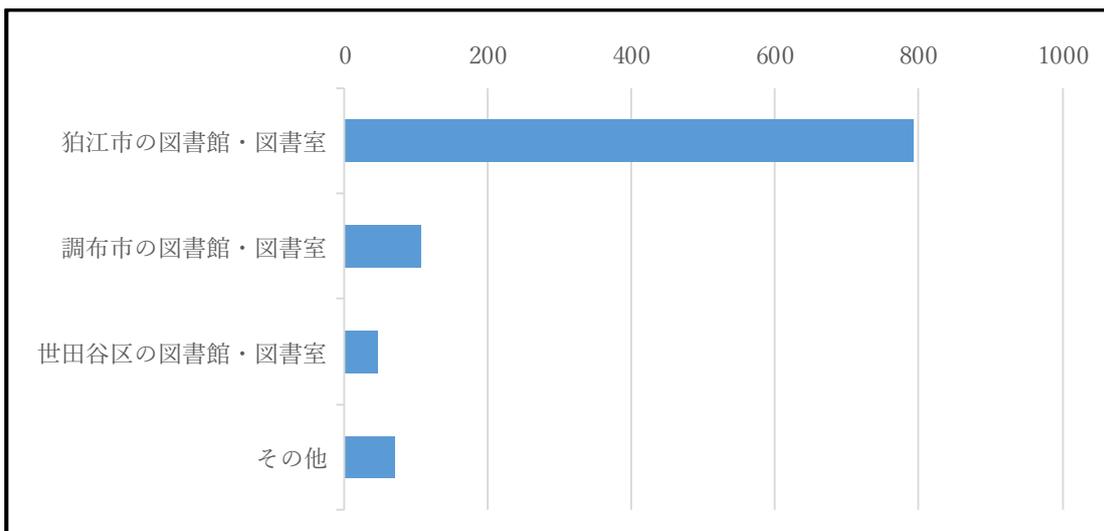
- ・はい 880件
- ・いいえ 1,131件



⑫ (⑪で「はい」の場合)

利用したことがある図書館はどこですか ※複数回答

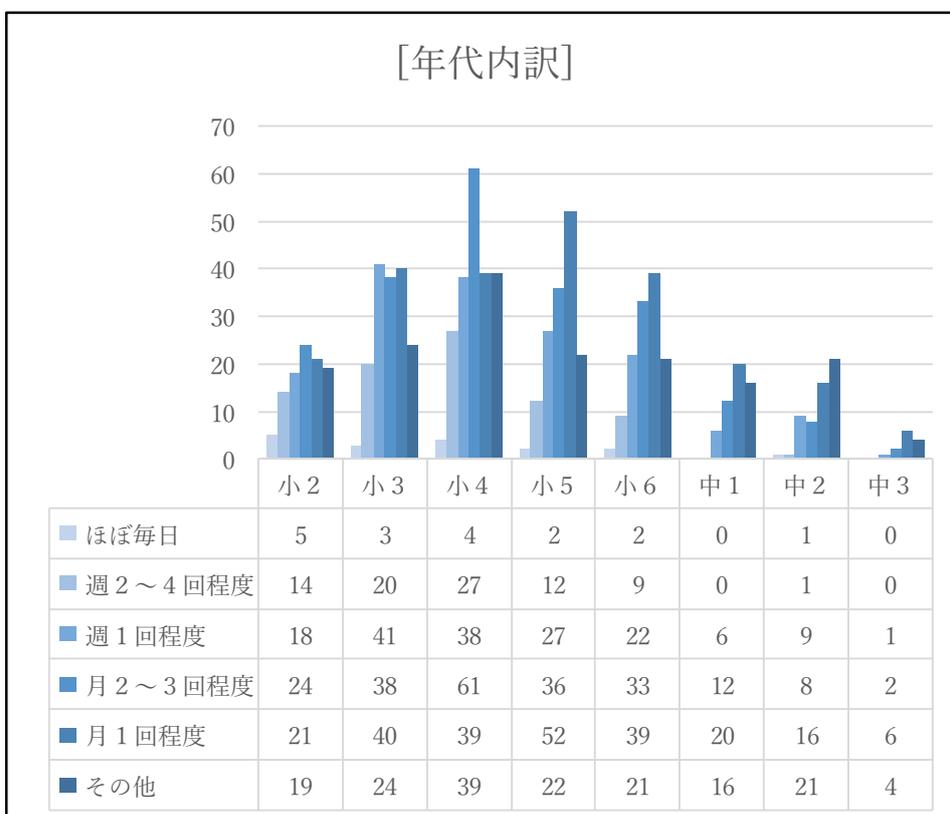
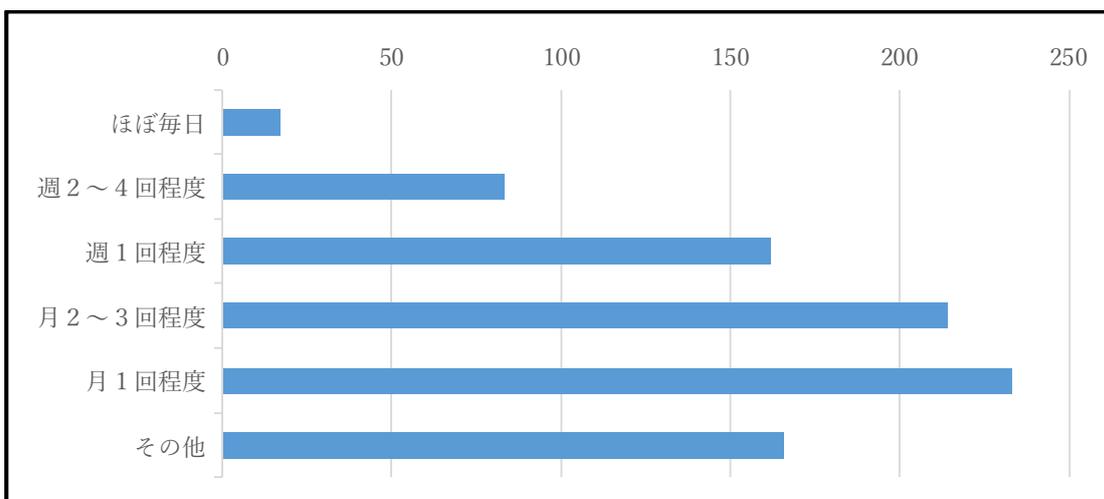
- 狛江市の図書館・図書室 **794件**
- 調布市の図書館・図書室 **106件**
- 世田谷区の図書館・図書室 **46件**
- その他 **71件**



⑬ (⑪で「はい」の場合)

学校以外の図書館をどのくらい利用しますか

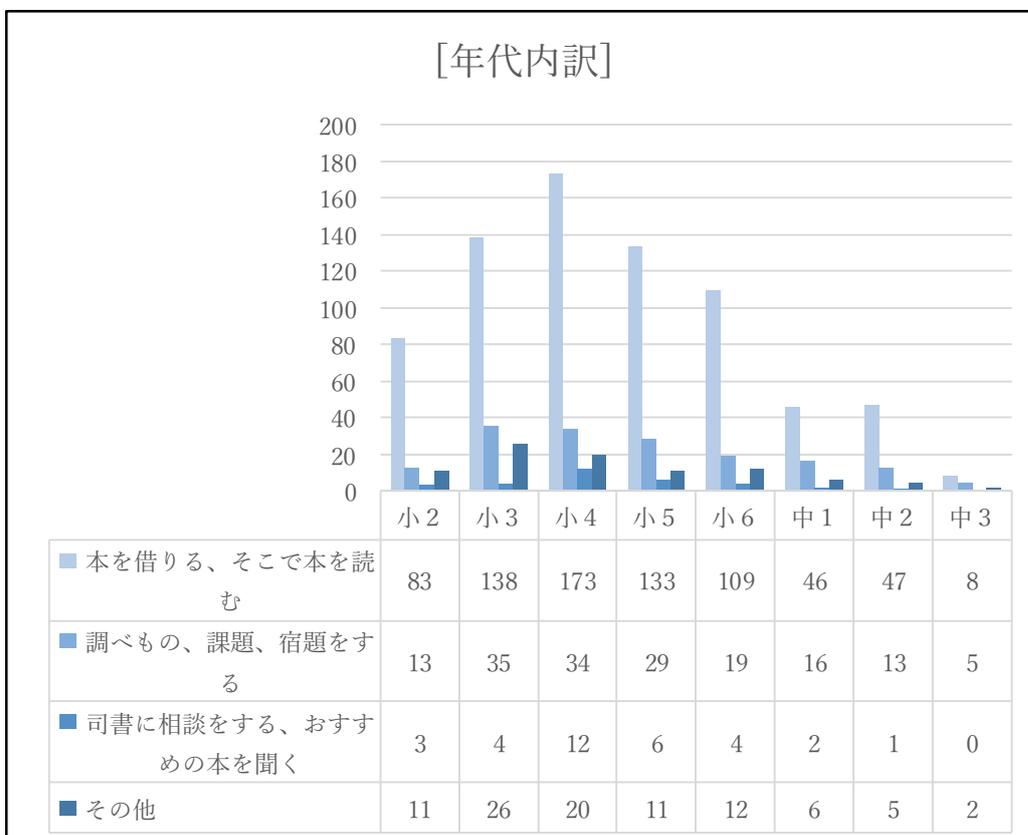
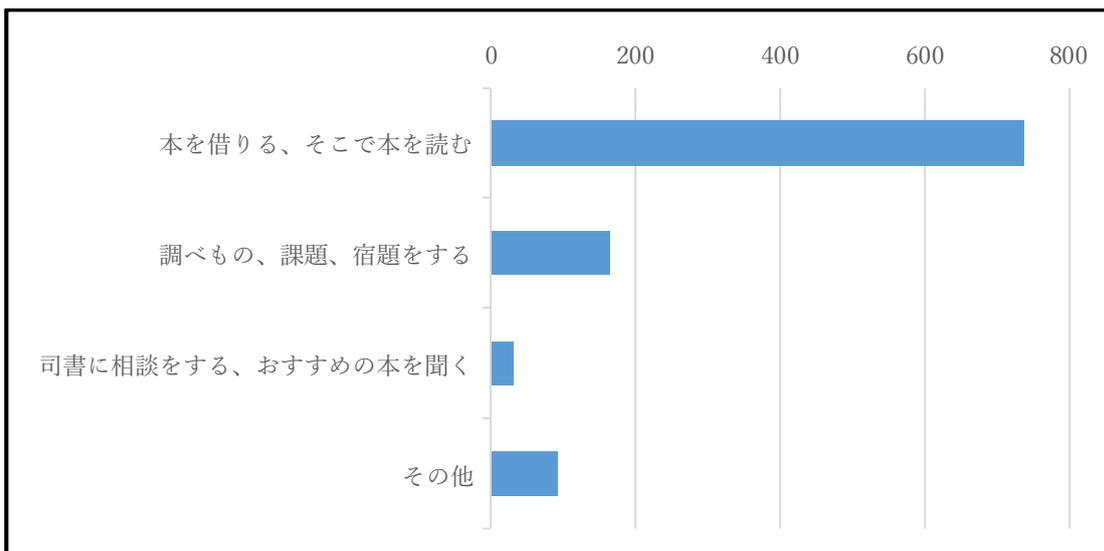
- ・ほぼ毎日 17件
- ・週2～4回程度 83件
- ・週1回程度 162件
- ・月2～3回程度 214件
- ・月1回程度 233件
- ・その他 166件



⑭ (⑪で「はい」の場合)

学校以外の図書館でどのような利用をしますか ※複数回答

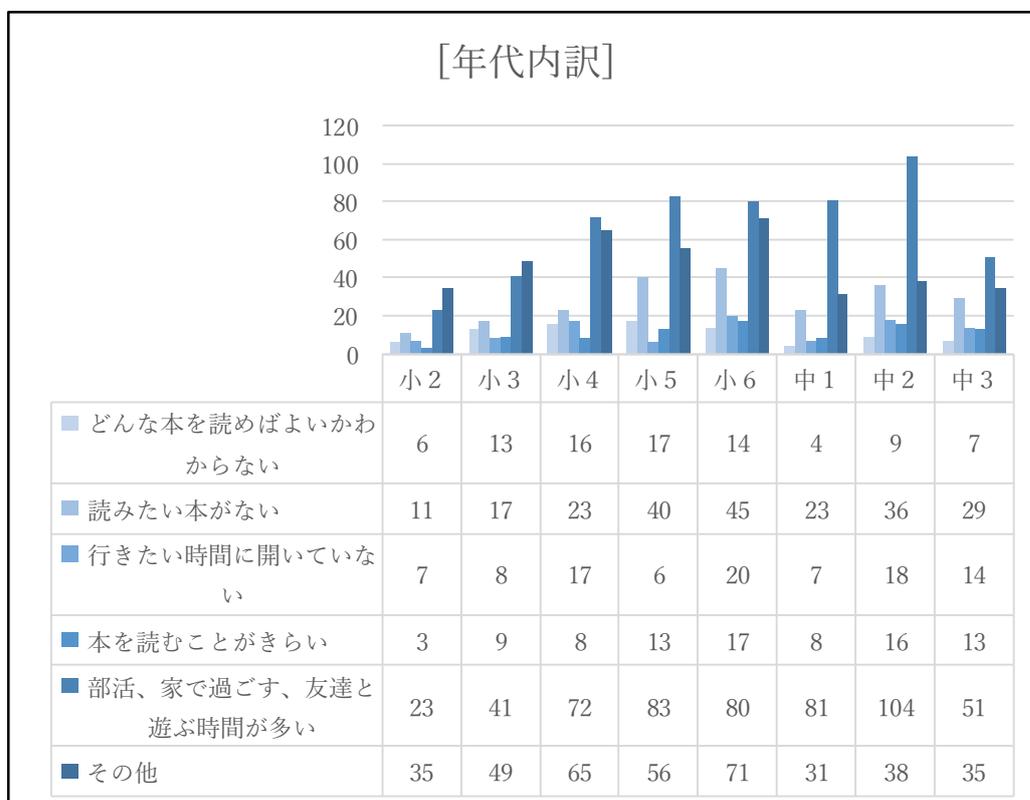
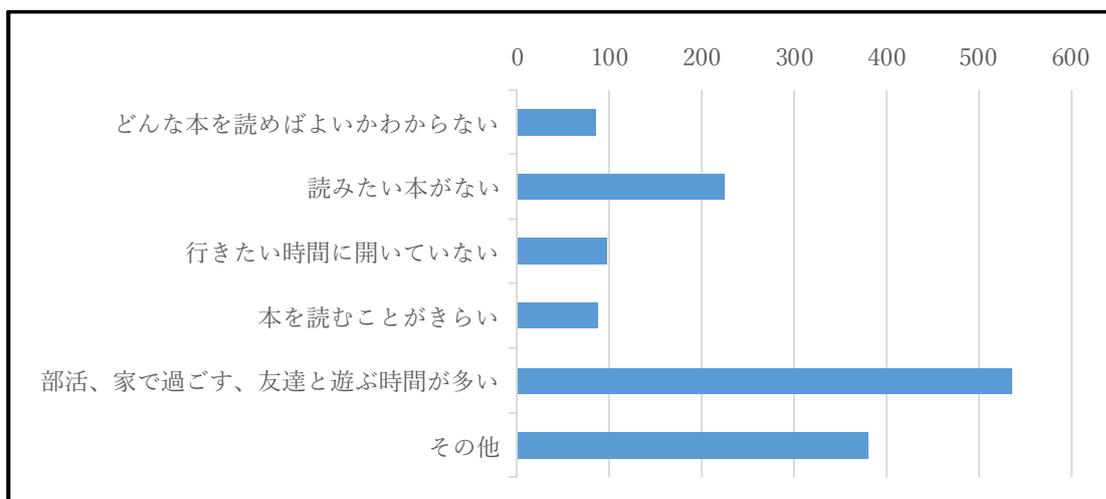
- 本を借りる、そこで本を読む **737件**
- 調べもの、課題、宿題をする **164件**
- 司書に相談をする、おすすめの本を聞く **32件**
- その他 **93件**



⑮ (⑪で「いいえ」の場合)

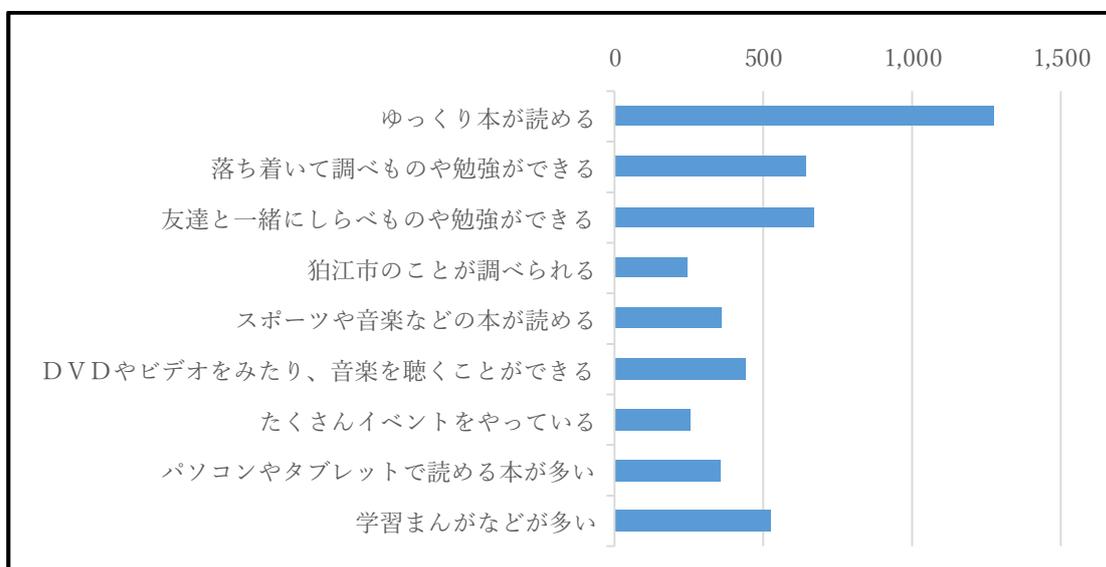
学校以外の図書館を使わなかった理由は何ですか ※複数回答

- どんな本を読めばよいかわからない 86件
- 読みたい本がない 224件
- 行きたい時間に関いていない 97件
- 本を読むことがきらい 87件
- 部活、家で過ごす、友達と遊ぶ時間が多い 535件
- その他 380件



⑩**狛江市の図書館でできるとよいと思うものを選んでください ※複数回答**

- ゆっくり本が読める **1,274 件**
- 落ち着いて調べものや勉強ができる **643 件**
- 友達と一緒にしらべものや勉強ができる **672 件**
- 狛江市のことが調べられる **242 件**
- スポーツや音楽などの本が読める **360 件**
- DVDやビデオをみたり、音楽を聴くことができる **441 件**
- たくさんイベントをやっている **258 件**
- パソコンやタブレットで読める本が多い **356 件**
- 学習まんがなどが多い **527 件**



○未就学児の保護者を対象としたアンケート調査結果

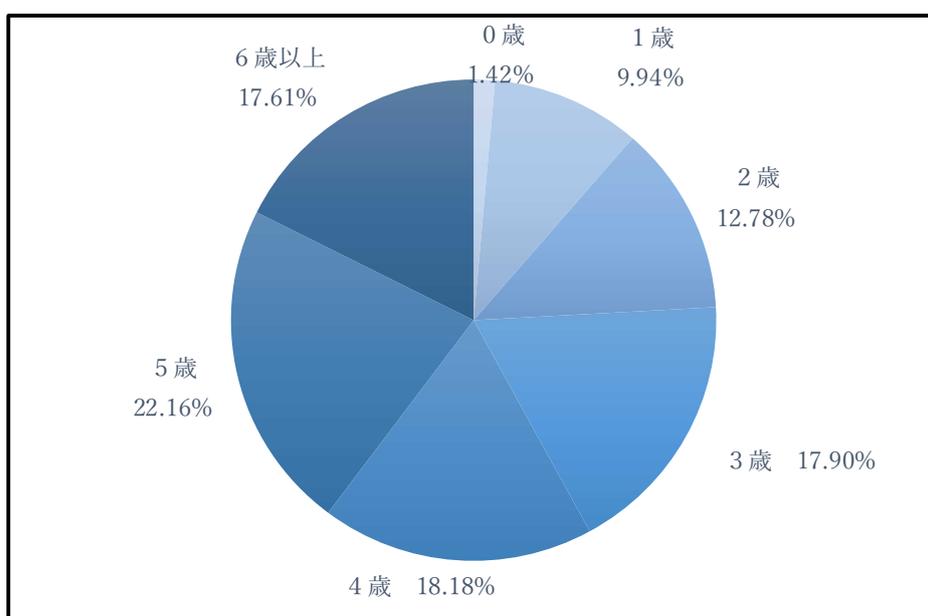
未就学児やその保護者の方が日ごろどのように読書活動や図書館について接しているのかを把握するために、下記のとおりアンケート調査を実施しました。

【有効回答総数：352件】

- ※ 市内の関連施設（図書館・図書室・保育園・幼稚園・児童センター・児童館・保育所・認定こども園・ひだまりセンター）において、未就学児の保護者の方へ周知
- ※ 調査期間は令和3年10月29日から11月23日まで
- ※ グラフ中の割合（％）は四捨五入しているため合計が100%にならないことがある

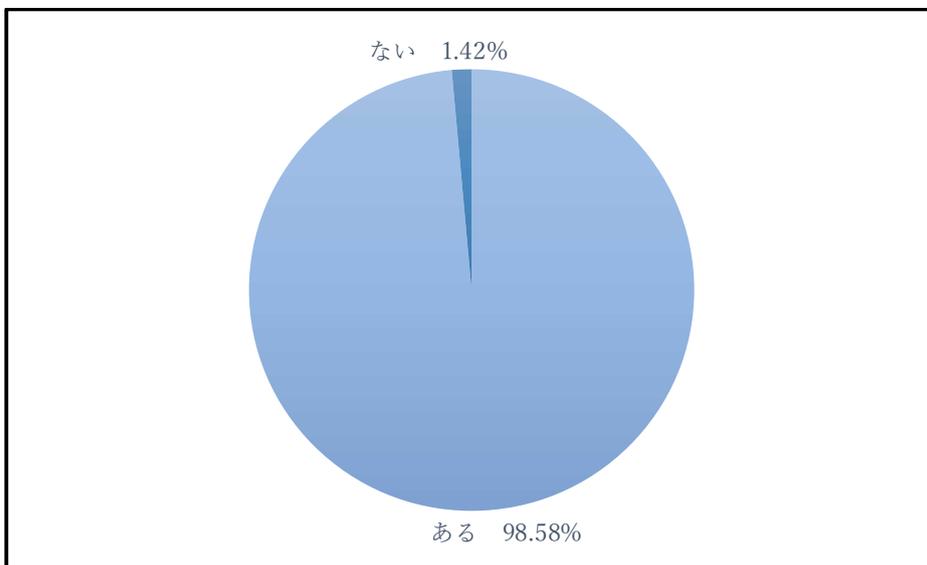
①お子さんの年齢はおいくつですか

- ・ 0歳 5件
- ・ 1歳 35件
- ・ 2歳 45件
- ・ 3歳 63件
- ・ 4歳 64件
- ・ 5歳 78件
- ・ 6歳以上 62件



② お子さんは絵本を読んでもらったり、ひとりで本を読んだりすることがありますか

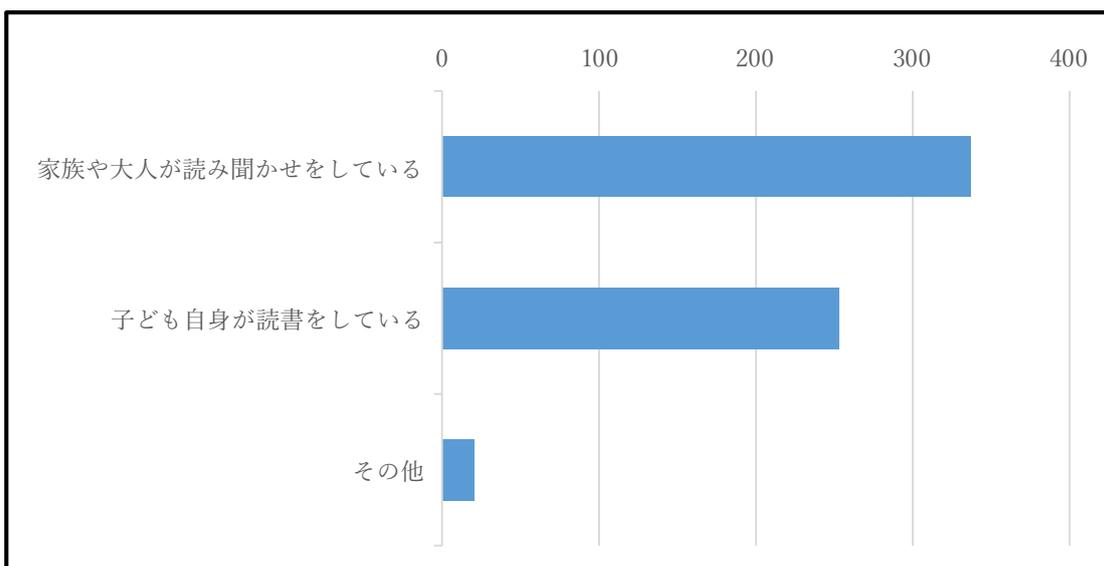
- ・ある 347件
- ・ない 5件



③ (②で「ある」の場合)

どのような方法で絵本を読んでもらったりひとりで読んだりしていますか ※複数回答
答

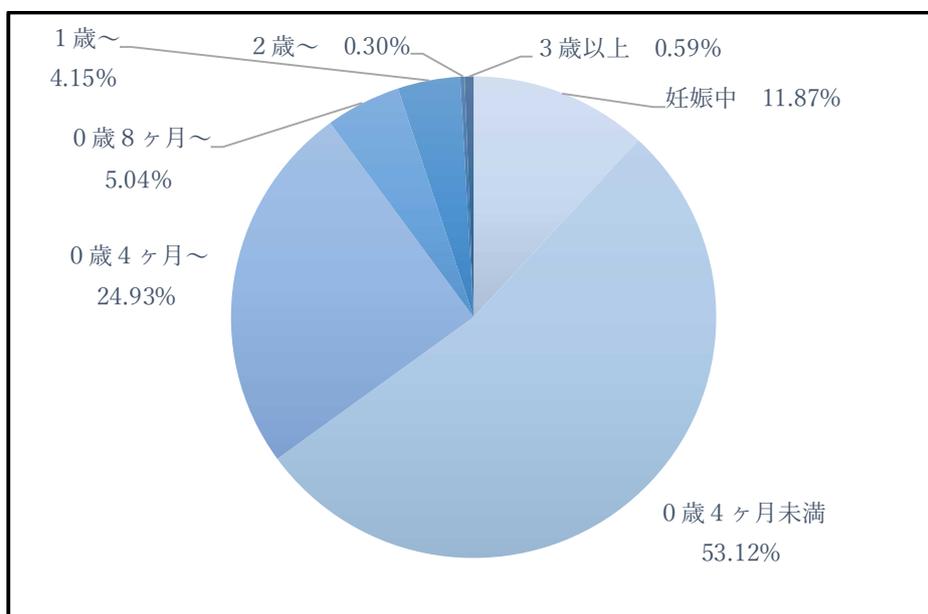
- 家族や大人が読み聞かせをしている 337件
- 子ども自身が読書をしている 253件
- その他 21件



④ (③で「読み聞かせをしている」の場合)

お子さんにはじめて読み聞かせをしたのはいつ頃ですか

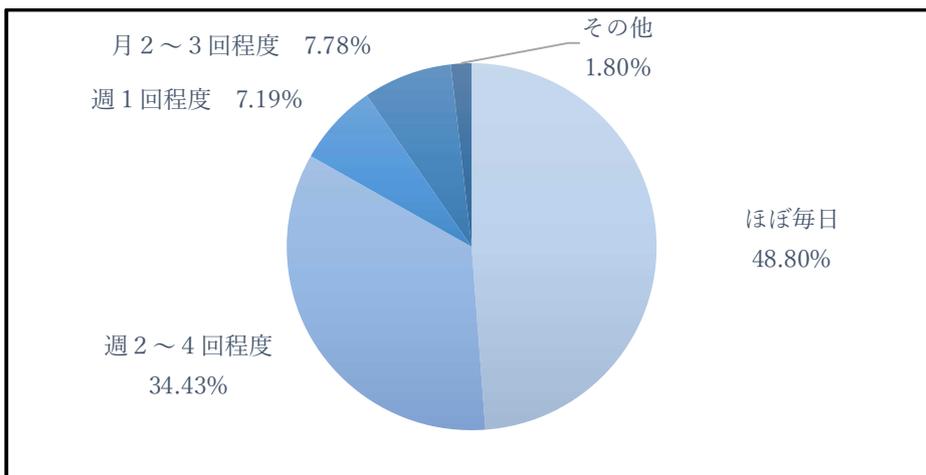
- ・妊娠中 40件
- ・0歳4ヶ月未満 179件
- ・0歳4ヶ月～8ヶ月未満 84件
- ・0歳8ヶ月～1歳未満 17件
- ・1歳～1歳6ヶ月未満 14件
- ・1歳6ヶ月～2歳未満 0件
- ・2歳～3歳未満 1件
- ・3歳以上 2件



⑤ (③で「読み聞かせをしている」の場合)

読み聞かせをどのくらいの頻度でしていますか

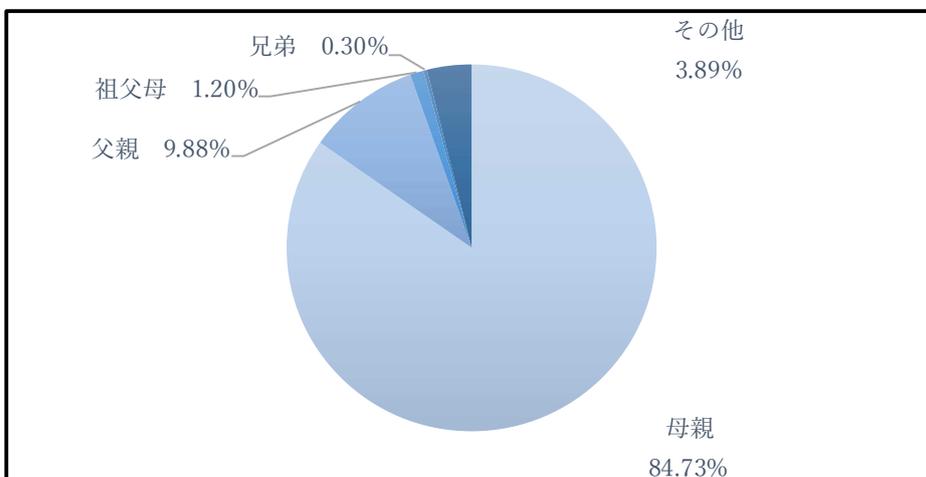
- ・ ほぼ毎日 163 件
- ・ 週 2～4 回程度 115 件
- ・ 週 1 回程度 24 件
- ・ 月 2～3 回程度 26 件
- ・ その他 6 件



⑥ (③で「読み聞かせをしている」の場合)

読み聞かせをするのは主にどなたですか

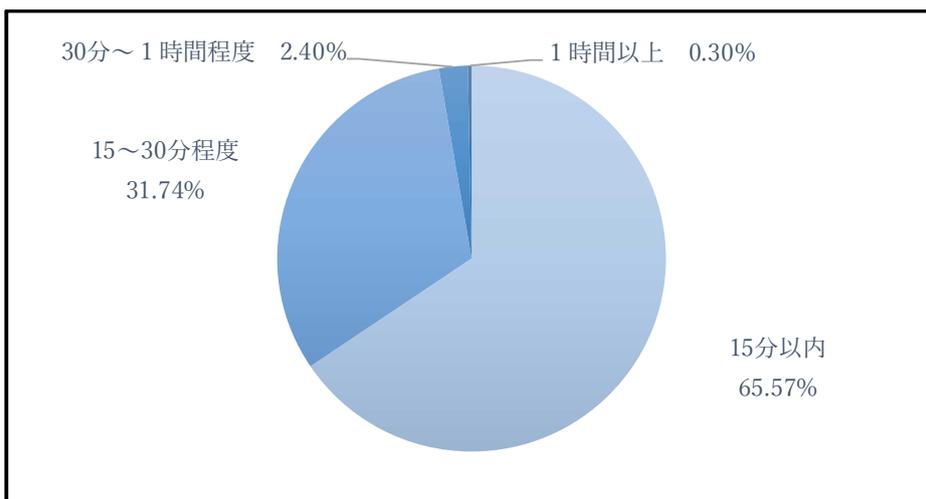
- ・ 母親 283 件
- ・ 父親 33 件
- ・ 祖父母 4 件
- ・ 兄弟 1 件
- ・ その他 13 件



⑦ (③で「読み聞かせをしている」の場合)

1回の読み聞かせの時間は平均でどのくらいですか

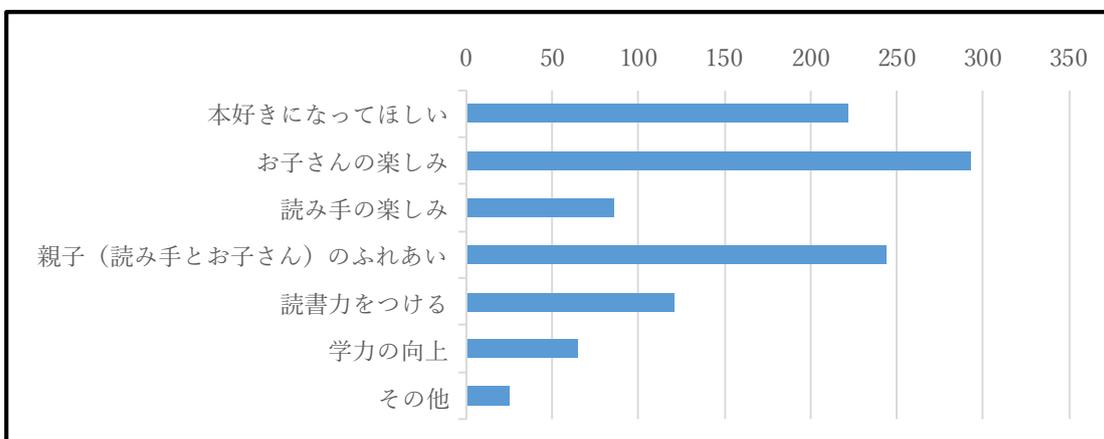
- ・ 15分以内 219件
- ・ 15～30分程度 106件
- ・ 30分～1時間程度 8件
- ・ 1時間以上 1件



⑧ (③で「読み聞かせをしている」の場合)

どのような目的で読み聞かせをしていますか ※複数回答

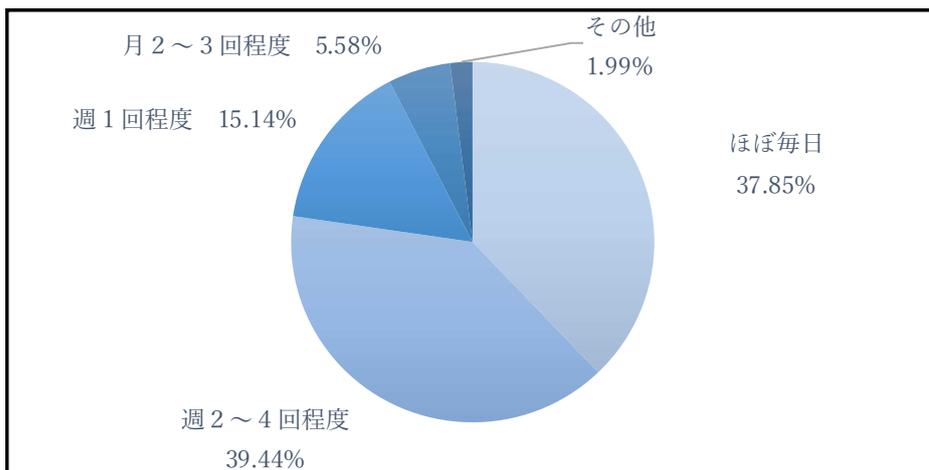
- 本好きになってほしい 222件
- お子さんの楽しみ 293件
- 読み手の楽しみ 86件
- 親子（読み手とお子さん）のふれあい 244件
- 読書力をつける 121件
- 学力の向上 65件
- その他 25件



⑨ (③で「子ども自身が読書」の場合)

お子さんは、ひとりでの読書をどのくらいの頻度でしていますか

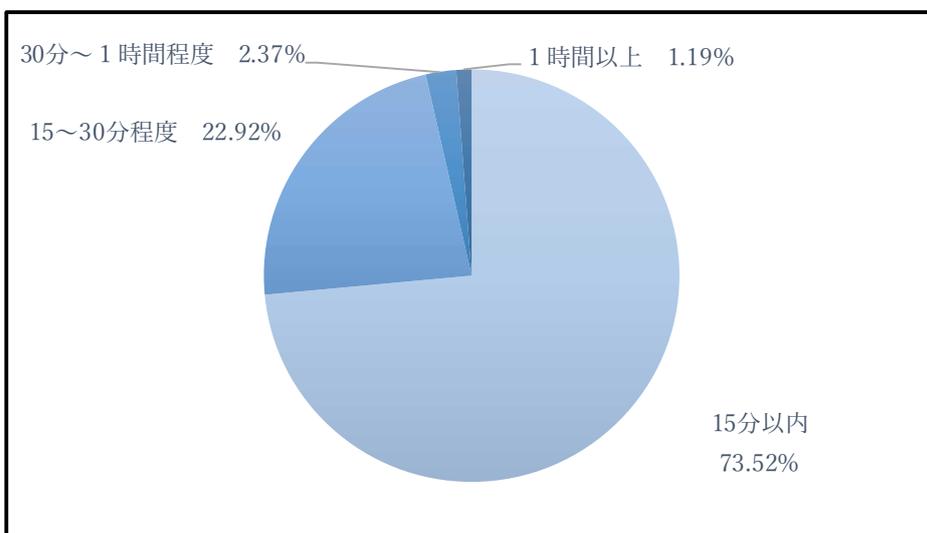
- ・ ほぼ毎日 95件
- ・ 週2～4回程度 99件
- ・ 週1回程度 38件
- ・ 月2～3回程度 14件
- ・ その他 5件



⑩ (③で「子ども自身が読書」の場合)

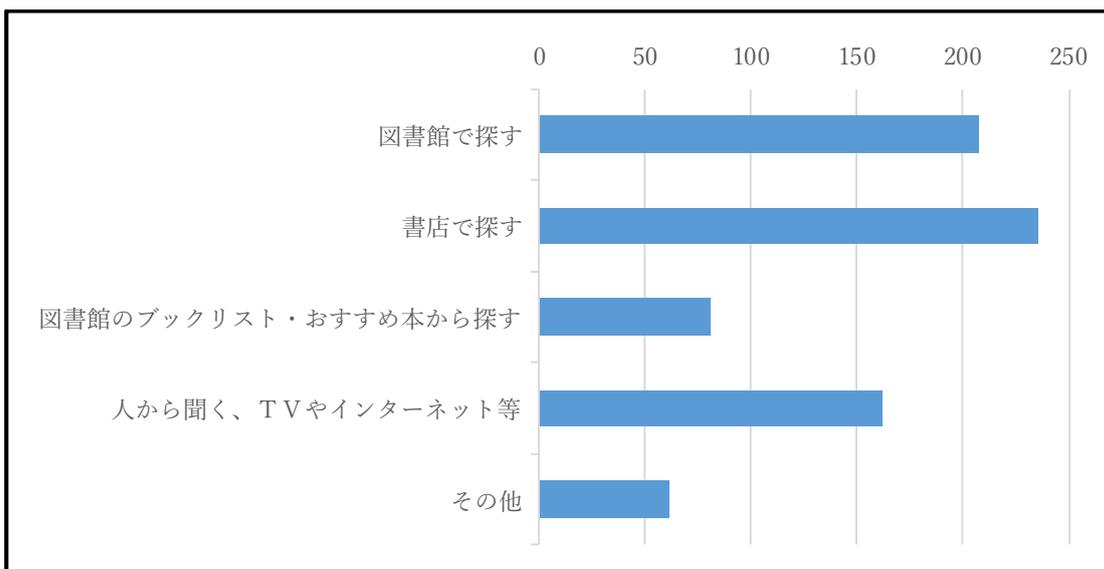
お子さんは、ひとりで読書をする場合の1回の読書時間は平均でどのくらいですか

- ・ 15分以内 186件
- ・ 15～30分程度 58件
- ・ 30分～1時間程度 6件
- ・ 1時間以上 3件



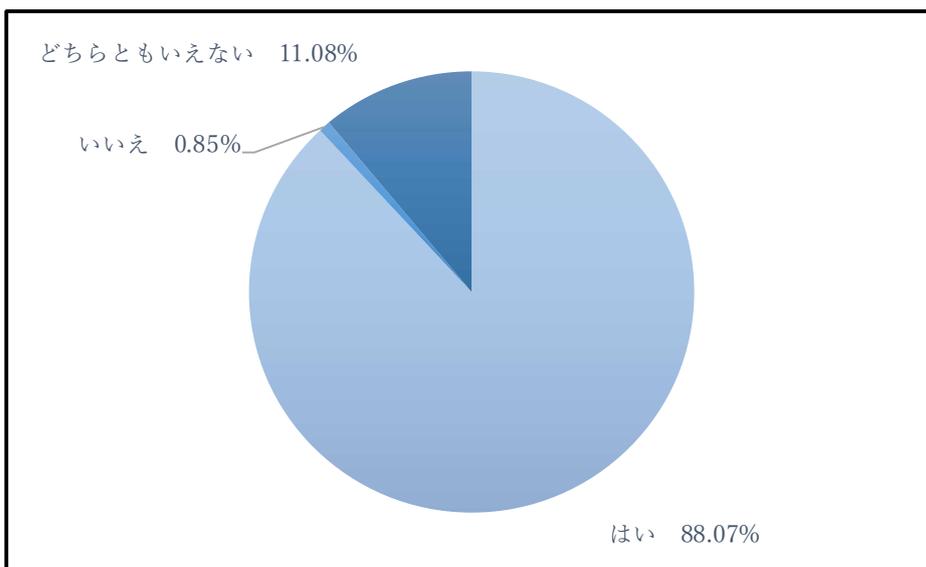
⑪ 絵本や子どもの本はどのようにして選んでいますか ※複数回答

- 図書館で探す **207件**
- 書店で探す **235件**
- 図書館のブックリスト・おすすめ本から探す **81件**
- 人から聞く、TVやインターネット等 **162件**
- その他 **61件**



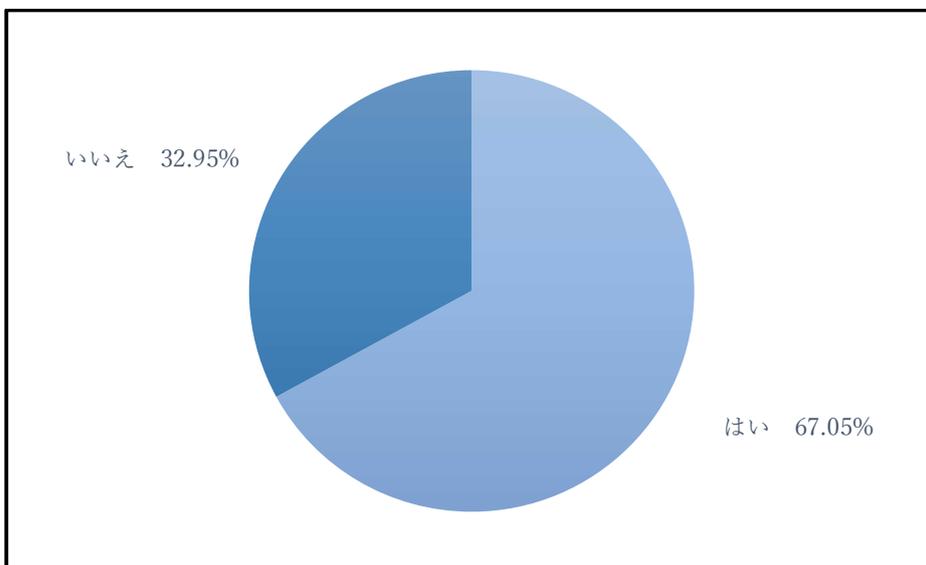
⑫ お子さんは本が好きですか

- ・ はい **310件**
- ・ いいえ **3件**
- ・ どちらともいえない **39件**



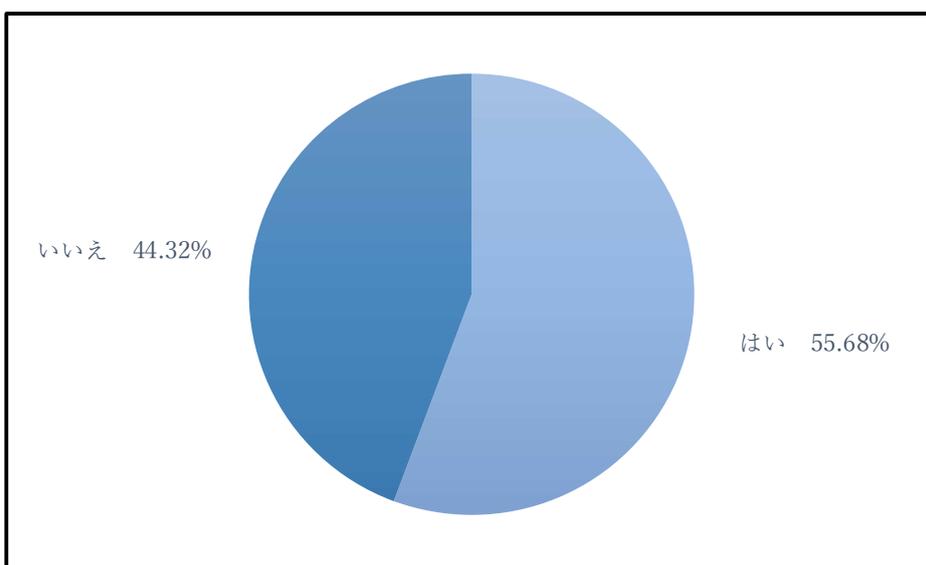
⑬市内の図書館・図書室では、0歳から登録して図書貸出券を作れることをご存知ですか

- ・はい 236件
- ・いいえ 116件



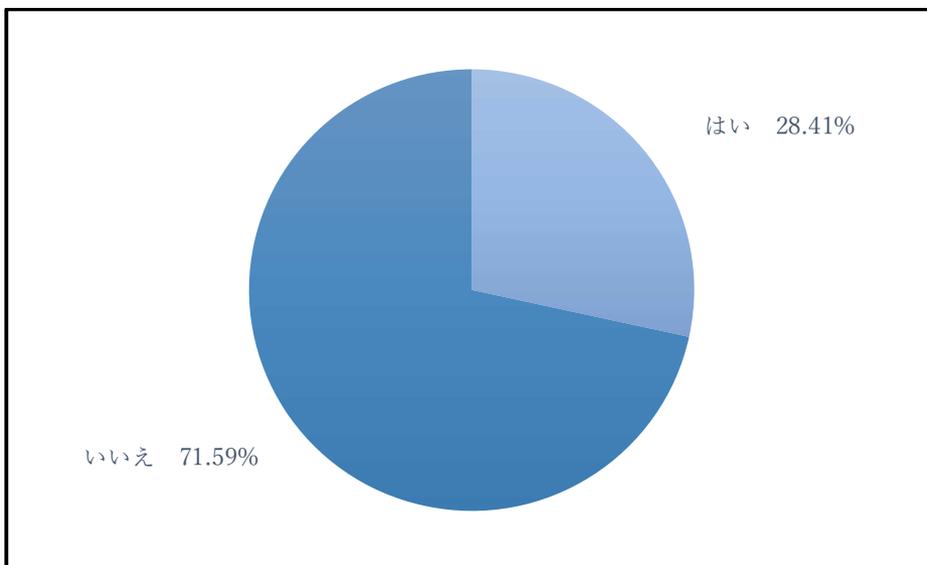
⑭お子さんは（またはお子さんと一緒に）図書館・図書室をよく利用しますか

- ・はい 196件
- ・いいえ 156件



⑮ 図書館・図書室の「おはなし会」などの子ども読書行事に参加したことはありますか

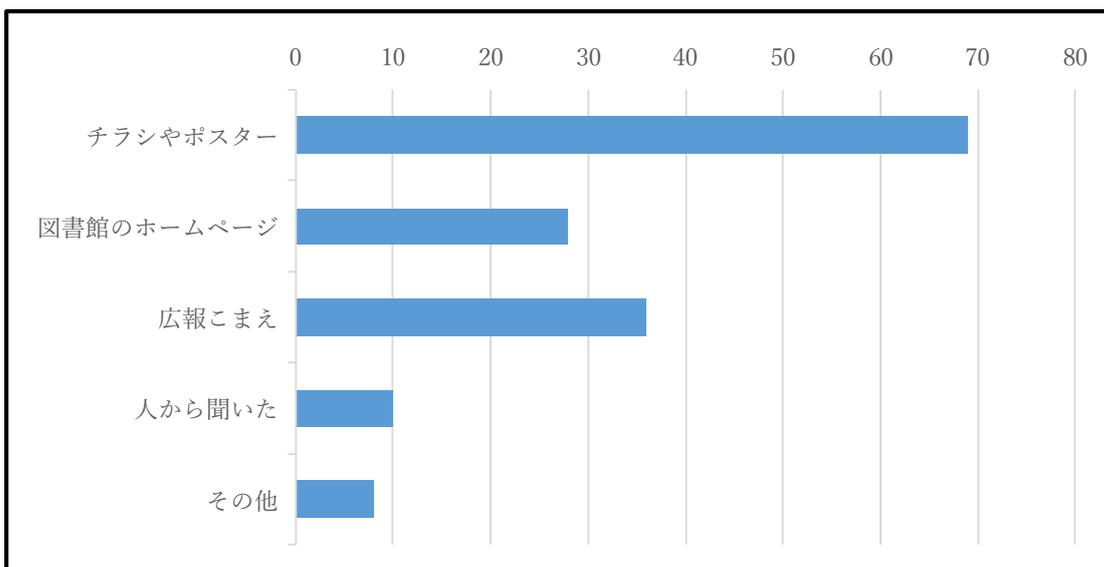
- ・はい 100件
- ・いいえ 252件



⑯ (⑮で「はい」の場合)

図書館・図書室の子ども読書行事は何で知りましたか ※複数回答

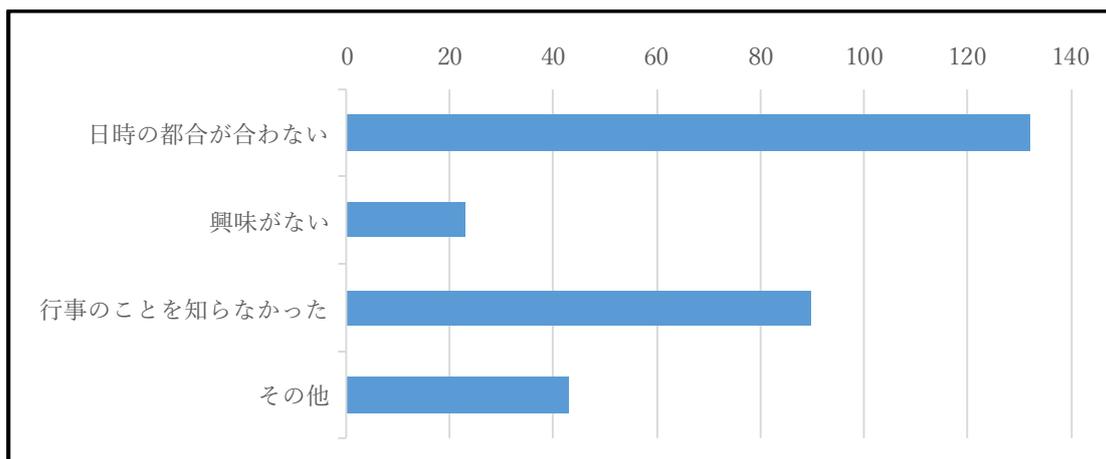
- チラシやポスター 69件
- 図書館のホームページ 28件
- 広報こまえ 36件
- 人から聞いた 10件
- その他 8件



⑰ (⑮で「いいえ」の場合)

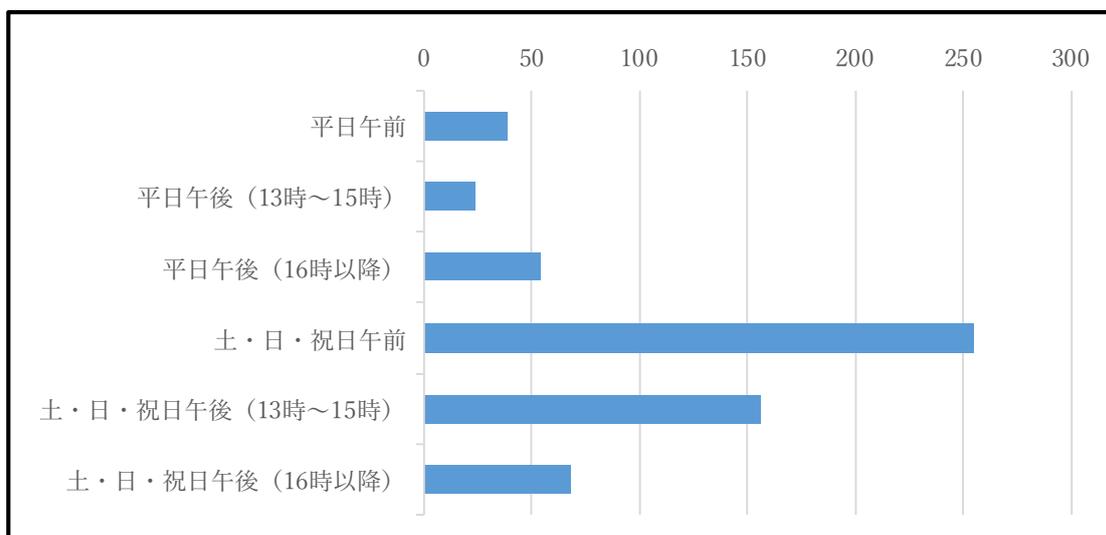
参加したことがない理由は何ですか ※複数回答

- 日時の都合が合わない **132件**
- 興味がない **23件**
- 行事のことを知らなかった **90件**
- その他 **43件**



⑱ 「おはなし会」などの子ども読書行事に参加しやすい日時はありますか ※複数回答

- 平日午前 **39件**
- 平日午後（13時～15時） **24件**
- 平日午後（16時以降） **54件**
- 土・日・祝日午前 **255件**
- 土・日・祝日午後（13時～15時） **156件**
- 土・日・祝日午後（16時以降） **68件**

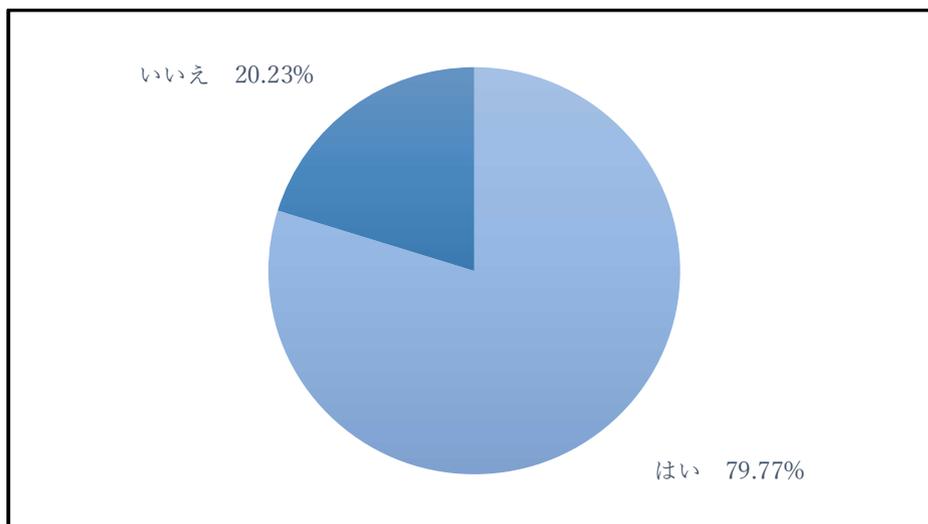


⑱ 狛江市のブックスタート事業（※）で絵本を受け取りましたか

※3・4ヶ月児のお子さんを対象に絵本を1冊贈呈する事業です。

市外にお住いであったなど、ご存知なかった場合は「いいえ」を選んでください。

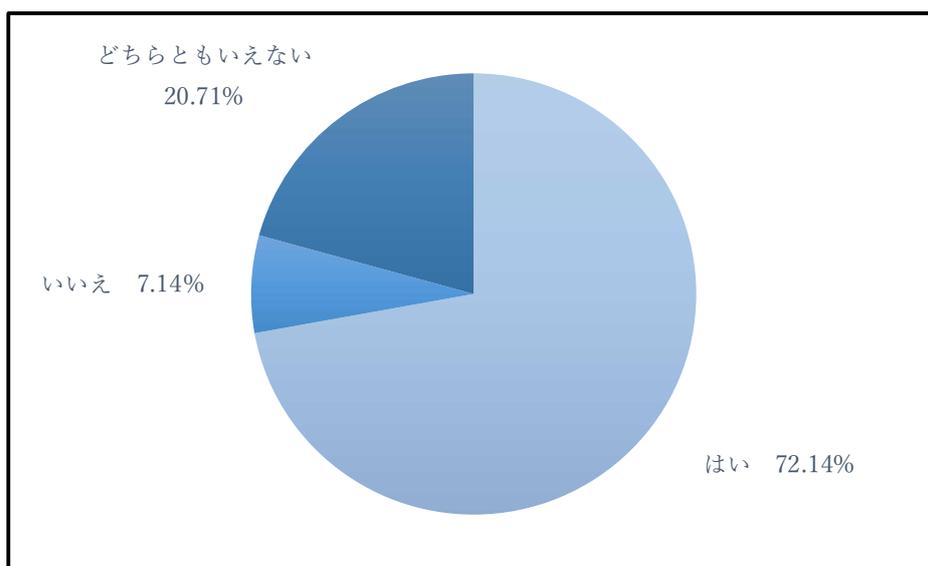
- ・はい 280件
- ・いいえ 71件



⑳ (⑱で「はい」の場合)

ブックスタート事業により、読み聞かせを行う機会が増えた、またはそのきっかけとなりましたか

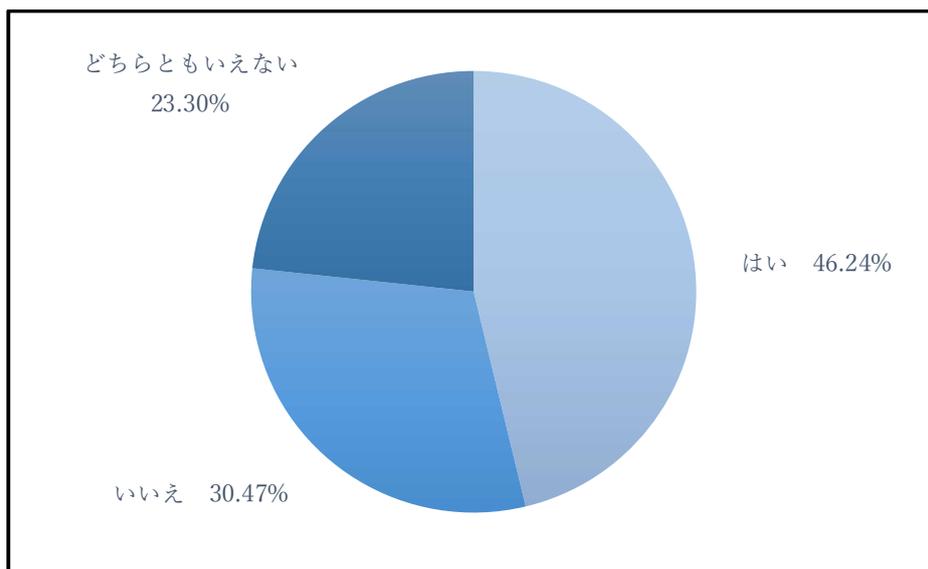
- ・はい 202件
- ・いいえ 20件
- ・どちらともいえない 58件



⑳ (㉑で「はい」の場合)

ブックスタート事業により、図書館を利用する機会が増えた、またはそのきっかけとなりましたか

- ・はい 129件
- ・いいえ 85件
- ・どちらともいえない 65件



㉑ 「子どもの読書」や「図書館」についてのご希望・ご意見等（自由記述）

- ・ 乳幼児の読み聞かせの会を復活させて欲しい。
- ・ 中央図書館のちいさなかがくのともなどの棚が2歳児には届かずもどかしい。
- ・ 地域センターの図書室も午前中から開室してほしいです。地域センターでの活動の前後に寄れるととても便利だし利用者も増えると思います。
- ・ 図書館で親子で絵本を座って読むスペースが欲しい。
- ・ 一回に借りることが出来る、本の数の上限を増やしてほしい。
- ・ ブックスタートの本の送付時期はもう少し早めでいいと思いました。
- ・ 小学生向けの本がどこにあるのか探せず予約してから借りています。館内図が子ども向けに入り口付近にあるといいと思います。
- ・ 図書館では、書店にないような本が並んでいて、また、子ども自身が選べるので、重宝しています。
- ・ 検索システムはあまり利用していないので実際の使い勝手は分かりませんが、絵本のジャンル（「恐竜」「おばけ」等）で検索ができるなど、機能を充実させていただけると幸いです。
- ・ たくさんの種類が選べれば助かります
- ・ 英語で書いてある子供の絵本もいれてほしい。稲城市の図書室も使えるようにしてほしい
- ・ 定期的に、月齢や年齢に合わせたおすすめの本や、人気の本のプレゼントがあったらありがたい

たいです。兄弟がいると、図書館まで行きたくてもなかなか行きにくいです。

- ・ 親子で読み合えるスペースの充実を要望します。
- ・ 乳幼児向けの簡単な英語の絵本を増やしてほしい。
- ・ コロナ禍で難しいかもしれないですが、図書館で子供が好きな絵本を取って読めるスペースを確保して欲しい。
- ・ 図書館は静かにしてなくてはいけないイメージがあり、小さな子どもを連れていくのに引け目を感じてしまうことがあります。大人の図書コーナーとは別のお部屋などで子どもと一緒に本を見られたら嬉しいと思います。
- ・ 私自身があまり本を読まない？読めない？人なので、自分の今までの経験から子供には本を好きになって、色々な本に出会い想像力や読解力などを身につけてもらえたらなあと思います。
- ・ 狛江に引っ越して、初めて市の図書館を利用しました。保育園に「図書館で会える本」の冊子が置いてあったので、それを参考に本を選んだりしているのですが、年齢別でオススメ本をもっと紹介してほしいです。
- ・ 乳幼児用の簡単な英語の絵本の取扱を増やして欲しい
- ・ 借りたい本がない時が多い。
- ・ 狛江の図書館自体取り扱っていない。
- ・ 古いものが多い。
- ・ 今人気のもの。流行り。に注目して常に新しい情報やあたら本を取り入れるようにして欲しい。
- ・ 新しく入荷した本の状況を発信してほしい。
- ・ LINEの狛江図書館のアカウントやInstagramなどSNSで発信していくのが良いと思う。
- ・ 子供が本が好きなので図書館を利用したいですが、コロナになどのウイルスが心配で、たくさんの方が手に取る図書館の本には抵抗があります。綺麗にしてくださっているとは思いますが、安心して利用できる情報があると嬉しいです。
- ・ のらねこぐんだんシリーズをもっと増やして欲しいです
- ・ 子供に大ウケなのに借りるまでに時間がかかってしまうのと、他の子にも面白いから紹介したくても借りられないからお勧めしづらいです
- ・ 司書さんのことが大好きで、保育園がお休みの土日はいつも行きたがります！いつもありがとうございます。
- ・ 子ども達が自由に絵本を読んだり、勉強できるスペースが図書館に欲しい。
- ・ 読書通帳で読んだ本の記録が出来るようにしてほしい
- ・ 子供たちが本探しで困ったり、調べ学習をする際に手間取ったりした時に相談しやすい環境を作っていただきたいです。
- ・ 土日のお話し会を増やしてほしい
- ・ 対象年齢の目印があると選びやすいので、印のある絵本を増やしてほしい。

- ・ 図書館は毎週1回以上は通っており、子ども本人も私も大好きな場所です。子どもも0歳の時から利用者カード持っています。新しい図書館になっても、蔵書数は今以上キープでお願いしたいです。例えば電車が好きな子なら、絵本でも図鑑でもいいわけで、蔵書数は今が決して少ないとも思いません。絵本に限定せず紙芝居や図鑑、もしかしたらYouTube動画なども、クロスして、広く本の楽しみ方をトータルで提案してくれる場であってくれれば嬉しいなあと思います
- ・ いつも楽しく利用しています。主に西河原図書館を利用していますが、木金だけでなく、他の平日も開館時間が長くなると良いなあと思います。
- ・ 家に本がたくさんあると目についたときにこれよんでと本を持ってきてくれるので、今の興味がわかったり読んであげた時の子供の満足感も高いなあと感じています。ただ絵本はお値段が高いため、あまり気軽にたくさん買えません。子供は本の扱いも雑なので、借り物は取り扱いに神経を使います。
- ・ できれば市から、ブックスタート皮切りに半年ごとに月齢に合った一冊（いくつかの中から好きな本を選べる）をプレゼントしていただけたらなあと常々思っていました。（中古本や在庫品でもいいかと思えます）マンネリ化しがちな子供のコミュニケーションに目新しい風を吹き込み、日常が豊かに子供の教育の一環にもなるなあと思います！ 保育園に通っている子供だと、尚更親子での読書の機会が減ります。頻度や期間、方法は任せますが、どうか前向きにご検討ください。
- ・ 紙芝居がとても好きなので、紙芝居の取り扱い数が増えると嬉しいです。また、返却の際に返却ポストでも良いとありがたいです。
- ・ 母親自身が図書館が好きです。いつも心地よく利用させていただき、ありがとうございます。
- ・ アンパンマンなどキャラクター絵本も可能であれば入れて欲しい。
- ・ 夜遅くまで開いているので助かります。いつもありがとうございます。座って読むスペースやもう少し広い図書館があるといいなあと友人と話していました。
- ・ 図書館大好きです。コロナでなければもっと利用していたと思います。私の実家が神奈川なのですが、シリウス大和という有名な市の図書館があります。狛江市は小さな市ですし予算もあると思いますが、子供教育で本に力をいれるなら大和市のような自由な図書館作りも魅力的だと思います。市役所と西河原の図書館によく行きましたが読書スペースが狭かったり、子供の読書スペース作りなども良いと思います。現在の読書スペースは年配者の利用も多く子連れだとうるさくしてしまい迷惑になるなあという印象です。
- ・ 特になし
- ・ 図書館の本が結構くたびれていて借りる意欲が湧きにくい。特に赤ちゃん向けの本は衛生的にも気になってしまうので、結局買ってしまう。もう少し大きくなったら図書館の利用もしてみたい。
- ・ 図書館での子供向けおはなし会をたくさんやってほしいです。土日祝もやってくれれば嬉

しいです。

- ・ 中央図書館の乳幼児向けおはなしかいはコロナ禍での開催が難しいかと思いますが、また開催していただけると嬉しいです。子どもを連れて行きたいと考えていましたが、動きやすくなってきた時期にコロナが流行し始め外出も難しくなってしまう結局参加できてないままです。私もおはなしを聞くのが好きなので、子どもと一緒に参加できる機会があると嬉しいです。
- ・ いつも図書館でお世話になっています。こども共々親子で図書館で本を選ぶのも楽しく、その場で読み聞かせたり、家で読んだり楽しんでます。コロナであまり会話はできませんが、図書館の司書さんとの、借りる時のやりとりもこどもの社会性を育てる上で大切な関わりの1つだと感じています。
- ・ 電子書籍の時代にはなりましたが、図書館事業は今後もぜひ続けていってほしいと思います。
- ・ 結婚を期に他市から引っ越してきた私にとって、子どもが0歳のときから図書館を使えること知れたのはブックスタートのおかげでした。また、その場で子どもだけでなく私自身の利用カードも発行いただき、ほんの少しの手続きも大変な時期に図書館利用のハードルを下げてくださいと思っています。感染症対策も大変な昨今ですが、生涯に渡る知へのアクセスの機会を得るために(失わず済むように)、ブックスタートはどんなときにもあった方がよいと思っています。
- ・ ブックスタートは、とても良い取り組みだと思いました。読み聞かせは忙しくてなかなか出来ませんが、本をプレゼントしてもらえると、狛江市が、子供を大事にしているなど感じる事ができ、嬉しかったです。
- ・ よく本を借りて利用させてもらっています。ありがとうございます。学生や大人が勉強できるスペースがあるといいなと思っています。
- ・ 中央図書館(市役所横)より、分室の方が好きです。読むスペースがあり、読みたい本も見つかる気がします。
- ・ 乳児の時はコロナ前だったのでいけていましたが、赤子を背負った利用者が二人いるといっぱいいっぱいでありようしづらかった。幅がもっと広がってほしい。
- ・ いつもお世話になりありがとうございます。
- ・ 家の近所に図書室があり日頃からお世話になっています。お陰で本に触れる機会が多く大変嬉しく思います。親は月から金でフルタイム、子供は9時から18時近くまで保育園のため、平日に17時閉館の図書室を利用することが難しいです。週に一度18時閉館の日があればもっと図書室の利用ができるので、難しいとは思いますが、希望致します。
- ・ 中央図書館に子供用の机と椅子があればいいなと思います。
- ・ 狛江市の図書館にこどもが小さいころからお世話になっています。こどもが本を手にとったとき、座り込んで読める場所がとても少ないのが気になります。本当は、子どものコーナーだけはカーペット敷きにして、寝ころがって読めるくらいにしてほしいです。

- ・ 上の子が生まれてから中央図書館に通いだし、かれこれ8年。毎週通っていても新しい本が増えている気がして、いつも楽しく選書をさせていただいております。
- ・ 中央には海外作者の絵本も多く、本屋さんでは選べない良書をたくさん知れて嬉しいです。他館から予約もすぐに届けてくださり助かります。
- ・ 中央や分館の絵本ラインナップ(この館にはこんな本が多いとか)が一覧になってると、足を運んでみようかなという気になるかもしれません。
- ・ いつも読み聞かせに参加させていただき、ありがとうございます。下の子の出産に際して、本とバッグを届き、読書推進に力を入れて下さっていることが伝わってきました。先日は秋の読書週間で、テーマに沿った3冊の本がラッピングされているというものを子どもたちが借りました。帰宅して夢中で封を開けていました！自分では図書館で見つけられなかったり借りなかったりする本が入っていたので、面白かったようです。東京都内の施設に比べると狛江市図書館は小規模だと聞きます。施設が明るく広くなり、蔵書が増えるといいなと願っています。
- ・ 戦争の話や、ハロウィーンやクリスマス等のその時期にちなんだ本が目立つところに置かれているのが、とてもいいです。読もうと思っていなかったのに、思わず手にとって借りてみたくなります。
- ・ 図書館の規模が周辺の自治体と比べかなり小さいと思います。建て替えの計画があると聞きましたが、できれば今の敷地で(階数を増やすなどして)規模を大きくしてほしいです。
- ・ 図書館の子ども読書スペース復活を願います…
- ・ 正直、子連れで入りにくいです。今、下の子(1歳なりたて)が絵本等をしゃぶってしまうので上の子も連れていきにくい状態です。もう少ししたら連れていきたいと思います。
- ・ 小さいうちは本を激しく扱い、時に破ってしまうので図書館の本を借りようとは思えないが、本を丁寧に扱えるようになったら利用したいと思う。そして子供が小学生になったら、図書館が放課後を安全に過ごせる身近な場所になって欲しい。
- ・ 日々の生活に追われる中、このアンケートが図書館の事を思い出すきっかけになりました。ありがとうございます。
- ・ 10か月くらいまでは読み聞かせても反応はないが、ひとまず聞いてくれていました。1歳以降、一人で歩けるようになると、なかなか最後まで聞いてくれず、最近は読み聞かせる回数が減ってしまいました。本も何冊か噛み付いたり破ったりしてしまいました。もう少し大きくなったらまた落ち着いて読み聞かせたいです。
- ・ 地域センターでやっていた読み聞かせの会をまたやって欲しいです。
- ・ 本の記録がつけられる手帳を持っていますが、シールが地味で子ども心をくすぐらない感じです。せっかく手帳のシステムがあるのに知らない人も多いですし、図書館カウンターでシールの発行をお願いしても手帳の事をよく知らない職員さんもいらっしやるととても残念に思います。もう少し子どもが「本を読みたい！」と思う工夫が手帳にあったら良いなあと思います。

- ・ いつもお世話になっております。蔵書数が50万冊位ほしいところです。大人も子どもも、様々な本に触れ合う機会を望んでおります。
- ・ 第一子も第二子も本が大好きなのですが、まだ下の子供が本を破ってしまうことがあるため、借りずに買っています。
- ・ おすすめ絵本や人気の絵本などを保育園の壁に貼れるようチラシなどを配布して出していただけなら良いと思います。(購買の際に参考にします)
- ・ 親子や子供が図書館で絵本を開いたり、読んだりしやすいよう、机、椅子の設置やスペース等が整備される事を切に願います。
- ・ イベント毎に特集して本をディスプレイしているのを楽しんでいます、新しい本に出会える特集を今後も楽しみにしています。
- ・ いつも利用をさせていただいております。カウンターの方も皆さん親切で、親子ともどもお世話になっています。
- ・ 図書館を利用したいが、まだ本の扱いが上手くないので、やぶってしまったたり、おってしまったらするという不安があり、なかなか借りることができない。大事に使いたいのので、余計に気になってしまい借りられない。
- ・ 外部の方を招いてのお話会など、コロナも落ち着いてきたので是非検討して頂きます。
- ・ 保育園では、本を良く読んでいる様なのですが、家ではあまり読まずに動画ばかり見ています。本が好きになってくれると良いと思っていますが、何か良い案がありましたら教えて頂きたいです。
- ・ お話の会の回数を増やしてほしいです。図書館のスペースを拡大し、親子で絵本を読める席を増やしてほしいです。駅前に返却ポストがあると、出勤前に返却できるので気軽に借りられるようになると思います。
- ・ コロナ感染拡大により図書館を使用することを控えていた。子ども(現在3歳)が自分で選んで自分で読むようになったら図書館の利用も増えると考えている。今後新しく図書館が移転され自宅近くにならできるという計画もあるようで楽しみにしている。
- ・ 育休中は、平日の読み聞かせに何度か参加しました。共働きになって、なかなか時間が取れず最近では参加してませんが、親ではない人に読み聞かせをしてもらう機会も大事だったと思います。子供は紙芝居が好きなので、図書館で紙芝居を借りられるのは嬉しいです。
- ・ 中央図書館は冊数が多いものの、子どもの歴史マンガなど、幼児小学生向けのものが少ないように感じる。また日本の昔話や、世界の童話など、知っておいてほしいお話の本が探しにくいので、もう少し子どもが見つけやすいように陳列してほしい。
- ・ 読書行事の日時が合えば是非参加したい。
- ・ 図書館を利用したいが、子供が大きな声を出したり、棚から本をかき集めてくるので、他者への迷惑を考えると利用できない。
- ・ 親子と一緒に声を出して読めるスペースがあれば利用しやすい。
- ・ 子供用の新しい本を入れて欲しい。寄付を募ってもいいと思います。

- ・ コロナ禍で、運用がどう変わったのかいまいちよくわからなかった。
- ・ 家に持ち帰って読む本は、子供自身が持ち帰るので重さや大きさの事も悩んで本を選ぶがスペースが無くて困っている。コロナ以降は特に。・大人向けにはあるのに子供向けにはないし、外のソファも撤去されお茶飲み休憩が出来ないので足が遠のく。普段は中央図書館を利用しています
- ・ 1歳向けの絵本はまだ無さそうな気がして図書館に行ってません。あとまだ年齢的に、本を破ったり折ったりしそうなので…。もう少し大きくなったら行きたいなどは思っています。
- ・ 図書館が近くて気軽にいける場所でもとても良かったです。狛江の図書館は雰囲気も良くて居心地が良いと思います。子供も本が好きそうなので嬉しいです。これからもたくさん利用をさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
- ・ 新しい中央図書館の建設について 現在と同じ場所に建てて欲しいです。たとえ狭くても、現在のように子供のためのスペースと大人のためのスペースがバリアフリーで繋がっていることが必要だと思います。子供のために、あるいは大人のためにエレベーターを使ったり階段を使ったりしなければ目的の図書に辿り着かないような構造にすることは、利用者の機会を消極的に制限することにつながると思います。ぜひ、小さな子供がいる親の目線も取り入れた計画を練っていただきたいです。妊娠している頃から、本をたくさん読んで、人生の選択肢を増やすような子に育てたいと思っていました。図書館は娘の楽しみだけではなく、様々な未来へつながる道を与えてくれると思っています。蔵書数を増やす等わかりやすい数字で出る成果を求めるだけでなく、ぜひ家族で利用する際に分断されずに利用できるようお願いしたいです。
- ・ 本を新しく買うのは負担になるので、図書館を利用できるのはとても便利。今までコロナの影響で利用していなかったですが、ぜひ利用したいです。子供が声大きいので、静かな場所で迷惑にならないか心配。
- ・ 狛江市の図書館で取り扱っている絵本が隣の川崎市に比べて少ない気がします。またDVDやCDのようなメディアも取り扱って欲しいです。
- ・ あまりにも蔵書が少ないので、借りるという行動に移せない位です。読書スペースもお座敷にするなど、幼児が読みやすい居場所作りをしてください。葛飾区の図書館を参考にさせていただきたい。
- ・ 子供が車や電車が好きなのでこれからも増えていくといいなと思います。
- ・ 図書館の本が探しづらいです。おすすめ本や、似た分類で並べて頂けると子供も探しやすいです。
- ・ 狛江は図書館が狭く蔵書も古いものが多い。近隣の世田谷や調布、川崎市多摩区の図書館との差が激しい。図書館の蔵書数も少なく、新刊や人気のある本は予約しても数ヶ月待ち、図書館の本棚に並びません。同じ本でも所有数を増やし、読みたい時に読めるようにしてほしい。また、中央図書館の中に椅子が少ないためか、高齢者がこども優先席に居座りこどもが絵本をゆっくり選ぶことができないことが度々ある。

- ・ コロナ禍で難しいかもしれませんが、児童書付近に椅子や机を増やして欲しいです。せめて子供が選んでる時に親が座れる椅子があると良いです。(現在妊婦の為特に思います。)
- ・ 狛江市でも ・ぬいぐるみのお泊まり会 ・図書館通帳 など子どもが楽しめる行事や企画をもっとたくさん取り組んでほしいです。
- ・ 共働きなので、貸し借りが簡単にもっと出来ればありがたいです。駅に回収ボックスがあるとか、駅前に移動図書館でもあれば…
- ・ 絵本もたくさんあるので、もっとおすすめの本情報を発信いただけると有り難いです。
- ・ 子供と絵本を楽しむことは、子どもの心を育てる意味があると感じています。絵本の中の出来事は子供にとって実体験しているかのように、想像して楽しんでいるのが分かるのです。ことばをたくさん身につけるだけでなく、親子で同じ時間を共有できる貴重な時間だと思いい、大事にしています。子供の頃に読んだ絵本を大人になってもずっと覚えているように、そんな絵本を子供にもたくさん作ってあげたいです。
- ・ 絵本を手にとって見てたくなるような雰囲気作りをしていただくと嬉しいです。
- ・ 狛江市立の図書館の蔵書を増やして欲しい。
- ・ 感謝してます。ありがとうございます。
- ・ 図書館の蔵書数を増やしてほしいです。
- ・ コロナ禍になり、遊びに出かけることが減り、久しぶりに図書館に行って本でも借りようと思いました。たまたま遭遇した友達のお母さんに「わんぱくだん」が面白いよとお薦めの本を教えてもらいました。借りてみると、子供は気に入ってわんぱくだん今日はあるかな？と楽しみにしながら図書館へ通うようになりました。そこから、これもこれも読んでみたいと自分で手に取り必ず上限の10冊借りて帰ります。先日は ひみつのこづつみをワクワクしながら選んで借りました。いつもは自分で選んでいるけれど、何が入っているか分からない、キーワードで選ばれた本を手にするのも面白い試みだと思いました。季節の装飾と共にそのテーマに合った絵本も並べられていて、本を通して季節の話題もできます。いつもありがとうございます。これからも利用したいと思います。
- ・ 読書週間のひみつのこづつみは親子共にわくわく楽しみました。
- ・ 図書館で人気のある本がいつも予約できるようにしてほしい
- ・ 図書館の建物自体が古いので新しくしてほしい。
- ・ いつも沢山の本をかりさせてもらって、とても感謝しています。ただ、中央図書館の方の子どもへの接し方が冷たいと感じるときがあります。子どもは聞き分けの良い子だけではありません。そういう子どもの親は、どこに行くにも苦労し、人に迷惑をかけると思うと、買い物や図書館などは出来るだけ子どもと一緒に行かない様になっています。でもどうしても一緒に行きたがり、一緒に行かざるを得ないときもあります。そういう時に子どもが図書館の方に話しかけて、あたたかな声がけをして頂けると助かります。また中央図書館は本の数が多くて良いのですが、どの本をかりたらいいのか選び辛いと感じます。テーマごとに棚に選びやすく表紙を表にして置いておいてくれる事がありますが、あの様におすすめの本を

置いていただけるととても選びやすいです。(なくなったら補充してほしい。)

- ・ 紙が好きなので噛んで壊してしまいそうでなかなか利用しにくい感じがあります。もう少し大きくなったら利用したいと思ってます。
- ・ 狛江市は小さな市ではありますが、それでも人数の割には図書館の規模が小さいと思います。そして、スペースが狭いので本を探しずらく、閉鎖的な環境が、リラックスしてその場に長く滞在しづらくなっている気もします。結果、書店に行かざるをえないのではないのでしょうか。
- ・ 図書館にある絵本を借りて来ては喜んで読んでいますのでこれからも本好きでいて欲しい
- ・ 図書館にはもう少し新し目の絵本も入荷されたら嬉しいです
- ・ 小さい年齢のうちから本を借りれることは知っていたが、本の破損などをしてしまうのでは考えてしまい、なかなか行くに至らなかった。小学生位になったら利用したい。
- ・ 図書館は声を出してはいけない場所という認識があります。小さな子ども連れでは読み聞かせや、本選びでどうしても大人の声かけが必要で、声を出してよい図書館があると助かります。もし既にあれば、それを知る機会があるとよいです。よろしく願いいたします。
- ・ 親が読書好きではないので、子どもに本を読んだり、自分で読みなさいとは言えない。
- ・ 図書館は、親子とも、かなりの頻度、利用しています。その場合、近さがカギとなるかと思えます。うちから、一番近いのは南部地域センターですが、蔵書、サービスの面から、世田谷に、つい行ってしまいます。お話し会だけで、中央に行くのも、距離を考えてしまいます。センターのサービス等の拡充をお願いします。
- ・ 図書館を良く利用させていただいています。月や季節ごとにオススメ図書のコーナーがあって、普段選ばないような本を手にとることがあってとてもありがたいです。子ども用の本コーナーでは子ども自身が探しやすいよう、字だけではなくどんな本が置いてあるか、大きく見やすい字とイラストなどでコーナーがわかると良いのかなと思います。(例:桃太郎の絵で「むかしばなしコーナー」、ぐりとぐらのイラストで「動物の絵本コーナー」など)
- ・ 子供にこの本を読んでもあげたいなと思ってもなかなか本が見つけれずもう少し見つけやすい陳列方法や工夫が欲しいです。今月はこの本の特集です！ などあっても楽しいかなと思います。小包みシリーズはとても面白くて良く利用させて頂いています。
- ・ 地域センターの開館時間を、正午からではなく、9時もしくは10時からにしてほしい。リクエストして不可だった場合も、何かしらの通知がほしい。返却後、その本に次の予約が入っていない場合(延長済)、次回図書館に来た時ではなく、その場で再度貸し出ししてほしい。西河原図書館以外でも、CD等の貸出をしてほしい。電子図書館のクモの絵が気持ち悪いので、削除してほしい。
- ・ 子供用の絵本に年齢の目安が書かれていると、選ぶ上で参考になると思います。
- ・ 火曜日揃って市内の図書館が閉まるのは痛い どこかはあけてほしい
- ・ 本だけでなくCDもかりたい
- ・ 子どもと声を出しながら読みやすいスペースがあると嬉しい。書架は見やすく、取りやすい

です。昔から読み継がれている本が、複数冊棚にあるといい。

- ・ 静かにしなくてもいい図書館、野外図書館のようなものと、静かにするのが難しい未就学男子でも行きやすいかも。多摩川でやっている「川の図書館」に時々行きます。
- ・ いまは特にコロナで利用時間が限られていて、お話会も5名までとかだと参加しづらい…
- ・ コロナが落ち着いたら子供用の閲覧席を復活してほしいです。靴を脱がずに読める椅子とテーブルが便利でした。
- ・ 子どもが借りた絵本で、誤ってページが取れてしまったことがあり、買いなおして交換したことがありました。図書館の窓口で取れてしまったことを話すと、買い替えです！の一点張りでした。その絵本は、皆さんが借りて、かなり傷んだところやテープで補修した跡もあり、どうして買い換えなのか、テープでの補修ではダメなのかわかりませんでした。その後しばらく借りるのも読んであげるのも嫌になりそうでした。図書館の本は大事に扱うのが大前提ですが、子どもの絵本についてはもう少し大目に見てくださるとありがたいと感じました。
- ・ 中央図書館以外の地域センター内の図書館にも赤ちゃん向けの本のおすすめなど充実させて欲しいです
- ・ 図書館に場所がなければホームページで特集してあれば、予約して取り寄せできるので中央図書館以外の充実をお願いします
- ・ オンラインで図書カードの発行手続きを可能にしてほしい
- ・ 年齢別に本が置いてあるなど、選びやすいとよい。年齢が小さいとなかなか図書館に行けない
- ・ 子どもにとって興味深い本がもっと増えて欲しい
- ・ 生後3ヶ月健診のブックスタートで絵本を読んでもらった際に子供がニコニコしながら聞いていたのをきっかけに、今でも親子で絵本を読む習慣ができました。保育園でも絵本の貸し出しがあり、いつでも身近に本がある環境であることも有り難いです。今後は市の図書館も利用していきたいと思います。
- ・ 図書館は静かに利用しなければならないので、小さい子供はなかなか静かに出来ず気を使うことが多い。
- ・ 野川ライブラリーを利用してるが、子供のスペースがあると嬉しいです。
- ・ 英語の絵本・本をもっと増やしてほしい
- ・ 図書館にない本の取り寄せ希望をオンラインでできるようにしてほしい
- ・ イベントごとの本等、カテゴリー別にオンラインで検索できると嬉しい
- ・ 読書通帳？の様な物があれば子どもが喜ぶと思う。(読んだ本のリストが通帳になっているもの)
- ・ 狛江の中央図書館はもう少し大きくても良いと思う。地域センターに小さい図書室があるのは良い。コロナで現在はほとんど使っていないが、基本的には図書館よく利用するから、今後の活動にも期待しています。

- ・ 身近に様々な本を読める・様々な本に触れることができる場があるのは大変ありがたいです。
- ・ 図書館前後の買い物や食事、その間の駐車場の便が良いため、いつも調布市の図書館を利用している。
- ・ 狛江市の図書館にはほぼ足を運んだことがないが、子供が成長したら電子書籍を利用したいと考えている。
- ・ 図書館活用しています。いつもありがとうございます。
- ・ いただいた本が既に持っているものだったので、選べると良いと思いました。
- ・ コロナでなかなか行きづらくなりました。狛江の図書館より大人子供ともにたくさんの中から選べる調布図書館に行くことの方が多いです。(ごめんなさい)
- ・ 中央図書館が自宅から近いため、週に一回以上お世話になっています。こどもなので、声が大きくなってしまったり、小走りしてしまったりを注意しつつという感じですが、職員の皆さんがいつも温かく見守ってくださるため、通い続けられています。季節のセレクトもいつも楽しみにしています。
- ・ 図書館はこどもの教育ために大切な施設なので、規模を小さくしたり予算を削ったりしないで欲しいです。
- ・ こんな子におすすめ、とか、〇歳児に読んであげたい本、とか、図書館からのリコmendがあると、自分たちで選んでたら絶対に読まない本とかに巡り合えそう。もうやっているとしたら、気づけてないです。
- ・ もう少し絵本の数を増やしていただきたいのですが、無料で提供していただき大変助かっております。
- ・ 狛江市に住むまでの幼い頃、渋谷区のこども図書館という施設を利用しておりました。規模感など大変すばらしく、ぜひ狛江市にも有れば良いと思いました。ますます今後子どもが増えていくべき市だと思いますので、建物ごととはいかなくても子どもたちがくつろげる図書館を作っていただけたら嬉しいです。
- ・ 絵本の並び順が図書館毎に違うので統一してほしい。出版社順は分かりにくいです。
- ・ ブックスタート事業は大変良いと思います。スタート時だけでなく、その後も月齢に合わせた本を紹介、プレゼントして貰えると大変嬉しいです。また、市内の本屋で児童書を購入すると割引になる GOTO 本屋キャンペーンのような事業もご検討いただけたら幸いです。狛江市の教育と中小企業の応援施策としても効果が期待出来ると思います。
- ・ 岩戸地域センターを子供達と良く利用させて頂いています。図書の管理されている方で、対応、話し方、雰囲気怖いと感じる方がいます、優しい方もいらっしゃるのです。もう少し、穏やかな雰囲気で仕事をされても良いのではないかなと思っています。
- ・ 借りた絵本にいたずら書きや破損をしまいそうで、怖くて図書館から本が借りられません。
- ・ 中央図書館は古くて狭く貯蔵図書にも限界があり魅力を感じません。都内にはもっと魅力

的な図書館を持つ自治体があり羨ましく思っています。建て替えの話が出ていますが、他の図書館を参考にして頂きたいです。

- ・ 0.1.2歳を対象とした読み聞かせを再開してほしい。上の子の際は育休中毎日参加していました。今したのかな育休中ですが、コロナによりないため参加したくても参加できません。読み聞かせ会は本に親しむいい機会となると思うので、感染対策をした上で開催してほしいです。働く家庭のために土日開催も希望します。よろしくお願いします。
- ・ 小さい時はとにかく手に取って舐めたりするので、図書館で借りるのは少し抵抗がある。何度と同じものを繰り返し読むので書店で買う方が多い。
- ・ ぜひ図書館を改修してほしい。建物があまりに古く、利用する気になれない。
- ・ 子どもが利用しやすい、居場所となるような図書館であって欲しいです。困ったことがあったとき、なんとなく暇なとき、不登校の子供が「そうだ！図書館に行こう！」と思えるような場所であってほしいです。
- ・ 図書館内に資料検索、開架場所の検索があると便利だと思います。
- ・ 本屋さんだと本を選ぶけど、図書館では選ばない。なんてことを周りで聞きます、本の収納方法などで、子どもにも見やすい明るい環境になれば変わるのではないかと思います。子ども向けの本をもっと常時閲覧できるようにしてほしいです、スペースの問題で難しいとは思いますが、一々職員の方に出してもらうのも心苦しいです。
- ・ 狛江の図書館の子ども室は、使いやすくてよいと思います。いつもありがとうございます。各地域センターにある図書室が、午前中は開室していないので、残念に思います。午前中から開けてくれたらいいのになあ。子どもが小さいうちは特に、午前中が利用しやすいです。
- ・ 紙芝居が大好きで、よく読んでくれ、と言って持ってきます。狛江の図書館は、紙芝居も置いてあるので、とてもいいと思います。
- ・ 地域センターにある図書室は、午前中は開室していないので残念です。午前中から開けてくれたらいいのになあ。
- ・ 狛江図書館のスタッフは、皆さんが親切で子供にも優しく対等に接して下さるため、図書館が大好きな子供に育っています。昨年春の自粛期間で、最も困ったことが図書館の閉鎖でした。感染対策で、大変なご苦労がある中、開館し続けてくださっていることに、深く感謝し、スタッフの方々を尊敬しています。図書館のイベントも親子ともに大好きで、こづつみイベントは、知らない世界に入ることができる貴重な機会となっています。今後ともよろしくお願いします。
- ・ 子供向けコーナーは、子供でも絵本を取りやすくしてほしい。
- ・ 子供用椅子や机で絵本を選びながら気軽に絵本の試し読みができるスペースがほしい。
- ・ 有名絵本の種類も数も増やしてほしい。ランキングにのる絵本をその場で借りようとしても大抵置いていない。わざわざ予約まではしていない。
- ・ 絵本棚の通路を広くしてほしい。子供が複数人通路にいても狭いと感じない広さがほしい。通路狭いとベビーカーで移動するのが心苦しくなる。

- ・ いつも中央図書館を利用させていただいています。子供が好きな電車の本をいつも借りています。乗り物コーナーがあるので、息子も探しやすいようです。乗り物系の本をもっと充実させていただけると嬉しいです。
- ・ 移動図書館があれば嬉しいです。返却期限の延長がオンラインでできればありがたいです。
- ・ 年齢別におすすめの本を教えてください。
- ・ 親子連れに関して、図書館をもっと長居できる場所にしてほしい。つい静かにしなければと思い、滞在時間は必要最低限に留めている。こども本の森 中之島やいたばしポローニャ絵本館のような場所が市内にあると大変嬉しい。
- ・ 小学生男子も楽しめる、歴史マンガや科学マンガコーナーの充実、及びこども本の森 中之島やいたばしポローニャ絵本館のような場所が市内にあると大変嬉しい。
- ・ いつも利用させていただき、ありがとうございます。本を予約して最寄りの分室で受け取れる/返却できるのは本当に助かっています。
- ・ 狛江市の図書館への要望は全体的に蔵書量を増やしてほしいことと、学習スペースを設けて欲しいことです。
- ・ 働いていると平日の図書館は行きにくいので、電子書籍で24時間いつでも貸し借りできたり、ネット経由で借りて宅配で届く、ということができれば助かります。そうなれば図書館の敷居が低くなるのもっと利用すると思います。
- ・ 以前は保育園の帰りに毎日図書館に寄り、3冊まで本人に選ばせ、読み聞かせをして帰宅していました(2から3歳頃)。しかしある時、図書館が突然、館内閲覧禁止になり、司書の方に注意されて以降、一切図書館に行きたがらなくなりました。休日に誘って、紙芝居を親が借りて帰る事もしましたが、帰宅後は数回しか読まず、次を読みたがる事も無くなりました。「絵本がたくさん読める園に転園したい」と言い出す時があり、親としては図書館で読んで欲しいので、調布市等に行こうかと検討しています。(現在3歳です。)子供からするとルーティンや今日やりたいと思っていた事を覆されると予定変更は困難です。開館時間の変更や、子供の読書スペースの再開等、建物前、敷地前にもう少し大々的に、事前に分かるように出来ないでしょうか(レストランの方がよほど分かりやすいです…)。
- ・ 子ども専用の図書室があってもいいと思っています。あるおはなしが重複であったりしますが、みたい本(通信講座のおすすめ本)にある本がなかったりするので、本の種類や分類を増やしてほしいと思っています。また各館10時からオープンしていただけると、子どもと一緒に気軽に図書館に行けるかなと思います。
- ・ 常にはないですが、気になった本がある時は利用させて頂いています。コロナ禍でも殺菌の機械を置いてもらえたり、安心して借りることができています。現在息子は4歳で、赤ちゃんの頃より読み聞かせをする時間が減りました(違う遊びが多くなったので)ですが、公立保育園に通っているのそこで絵本を毎日読んでいます。公立保育園と図書館が連携して色々な本に触れさせてもらっているのかな?と思います。これからも子どもが沢山の絵本に触れられますよう活動して下さると嬉しいです。

第7章 パブリックコメント及び市民説明会の実施結果について

1. 実施概要

実施期間 令和4年2月1日（火）から令和4年3月3日（木）まで
公表方法 広報こまえ（2月1日号）、市ホームページ、図書館窓口
提出方法 書面提出、郵送、FAX、電子メール、市HP専用フォーム
対象者 市内在住、在学、在勤者

2. 意見等件数

提出者数：9名
提出件数：13件（書面提出9件、電子メール3件、HPフォーム1件）

※意見等及び市の取扱方針は下記4のとおり

※計画の変更点は下線部分のとおり

3. 市民説明会の開催結果

2月6日（日）午後2時 中央公民館地下ホール 参加者3名

2月8日（火）午後7時 防災センター4階会議室 参加者5名

※寄せられた本計画への主な意見等及び回答は下記5のとおり

4. パブリックコメント意見等及び市の取扱方針について

ご意見等	市の取扱方針
<p>資料内にもあるが、コロナ影響以外でもライフスタイルの変化に追従した機会の提供・同様に周知活動や方法に更に一考の余地ありと感じる。</p> <p>手間や時間的な制約のある中で、効率の良い手法の模索は必要と思う。</p> <p>一方、「紙の本」に触れる機会を喪失させない工夫もあるとよい。</p> <p>公共施設の一角に絵本コーナー的なブースの設置などにとどまらず、声優の読み聞かせや作者との接点や読み方の研究などから派生する機会の創出や、例えば中高部活の延長で幼小学校ほの読み聞かせ体験など、イベント要素も含んだもの</p>	<p>【P.6】第2章4「子どもの読書環境を取り巻く環境変化への対応」にも記載しているとおりに、子どもたちの興味関心に寄り添いながら読書推進のアプローチに取り組むことが必要であると捉えています。</p> <p><u>【P.24】第4章5（4）説明文中に、「より子どもたちの興味関心に寄り添った形での行事イベントや講座等の実施を工夫する」旨を追記するとともに、「(ウ) 先進的事例等の情報収集に努め、各施設の取組とも連携し、より子どもたちの読書意欲を喚起する取組を検討する」旨を追記しました。</u></p>

<p>はどうだろうか。</p>	<p>ご意見を参考にさせていただき、逐次必要な対策の検討と実施に取り組みます。</p>
<p>図書館や保育園・学校などで、子どもや親の読書活動推進の為に、様々な取り組みをしていることを知りました。</p> <p>おすすめの本が、実際に手にとれる、すぐに借りられるようになっていて、何を読んだら良いかわからない、ゆっくり選ぶ時間がない子どもには良いと思いました。絵本読み聞かせのグループとしては(コロナ禍では難しいのですが)保育園・学校などでの読み聞かせの機会ができれば嬉しいです。</p>	<p>【P.13】第4章1(1)⑤(ア)等にも記載のとおり、現在図書館では推薦図書リストに掲載された本を展示し、すぐに借りられるコーナーを設置しています。また、【P.18】第4章2(2)①(ウ)に記載の取組等を進め、より子どもたちの身近な場所に本を充実させるよう努めます。</p> <p>また、【P.23】第4章4(1)に記載のとおり、地域の中で活動いただいている団体の把握に努め、子ども関連施設に情報が届く仕組みを検討します。</p>
<p>「りぷりんと・狛江かわせみ」という絵本読み聞かせシニアボランティアのメンバーです。子どもたちが絵本の楽しさや作者の思いを感じ、豊かな心を育むとともに、世代間の交流もできたらと思って活動しています。</p> <p>「子ども読書活動推進計画」のポイントに「家庭、地域、学校等との連携による行政と市民との協働」が掲げられていることは、とても大切なことと思います。各学校や図書館等でさまざまな意欲的な取り組みが行われていると思いますが、私たちに何かお手伝いできることがあればと思っています。</p>	<p>地域の皆様、ご家庭や各施設と連携して、市民の皆様のご協力の下、子どもの読書活動を推進することは重要なことであると考えています。</p> <p>【P.23】第4章4(1)に記載のとおり、地域で活動するおはなしグループ、ボランティア団体との連携を進めていきますので、ご協力をいただきますようお願いいたします。</p>
<p>図書館バーコードラベル貼付位置について</p> <p>作者を敬う気持ちが損なわれていると感じます。一冊の本が多くの手により作られ、その本を大事に扱うことを言葉だけでなく繋げてほしいと思います。</p>	<p>図書に貼付する資料バーコードにつきましては、複数の施設で効率的に読み取り処理ができるよう貼付する位置を定めています。今後の取り扱いを検討する際の参考とさせていただきます。</p>
<p>団体貸出について</p>	<p>団体貸出につきましては、一般の利用</p>

<p>輪読のために同じ絵本を2冊以上貸出しして頂きたいです。また読んだ後観客の子供さんとその本を再度一緒に読むことは面白いと思います。</p>	<p>者より貸出期間が長いため、同一資料を複数貸出することはご遠慮いただいています。【P.15】第4章1(2)⑤(ア)等に記載のとおり、今後図書館資料の充実に努めていきますので、その際の参考とさせていただきます。</p>
<p>子ども達の読書向上には、学校、家庭だけでなく、地域の読書環境も充実していることが大事だと思います。昨年より絵本読み聞かせの会「りぷりんと狛江かわせみ」に参加するようになり、中央図書館だけではなく、地域センターの図書室も利用するようになりました。コロナ禍ということもあり、あまり利用されていないように感じました。もう少し落ち着いたら地域センターでの読み聞かせなどできないかなと思いました。</p>	<p>近年図書館をはじめ各施設では新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため大きな影響が出ています。【P.24】第4章5(4)に記載のとおり、感染予防対策を図りつつ利用の促進に努めるとともに、【P.23】第4章4(4)のとおり、各施設間での情報共有を行い、地域の中の施設においても読書活動の推進に取り組みます。</p> <p>また、【P.23】第4章4(1)に記載のとおり、地域で活動するおはなしグループ、ボランティア団体との連携を進めていきますので、ご協力をいただきますようお願いいたします。</p>
<p>絵本読み聞かせで活動していますが、このコロナかでもあり活動は限られています。</p> <p>保育園、幼稚園、小学校に読み聞かせの場所があればと思います。小さい子供達にとって、おじいちゃん、おばあちゃんとのふれ合いも良いと思います。</p>	<p>【P.23】第4章4(1)に記載のとおり、地域の中で活動いただいている団体の把握に努め、子ども関連施設に情報が届く仕組みを検討します。</p>
<p>P.12②ブックスタート事業の継続(ア)について</p> <p>ただ単に”読み聞かせを行い”というよりは、実際に赤ちゃんに読み聞かせをしつつ、赤ちゃんの反応を見ていただいて、絵本の読み聞かせの楽しさ、大切さ、3・4ヶ月の赤ちゃんに合う絵本の選び方などをお父様、お母様たちにお伝えしているので、そういったことも加えていただ</p>	<p><u>【P.12】第4章1(1)②(ア)に、「絵本を介して親子が向き合うきっかけを作り、心触れ合うひとときとなるよう努めます。」と追記しました。</u></p>

<p>けると幸いです。</p>	
<p>P. 14 (キ) 絵本や児童向けの電子書籍の収集について</p> <p>乳幼児の幼い脳にとって人を介さない液晶画面で絵本を見ることは好ましくないと思う。ことばを発する前から紙の絵本にさわり、大好きな人に読んでもらうことが子ども読書活動の大きな土台となると思っている。</p> <p>※「デジタルで読む脳×紙の本で読む脳」 メアリアン・ウルフ著 太田 直子訳</p>	<p>【P. 13】第4章1(1)⑤の各項目に記載のとおり、紙の本の充実と、それらを活用したおはなし会等の事業実施には引き続き取り組みますが、併せて図書館の休館時や外出自粛が求められるような状況下においても資料を提供することができる電子書籍も活用し、新しい生活様式に対応した子どもの読書環境の整備を図ります。</p>
<p>第四次の計画に期待しています。アンケートも分かりやすくまとめてあり、実践レポートでは小・中学校の取りくみがよく分かりました。</p> <p>このような図書館の活動を継続していくためには（計画を進めていくためには）、新図書館計画で予定されている中央図書館休館期間にも、子どもたちの読書活動を止めないことが必要だと思えます。例えば、代替の施設での貸出しや、おはなし会の継続をぜひ考えてほしいです。その間、地域センターの図書室を午前中から開けることは最低限必要かと思えます。2年ものブランクは、市民の（子どもたちの）足を図書館から遠ざけてしまうと思えます。</p>	<p>【P. 10】第3章のポイント「新図書館への移行期間における図書館事業の継続」に記載のとおり、休館期間においても子ども読書活動推進事業・子ども読書啓発事業等の関連事業を継続し、子ども読書活動を推進していけるよう、子ども関連施設や所管部局との一層の連携を図ります。</p> <p>また、【P. 25】第4章7に記載のとおり、本計画の内容も踏まえて新図書館整備基本構想の検討を進めます。</p>
<p>図書館以外の施設への読書への取組のヒアリング、子どもや未就学児のお母さんへのアンケートなどきめ細かい取組は貴重だと思えます。</p> <p>周囲を気にせず使える（音、ベビーカーなど）独立したこども室を、子どもも大人もゆったりできるスペースをといた声を生かした新館建設を望みます。</p>	<p>ご意見を参考にさせていただき、【P. 25】第4章7に記載のとおり、本計画の内容も踏まえて新図書館整備基本構想の検討を進めます。</p>
<p>地域センター図書室に対する支援とバ</p>	<p>【P. 10】第3章のポイント「家庭、地域、</p>

<p>ックアップを強化してください。</p> <p>どこに住んでいても等しいサービスが受けられる全域サービスは重要なことで、新館構想でも語られるネットワーク化、具体的には各図書室への支援とバックアップが重要だと思います。地域センター図書室では子どもへのサービス（利用者の約半数）はだいで、大人と違って子どもの場合、本を置いておくだけでなく、読み聞かせやお話など職員（人）が手助けすることが求められます、関連施設職員の情報共有だけでは不十分で、研修（選書、子どもへのサービス）の実施を望みます。またおはなし会の実施回数にバラツキがあるようで、少ない図書室には図書館がお話のグループをあっせんするなど、支援強化を望みます。</p> <p>また利用者から要望のある午前中からの開館は通年で実施を検討すべきかと思っています。</p>	<p>学校等の連携による行政と市民との協働」にも記載のとおり、各機関が協力し、地域の方々との協働により読書活動を推進していくことが必要であると捉えています。</p> <p>【P. 23】第4章4（4）に記載の情報共有に加え、【P. 23】第4章4（3）にも記載のとおり、子ども関連施設や公民館・地域センターと連携して講座や講演会を実施し、職員の資質向上を図ります。また、【P. 23】第4章4（1）に記載のとおり、地域の中で活動いただいている団体の把握に努め、各図書室に情報が届く仕組みを検討します。</p>
<p>電子書籍の活用は慎重に、子どもへのサービス低下をもたらさないようにしてください。</p> <p>電子書籍は来館せずに利用できる、音声読み上げや文字の拡大といった選択肢が広がるなどメリットは大きい。また所蔵状況、利用状況（よく読まれる電子書籍）からヤングアダルト向けは比較的充実していますし、利用されています。</p> <p>しかし所蔵状況から児童書は量的に少ない（特に絵本）（中央図書館の構成比を下回る）だけでなく質的にも一部に限定されています（参加出版社が少なく、福音館など良心的な出版社は不参加）。また上で述べた図書館員による読み聞かせやお話し会のような手助けも受けられませ</p>	<p>【P. 13】第4章1（1）⑤の各項目に記載のとおり、紙の本の充実と、それらを活用したおはなし会等の事業実施には引き続き取り組みますが、併せて図書館の休館時や外出自粛が求められるような状況下においても資料を提供することができる電子書籍も活用し、新しい生活様式に対応した子どもの読書環境の整備を図ります。</p>

<p>ん。</p> <p>こうした実態を踏まえ、幼児から小学生までの子どもへのキメ細かいサービスの継続を望みます。</p>	
---	--

5. 市民説明会における本計画への主な意見等及び回答について

ご意見等の概要	回答
<p>選書作業に関する記載がないが、各図書室の担当者が情報交換する機会にもなっており、大きな意味で子ども読書活動の推進に何らかの効果を生んでいるのではないかとも考えられる。そうしたものは推進計画に載せていくべきものなのか。</p>	<p>【P. 23】第4章4(4)に記載のとおり、図書関連施設職員の情報共有等の機会を通じ、子ども読書活動の推進に取り組んでいきます。</p>
<p>6頁「4. 意識調査等と課題」について、各調査の結果分析と課題や対応策として整理した事項は。</p>	<p>関連部署や施設への調査においては、子どもの読書に対する課題について意識の乖離している部分があると考えています。今後は進捗管理・成果検証を図書館で担うとしておりますが、そうした取組を通じ問題意識の統一を図り、対策を推進していきます。</p> <p>市内の公立学校に通う小中学生への調査においては、この3か月間で学校の授業以外で読書をしたかとの設問に対し、「読んでいない」と回答した割合が小学6年生から中学生にかけて増加していく傾向が見られ、その理由として「興味がない」という回答が最も多くなっています。また学校の授業以外で学校図書館や公立図書館などを利用したかどうかの設問について、「いいえ」と回答した割合が小学5年生以上で高い数字となっており、その理由として「部活動や家で過ごす」、「友達と遊ぶ時間が多い」とする回答が突出して多く、様々な理由で忙しくなるにつ</p>

	<p>れ図書館や読書から離れていく傾向が読み取れます。学校等の施設とも連携し、紙の書籍の充実に加えて電子媒体等も活用し、子どもたちの興味関心に寄り添いながら読書推進のアプローチに取り組んでいきます。</p> <p>未就学児の保護者の方に対する調査では、読書に対する関心は非常に高い一方、本を選ぶ際には本屋で探すという回答が最も多く、また公共図書館や図書室をよく利用するかという設問については全体の4割以上が「いいえ」と回答しており、本に対する興味は高いが図書館の利用には結びついていないと分析しています。特におはなし会に関しては「参加したことがある」と回答している方は全体の3割にも満たず、その理由としては「日時の都合が合わない」、「事業のことを知らなかった」と回答された割合が多くなっています。おはなし会は、家庭以外での読み聞かせを体験できる貴重な場であるだけでなく、また、保護者の方にとっては読み聞かせの手法を周知する貴重な場ともなっています。より参加していただけるよう行事の実施を工夫する他、引き続き効果的な周知に取り組む必要があると考えています。</p>
<p>計画の位置付けは、狛江市の基本計画等を踏まえて存在するとあるが、2頁の表を見ると狛江市基本構想や狛江市教育振興基本計画、そして個別の計画の下に位置するということなのか。またそうした上位計画から抽出された課題を計画としていると捉えればよいのか。</p> <p>一方1頁には子どもの読書活動の推進に関する法律に基づくとあるが、国の方</p>	<p>子どもの読書活動の推進に関する法律には「その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定」するよう規定されています。</p> <p>狛江市の基本計画、教育振興基本計画等では、地域の課題から各施策や施策展開の方向性を定めており、これに基づいて本計画を定めています。</p>

<p>向性に基づいて立てられたものなのか。</p>	
<p>この3か月間で学校以外での読書を行っていない子どもの比率が非常に高かったことについて、図書館側からの理由はどういったことが考えられるか。対策をとるとかアプローチに取り組むとは書かれているが、具体的にどんなことを考えているのかが示されてあると良いと感じる。</p> <p>また市内公立学校に関しては連携していけると思うが、狛江市内には私立の学校に通っている子も多く、また不登校に陥っている子どもや、特別支援学校や学級に通っている子どももいる。どの子どもたちにも平等に読書活動の推進に繋がる体制づくりを目指してもらいたい。</p>	<p>この問題についての詳細な分析にはまだ至っておりません。現状は情報収集に努めており、今の子どもたちが読書に代わって何をするようになったのか、それに基づいてどういう対策を行っていくのかについては今後検討を進めますが、 【P.25】第4章6に記載のとおり、関連組織と連携して取組の成果検証や必要な対策を検討します。</p>
<p>9頁に「読書活動に関わる人材を育成するための講習会等についても、積極的に取り組むことが求められる」と記載されているが、これは職員に対しての研修なのか、読み聞かせ等を行っている団体に対する研修であるのか。先ほど挙げられた選書に関わる研修や講習なども含まれるのか。</p>	<p>職員の他、市内で読み聞かせ等の読書活動に携わっている方々を含め「子どもの読書活動に関わる人材」と記載しています。内容につきましては、選書等の図書館の基本的な業務も含めて人材育成を図ります。</p>
<p>狛江市の小中学校は、早くから全ての小中学校に学校司書を配置しており、素晴らしい取組だと思う。もっと子どもたちが活用できるように学校図書館を充実させてほしい。</p>	<p>【P.18】第4章2(2)に記載のとおり、引き続き学校図書館の更なる充実に取り組みます。</p>
<p>読書活動実践レポートには記載がないが、公立以外の幼稚園等との連携はあるか。</p>	<p>私立の施設等との連携につきましては、現在は団体貸出やリサイクル図書配布のご案内等をしています。今後、更に充実した連携ができるよう検討したいと考えています。</p>

- ※ 「第5章 読書活動実践レポート」は、令和3年12月時点で作成されています。用語や語句の表記については、寄せられた原稿をできるだけそのまま掲載しています。
- ※ 「第6章 資料編」の自由記述、「第7章 パブリックコメント及び市民説明会の実施結果について」のパブリックコメントご意見等につきましても、いただいた文章をできるだけそのまま掲載しています。

登録番号：R 3-55

第四次狛江市子ども読書活動推進計画

令和4年3月発行

発行 狛江市教育委員会
印刷 庁内印刷
頒布価格 160円

(事務局) 狛江市教育委員会 教育部 図書館
東京都狛江市和泉本町一丁目1番5号
電話 03 (3488) 4414